

LIXIL ココマⅡ 基本タイプ オープンテラス 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<電気配線工事について>

警告

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。
- 垂木LED照明には、専用のACアダプターまたはトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。
垂木LED照明は、AC100Vと直接接続しないでください。
- 電線の接続は有資格者が行ってください。

<施工の前に>

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、地上階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 屋根材へ接触する部品へシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- 寒冷地では凍結破損を防ぐため、竪樋に排水路ヒーター等を取付けるか、排水位置を高い位置に変更してください。
- 入隅の場合は、「φ4.5×63丸木ネジ」を現場で手配してください。
- 本製品は躯体に設置してください。ただし躯体に設置せず独立して設置する場合は「施工補助部材」を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

ポイント

- スプレー式シリコン系潤滑剤は部品箱に同梱のもの、または現場手配してください。またアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
- 必要に応じて、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。
- 垂木LED照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。
- 垂木LEDを取付ける際に電源スイッチが必要な場合は現場で手配してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- ココマIIは仕様によって専用の手順が存在します。
本書では、仕様専用の手順を下記の記号で記載していますので施工を行なう前に必ず確認してください。

《記号の意味》

床		デッキ仕様
		土間仕様
柱固定		柱固定ベース仕様
		柱埋め込み仕様
地域		一般地域仕様
		積雪地域仕様

《手順内記載例》

例 1 :

床	柱固定	地域
		

※上記は、『デッキ仕様で柱固定ベース仕様』専用の施工手順を示しています。

例 2 :

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

※上記は、全仕様で施工が必要な場合に記載しています。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
 - ・φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

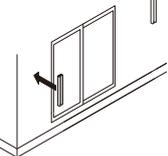
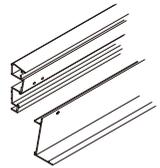
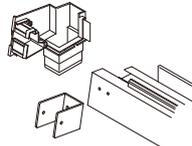
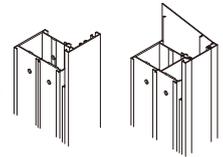
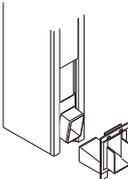
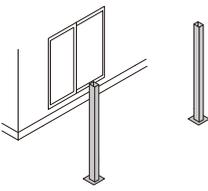
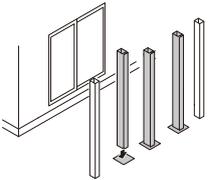
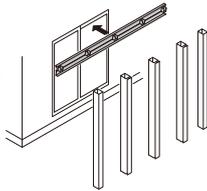
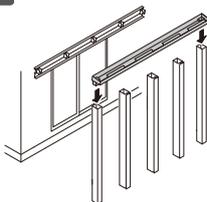
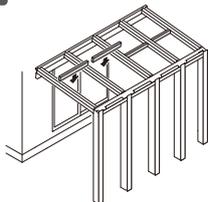
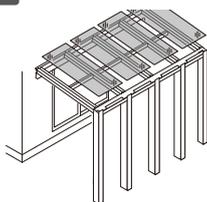
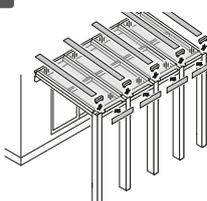
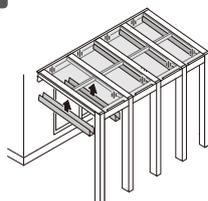
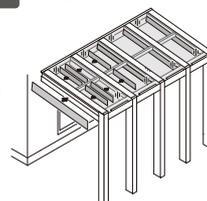
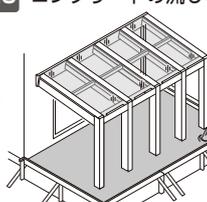
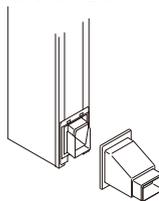
🔑 ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

INDEX

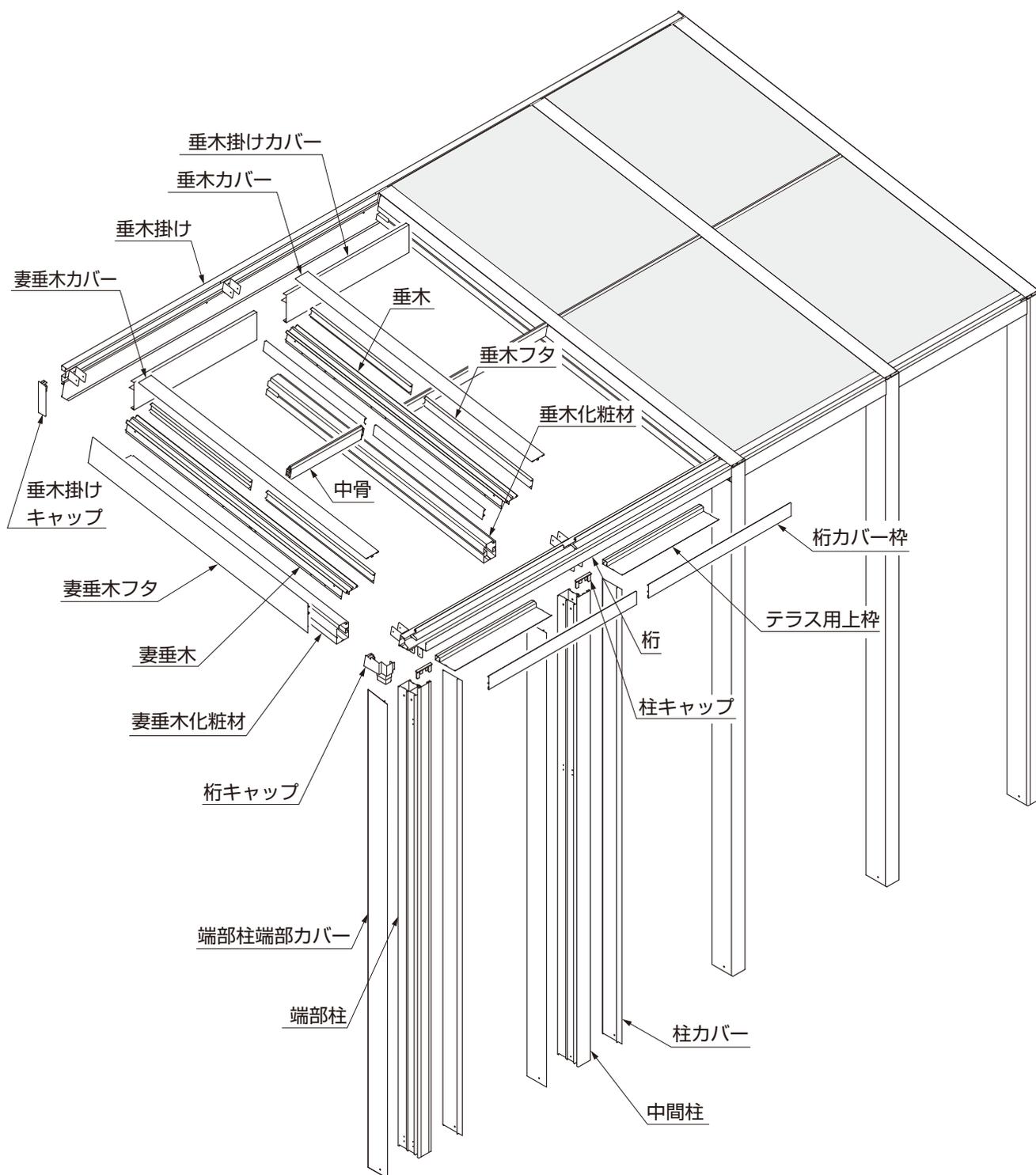
1	施工工程一覧	5	11	フレーム施工	44
2	各部の名称	6	1.	垂木掛けの取付け	44
3	施工前の重要確認事項	7	2.	桁の取付け	47
	1. 本製品の施工について	7	3.	妻垂木・垂木の取付け	48
4	梱包明細表	11	4.	中骨の取付け	49
5	基本寸法	18	5.	屋根材の取付け	50
	1. 単体仕様	18	6.	垂木カバーの取付け	51
	2. 連棟仕様	19	7.	テラス用上枠の取付け	56
6	断面納まり図	20	8.	柱カバーの取付け	56
	1. 間口断面納まり図	20	9.	垂木化粧材の取付け	57
	2. 出幅断面納まり図	22	10.	垂木フタの取付け	62
7	柱の位置出し	24	11.	垂木掛けカバーの取付け	63
	1. 単体仕様	24	12.	垂木掛けキャップの取付け	64
	2. 連棟仕様	24	13.	妻梁上部FIXの取付け	65
8	施工前の準備	25	14.	雪下ろし指示シールの貼付け	69
	1. 配線工事 オプション	25	15.	コンクリートの流し込み	70
	2. 躯体方立の取付け	28	16.	雨樋の取付け	71
9	部材の組立て	29			
	1. 垂木掛けの組立て	29			
	2. 桁の組立て	31			
10	柱の建込み	33			
	1. 施工手順の確認	33			
	2. 柱の加工	34			
	3. 柱スリーブの取付け	36			
	4. 端部柱端部カバーの取付け	37			
	5. 雨樋の取付け	37			
	6. 柱取付金具の取付け	39			
	7. 柱の建込み	40			
	8. 入隅の場合	43			

1 施工工程一覧

<p>1 躯体方立の取付け</p>  <p>※妻梁上部FIXパネルの場合</p>	<p>2 垂木掛けの組立て</p> 	<p>3 桁の組立て</p> 	<p>4 柱の加工</p> 
<p>5 雨樋の取付け</p> 	<p>6 柱の建込み</p> 	<p>7 中間柱の建込み</p> 	<p>8 垂木掛けの取付け</p> 
<p>9 桁の取付け</p> 	<p>10 妻垂木・垂木の取付け</p> 	<p>11 中骨の取付け</p> 	<p>12 屋根材の取付け</p> 
<p>13 垂木カバーの取付け</p> 	<p>14 テラス用上枠、柱カバーの取付け</p> 	<p>15 垂木化粧材の取付け</p> 	<p>16 垂木フタの取付け</p> 
<p>17 垂木掛けカバーの取付け</p> 	<p>18 垂木掛けキャップの取付け</p> 	<p>19 妻梁上部FIXの取付け</p>  <p>※妻梁上部FIX取付けの場合</p>	<p>20 コンクリートの流しこみ</p> 
<p>21 雨樋の取付け</p> 			



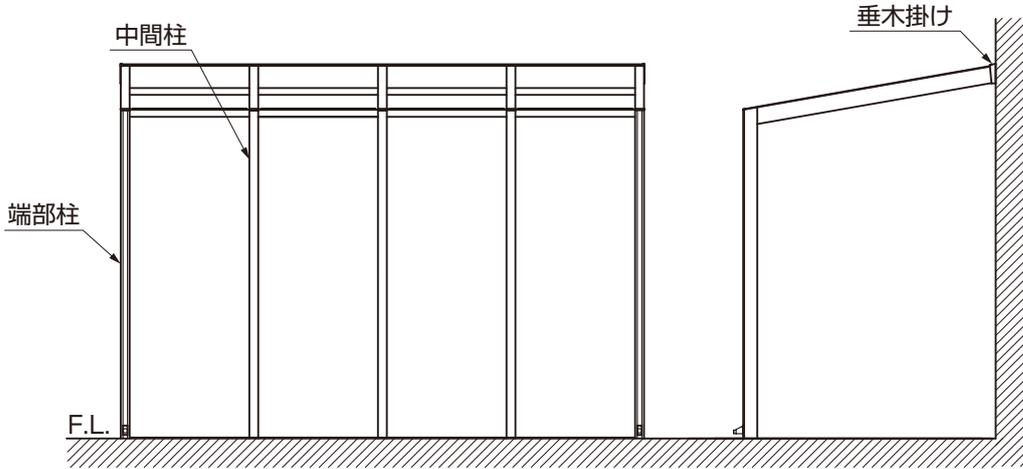
2 各部の名称



3 施工前の重要確認事項

1. 本製品の施工について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1-1 柱、垂木掛けの取付け

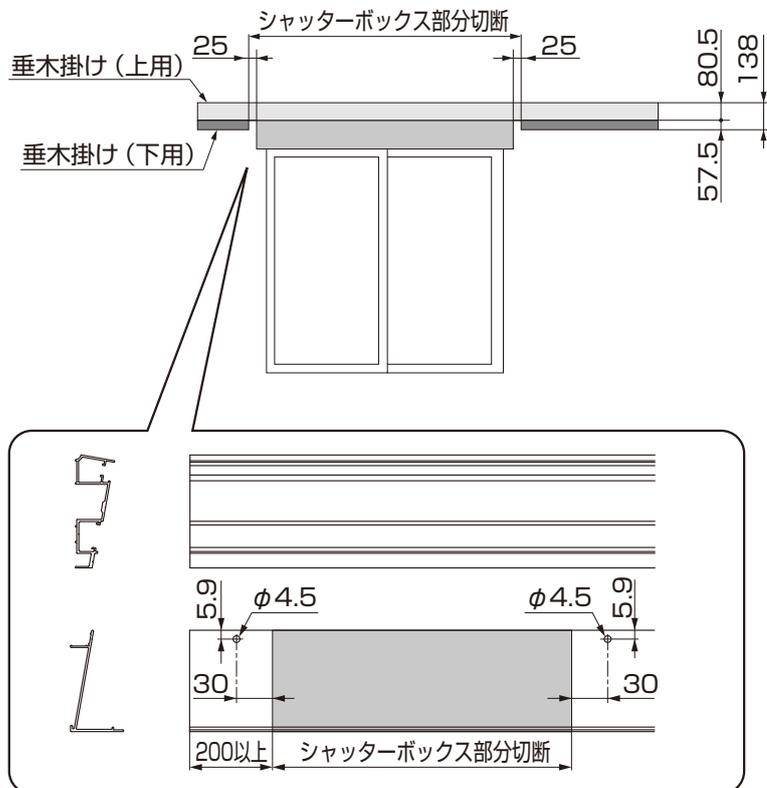


ポイント

- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。

1-2 垂木掛けの分割利用について

※垂木掛け打付け面の障害物（シャッターボックスなど）を避けて設置する方法です。



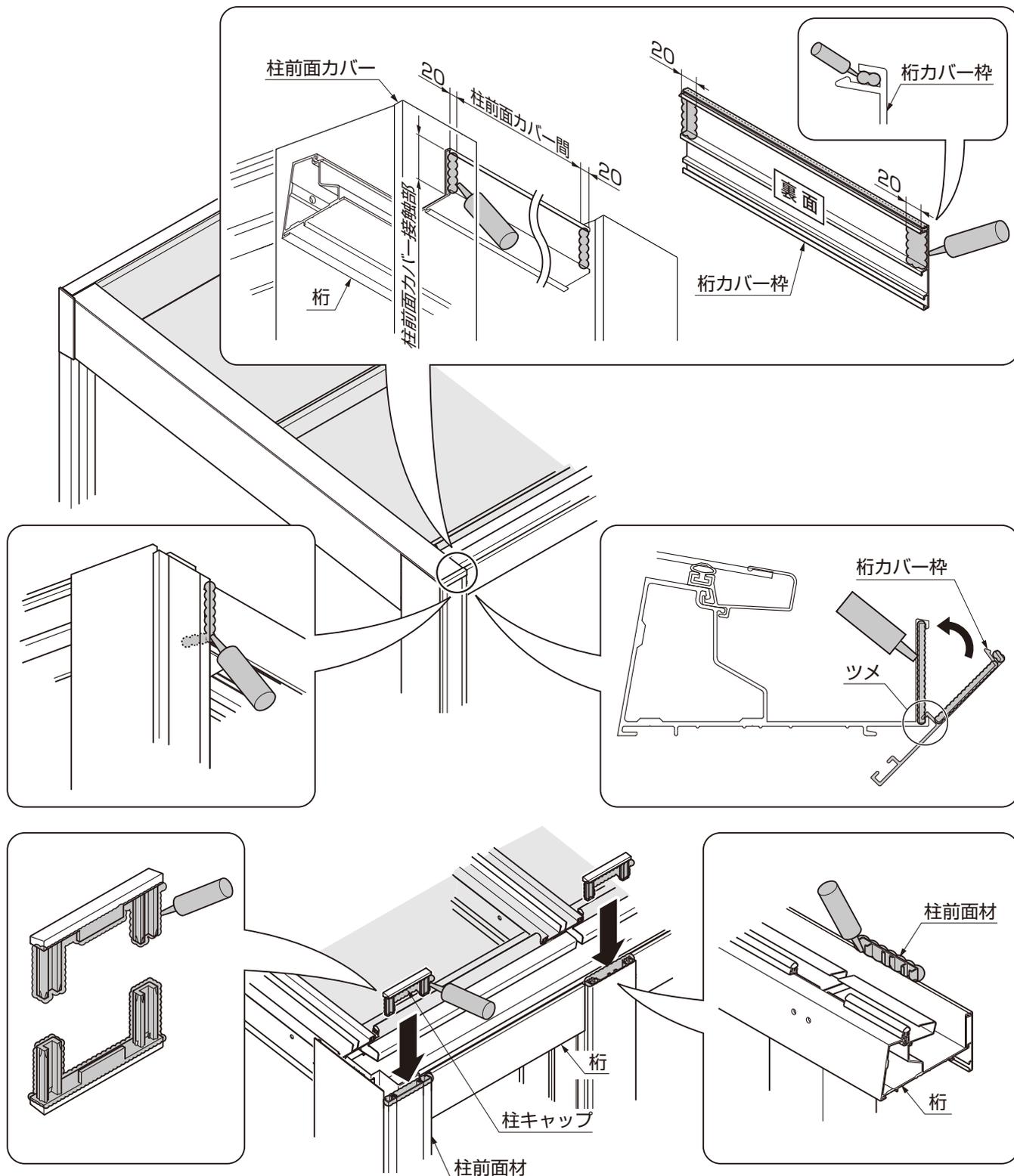
ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け(下用)は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け(下用)が必要です。

1. (つづき)

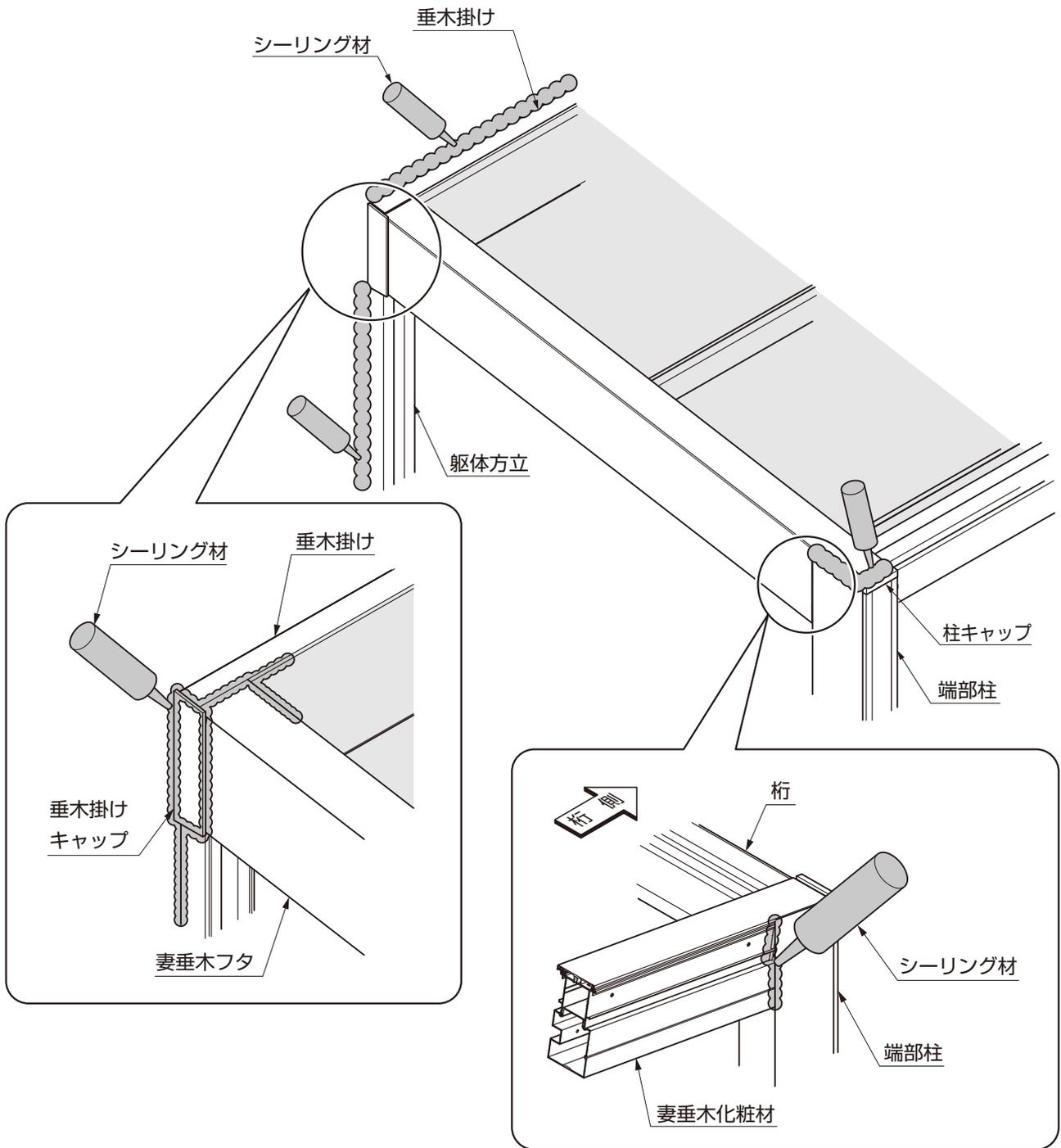
1-3 シーリング処理

3 施工前の重要
確認事項



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。



ポイント

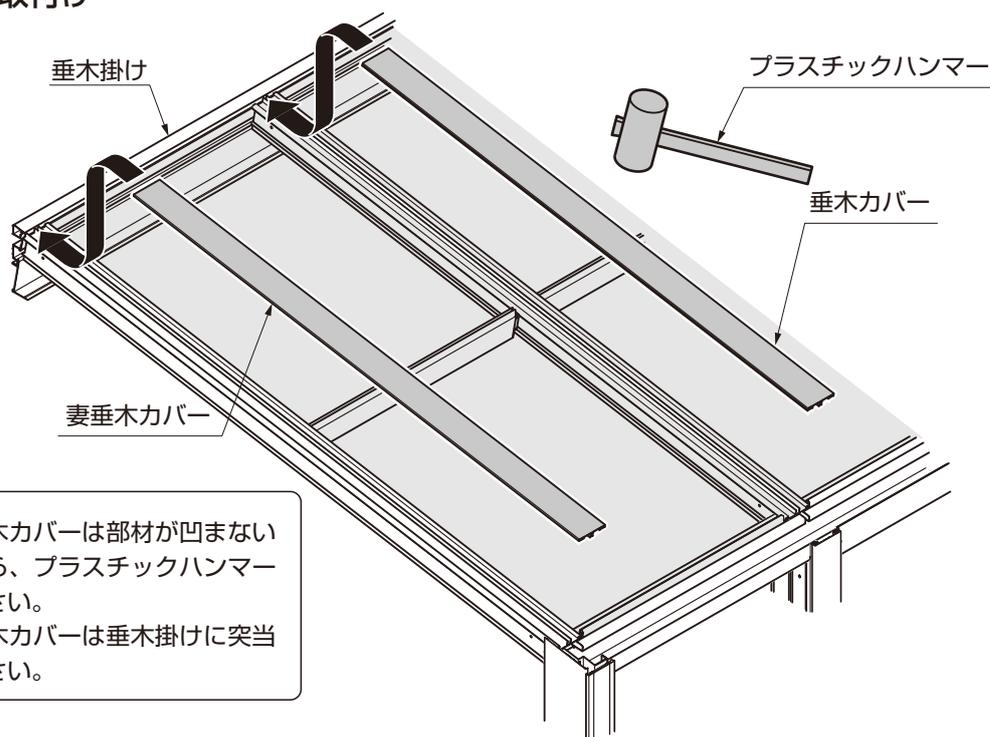
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1-4 その他のシーリング箇所

ページ	タイトル	シーリング箇所
P.28	2.躯体方立の取付け	φ5躯体穴、外壁と躯体方立
P.31	2.桁の組立て	桁キャップ端部
P.32	2-2 連棟の場合 (2) 桁の連結	連結用桁キャップ
P.43	8.入隅の場合	外壁と端部柱
P.44	1-1 垂木掛けの取付け	φ5躯体穴、垂木掛け・躯体接触部、パネル飲みみ部
P.46	1-2 連棟、垂木LED照明、入隅の場合 (1) 連棟の場合	垂木掛け連結部
P.47	2.桁の取付け	桁キャップの縁
P.55	(3) 垂木カバーのシーリング	垂木カバーと垂木掛け、躯体の接触部
P.69	13-4 シーリング処理	妻梁上部FIX部

1-5 垂木カバーの取付け



ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押し込んでください。
- 垂木カバー、妻垂木カバーは垂木掛けに突当てて取付けてください。

1-6 オプションを取付ける場合

ポイント

- ココマII本体と合わせてオプション品を取付ける場合、本体のカバー材などを取付ける前にオプション品を取付けた方が良い場合があります。本取付説明書において、オプション品取付けに影響するページを右表に挙げていますので、該当するオプションの取付説明書も併せて確認し、取付けてください。

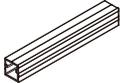
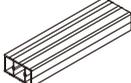
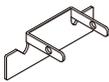
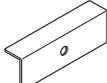
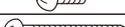
対象オプション	本取付説明書内に影響する手順	
	ページ	手順
E389 前面スクリーン	P.56	8. 柱カバーの取付け
E377 ロールスクリーン	P.62	10. 垂木フタの取付け
E376 ローマンシェード	P.62	10. 垂木フタの取付け
E269 内部日除け	P.63	11. 垂木掛けカバーの取付け

4 梱包明細表

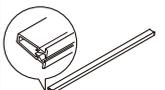
【1】 部品箱セット

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
接着剤		1	1	1	1	1
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップL		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップR		1	1	1	1	1
垂木取付金具		6	8	10	12	14
柱キャップ		3	4	5	6	7
柱取付金具		4	6	8	10	12
アンカー棒		3	4	5	6	7
ココマⅡ取扱説明書<UE091>	—	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマⅡ 基本タイプ編<E390>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ デッキ編 (樹ら楽ステージ) 取付説明書<E373>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ 基本タイプ オープンテラス 取付説明書<E413>	—	1	1	1	1	1
【1-1】 M6平座金		20	23	25	27	29
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		61	81	103	123	142
【1-3】 φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27
【1-4】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 (PW+ゴムパッキン付き)		59	79	99	118	138
【1-5】 φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		2	2	2	2	2
【1-6】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		13	17	22	26	30
【1-7】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		28	41	55	67	80
【1-8】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2

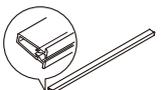
【2】 部品箱セット (オープンテラス-3000用 積雪タイプ)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
サブ垂木化粧材端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木カバー端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木取付金具		4	6	8	10	12
垂木掛けカバー (サブ垂木化粧材下)		2	3	4	5	6
【2-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		52	78	104	132	158
【2-2】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		14	22	29	38	45
【2-3】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 座金組込PW+樹脂パッキン		33	49	66	82	99
【2-4】 φ4×8トラスタッピンネジ3種 D=8		2	3	4	5	6
【2-5】 φ5×75ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13
【2-6】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		8	13	17	22	26

【3】 桁垂木掛けセット

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け (上用)		1	1	1	1	1
垂木掛け (下用)		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		2	3	4	5	6

【4】 桁垂木掛けセット (3000タイプ)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け (上用)		1	1	1	1	1
垂木掛け (下用)		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		4	6	8	10	12

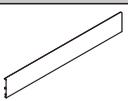
【5】 垂木掛けカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

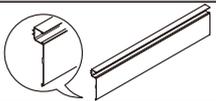
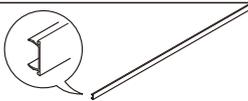
【6】 垂木掛けカバーセット (3000タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		4本入	6本入
垂木掛けカバー		4	6

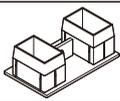
【7】 桁カバー枠セット

名 称	略 図	員 数
桁カバー枠		1

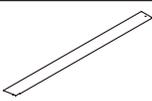
【8】 前面横枠 オープンテラス用

名 称	略 図	員 数
テラス用上枠		1
ネジ隠しフタ		1

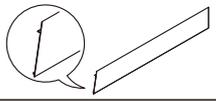
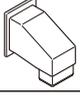
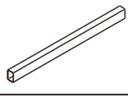
【9】 躯体方立セット

名 称	略 図	員 数
躯体方立		1
躯体方立キャップ		1
【9-1】 φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		1

【10】 前面テラス縦枠セット (基本タイプ用)

名 称	略 図	員 数
柱カバー		左右各1

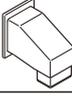
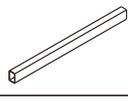
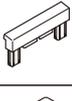
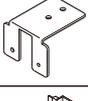
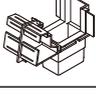
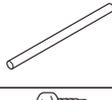
【11】 端部柱セット (オープンテラスタイプ 標準・ロング 基本 (H20・22・24) タイプ用)

名 称	略 図	員 数
端部柱		左右各1
端部柱端部カバー		左右各1
雨樋受け取付部品		2
雨樋受け部品 (下排水用)		2
雨樋受け部品 (前排水用)		2
角横エルボ		2
角樋		2

【12】 中間柱セット (オープンテラスタイプ 標準・ロング 基本 (H20・22・24) タイプ用)

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
中間柱		1	3

【13】 連棟柱セット (オープンテラスタイプ 標準・ロング 基本 (H20・22・24) タイプ用)

名 称	略 図	員 数
連棟柱		1
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品 (下排水用)		1
雨樋受け部品 (前排水用)		1
角横エルボ		1
角樋		1
柱キャップ		1
柱取付金具		2
連結用桁キャップ		1
アンカー棒		1
【13-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2
【13-2】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		6
【13-3】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2

【14】 中間柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
中間柱外固定ベース		1
【14-1】 φ5×35セルフタップアンカー		6
【14-2】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【14-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		8

【15】 中間柱内固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
中間柱内固定ベース		1
【15-1】 φ5×35セルフタップアンカー		6
【15-2】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【15-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		8

【16】 端部柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
端部柱外固定ベース		1
【16-1】 φ5×35セルフタップアンカー		6
【16-2】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【16-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

【17】 端部柱内固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
端部柱内固定ベース		1
【17-1】 φ5×35セルフタップアンカー		6
【17-2】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【17-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

【18】 妻梁フタセット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
ネジ隠しフタ		1	1	1	1
妻梁下フタ		1	1	1	1
【18-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	8

【19】 妻梁セット (右用または左用)

名 称	略 図	員 数				名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺			4尺	6尺	8尺	10尺
妻梁		1	1	1	1	妻梁上部FIX枠 押縁 (桁側)		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立		-	-	-	1	後付けビード材		1	1	1	2
妻梁上部FIX枠 (躯体側)		1	1	1	1	妻梁取付金具		2	2	2	2
妻梁上部FIX枠 (桁側)		1	1	1	1	妻梁上部FIX 取付金具		-	-	-	2
妻梁カバー		1	1	1	1	セッティング ブロック (H10)		4	4	4	4
妻梁上部FIX 方立カバー		-	-	-	1	【19-1】 φ5×12 トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
						【19-2】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	17
妻梁上部FIX枠 押縁 (躯体側)		1	1	1	1						

【20】 妻垂木セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
中骨		-	1	1	2
雪下ろし指示シール		1	1	1	1

【21】 垂木セット

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	1	3	3	3	3
中骨		-	1	1	2	-	3	3	6

【22】 積雪用妻垂木セット (1500タイプ・3000タイプ)

名 称	略 図	員 数			名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺			4尺	6尺	8尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1	中骨		1	2	3
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1	雪下ろし指示シール		1	1	1

【23】 積雪用垂木セット (1500タイプ・3000タイプ)

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	3	3	3
中骨		1	2	3	3	6	9

【24】 サブ垂木セット

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
サブ垂木化粧材		1	1	1
中骨		1	2	3
垂木フタ		4	6	8

【25】 垂木化粧材セット (600タイプ)

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木化粧材		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木フタ		2	4	4	6	6	12	12	18
垂木化粧材キャップ		1	1	1	1	3	3	3	3

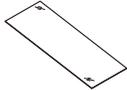
【26】 垂木化粧材セット (1500タイプ・3000タイプ)

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木化粧材		1	1	1	3	3	3
垂木フタ		4	6	8	12	18	24
垂木化粧材キャップ		1	1	1	3	3	3

【27】 妻垂木化粧材セット

名 称	略 図	員 数							
		600タイプ				1500・3000タイプ			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	
妻垂木化粧材		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	
垂木フタ		2	4	4	6	4	6	8	

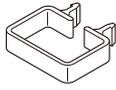
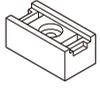
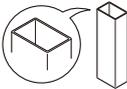
【28】 屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

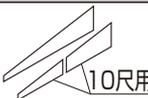
【29】 屋根材セット (3000)

名 称	略 図	員 数	
		4枚入	6枚入
屋根材積雪用		4	6

【30】 角樋セット

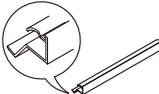
名 称	略 図	員 数
サドル		2
サドル受け		2
角エルボ		1
角樋		1

【31】 妻梁上部FIXパネル (右用または左用)

名 称	略 図	員 数
妻梁上部FIXパネル		1

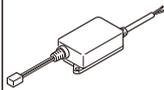
【32】 妻垂木化粧材溝カバーセット

オプション

名 称	略 図	員 数
妻垂木化粧材溝カバー		1

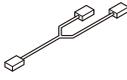
【33】 ACアダプターセット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター		1

【34】 渡り配線セット

オプション

名 称	略 図	員 数
渡り配線ケーブル		1

【35】 ACアダプター固定部品セット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター固定部品		1
【35-1】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		2

【36】 LEDスクエアライトセット

オプション

名 称	略 図	員 数
LED照明		1

【37】 トランス電源ユニット35W 屋外用

オプション

名 称	略 図	員 数
トランス電源ユニット35W (屋外用) 本体		1
【37-1】 φ4×50十字穴付フランジ付タッピンネジ		2 (※)
【37-2】 フィッシャープラグ 呼び径30		2 (※)
【37-3】 スペース		1 (※)
【37-4】 結束バンド		2 (※)
取付説明書<Z546>	—	1
取扱説明書<UZ278>	—	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

5 基本寸法

1. 単体仕様

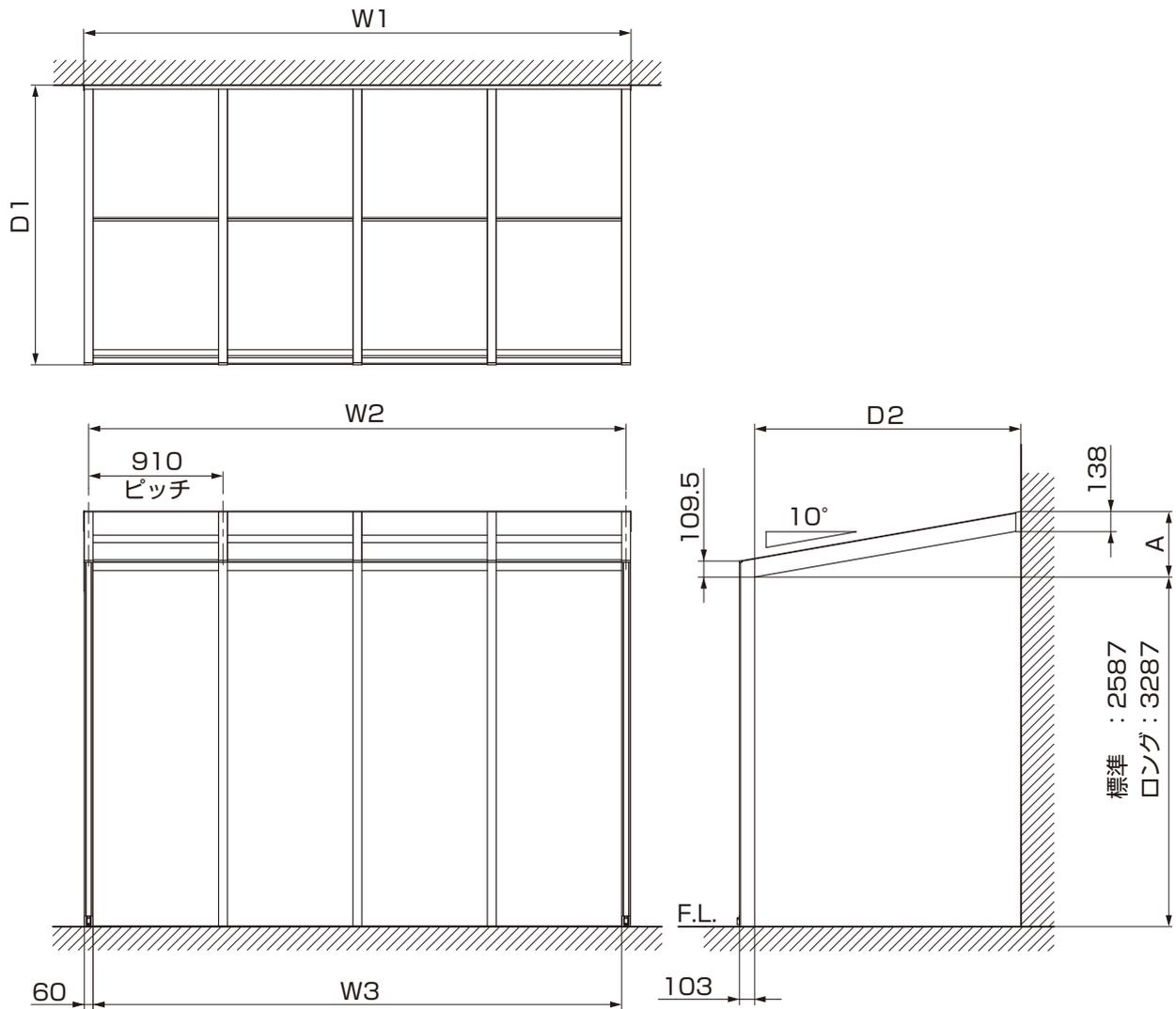


表1-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2
1.5間	2797	2730	2670	3
2.0間	3707	3640	3580	4
2.5間	4617	4550	4490	5
3.0間	5527	5460	5400	6

表1-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体~柱外寸	D2 躯体~柱内寸	A
4尺	1308	1205	342
6尺	1908	1805	448
8尺	2508	2405	554
10尺	3108	3005	659

2. 連棟仕様

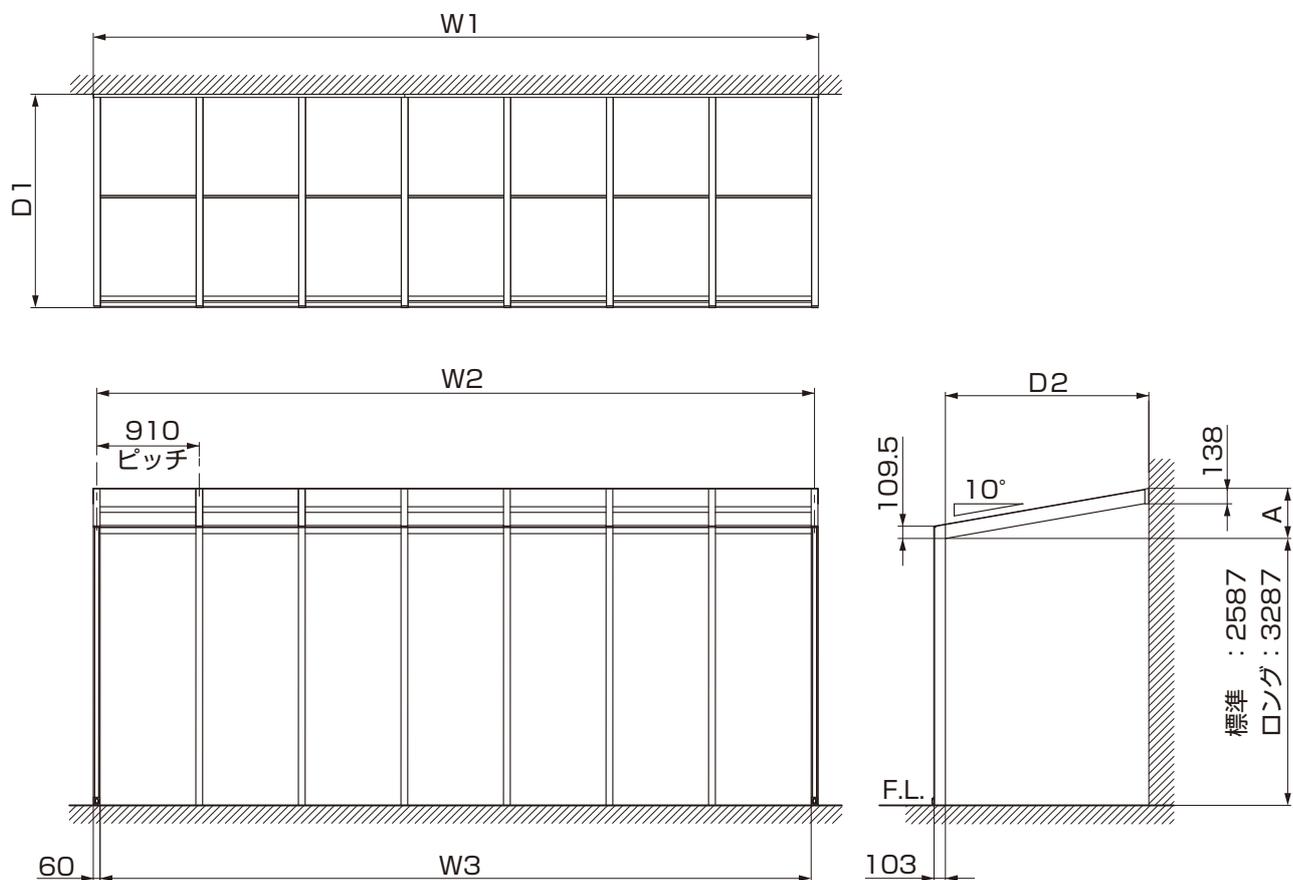


表2-1 間口寸法

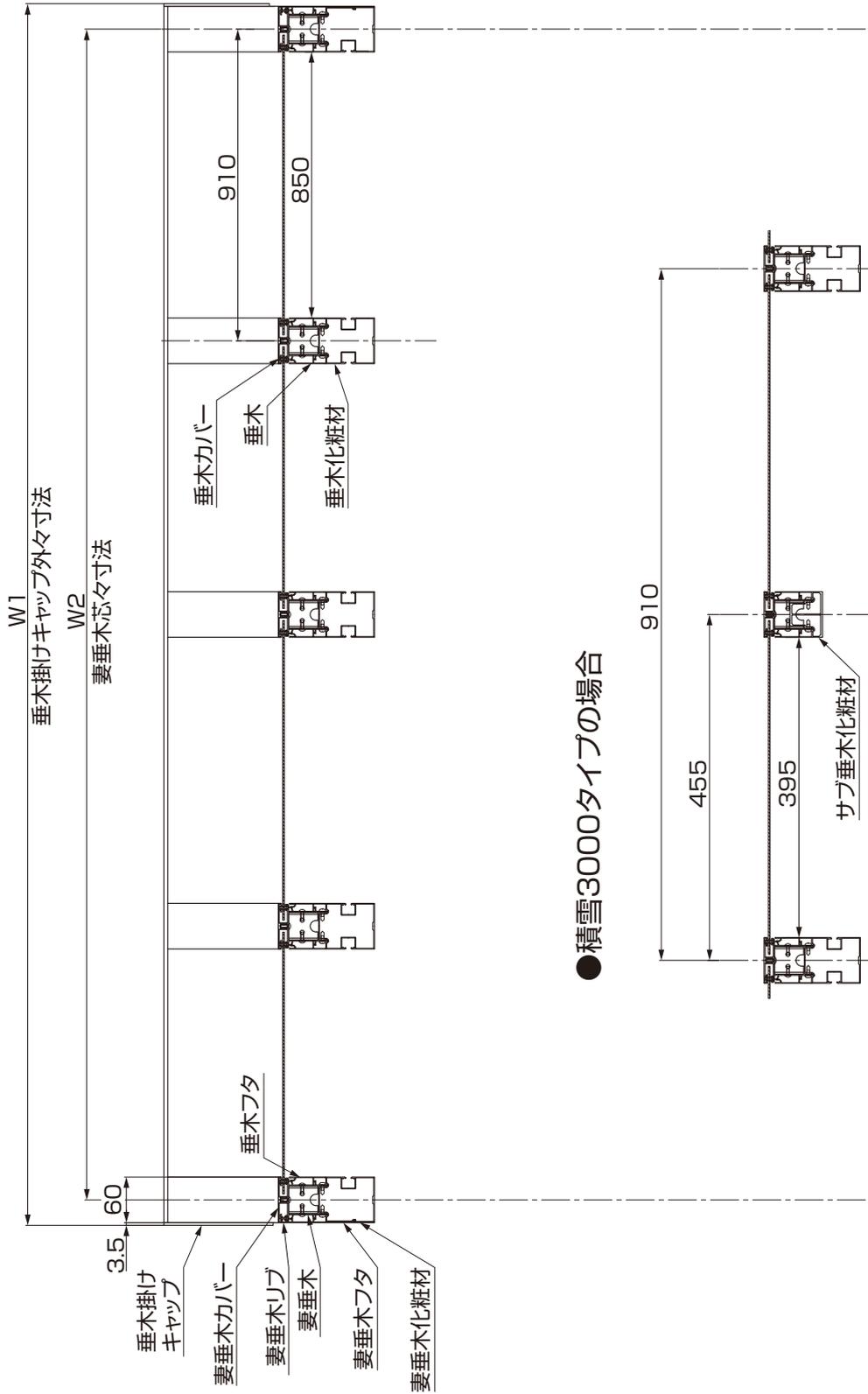
間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	7
4.0間	7347	7280	7220	8
4.5間	8257	8190	8130	9
5.0間	9167	9100	9040	10
5.5間	10077	10010	9950	11
6.0間	10987	10920	10860	12

表2-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	342
6尺	1908	1805	448
8尺	2508	2405	554
10尺	3108	3005	659

6 断面納まり図

1. 間口断面納まり図



●積雪3000タイプの場合

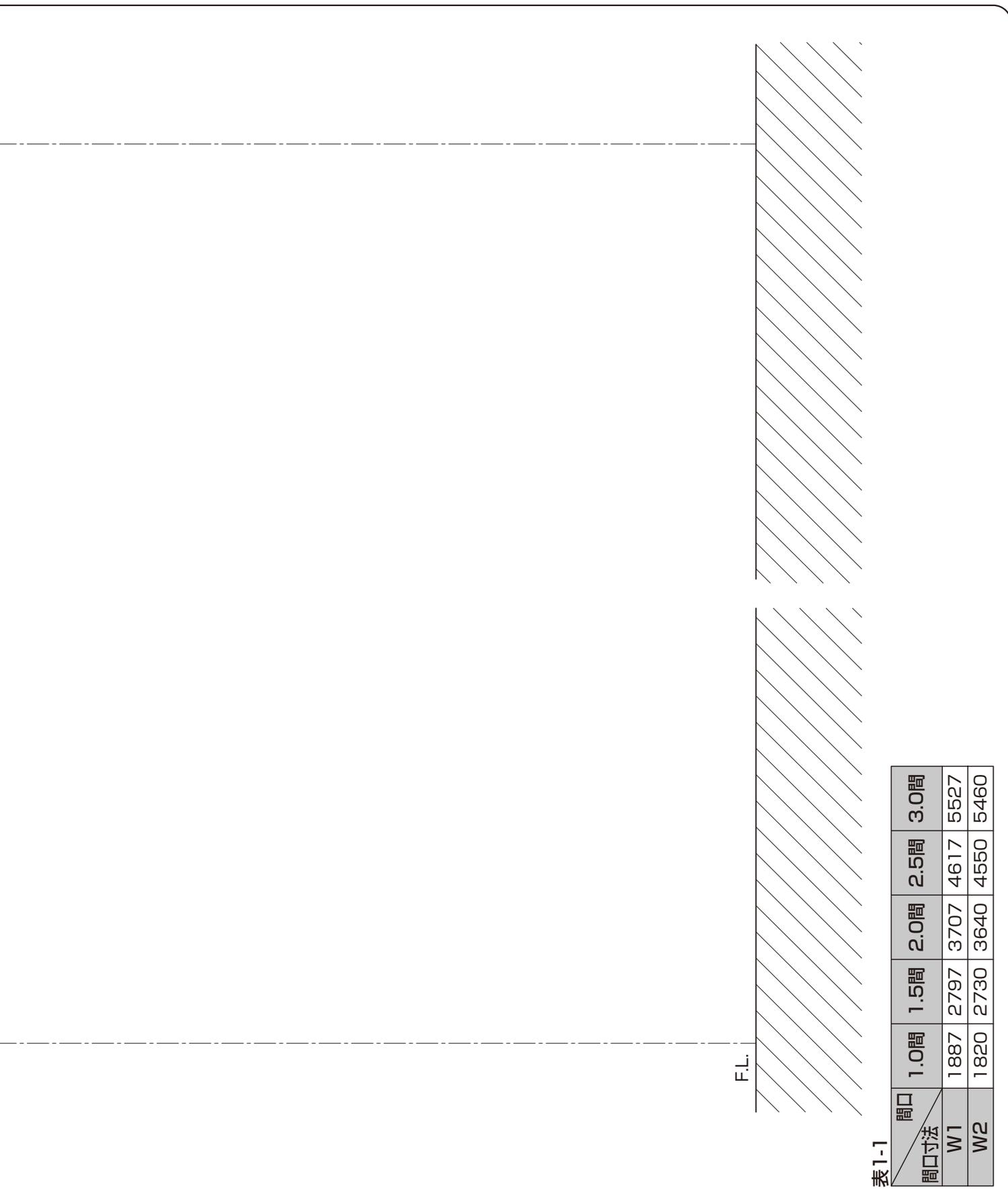
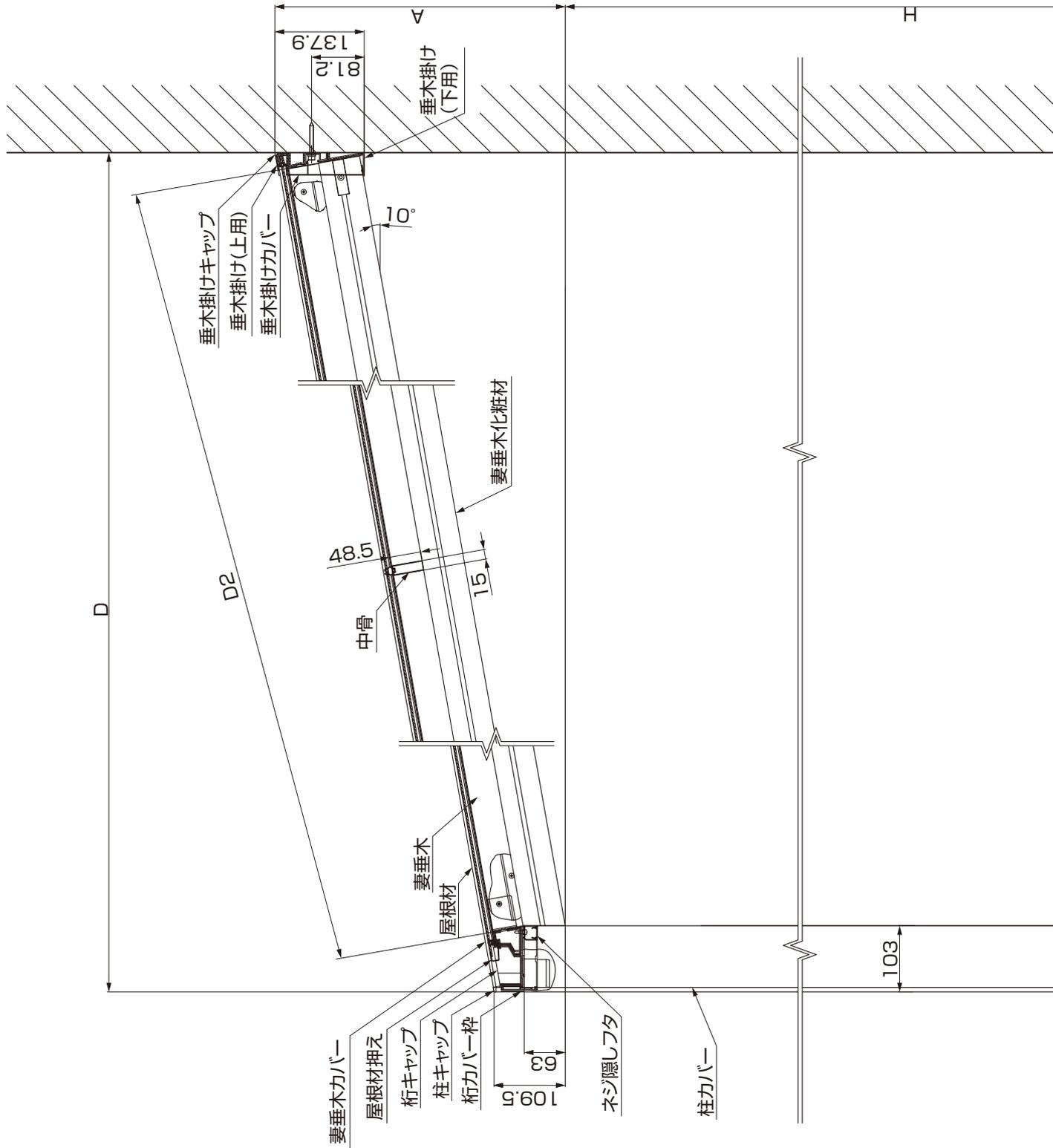


表 1-1

間口寸法	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1887	2797	3707	4617	5527
W2	1820	2730	3640	4550	5460

2. 出幅断面納まり図



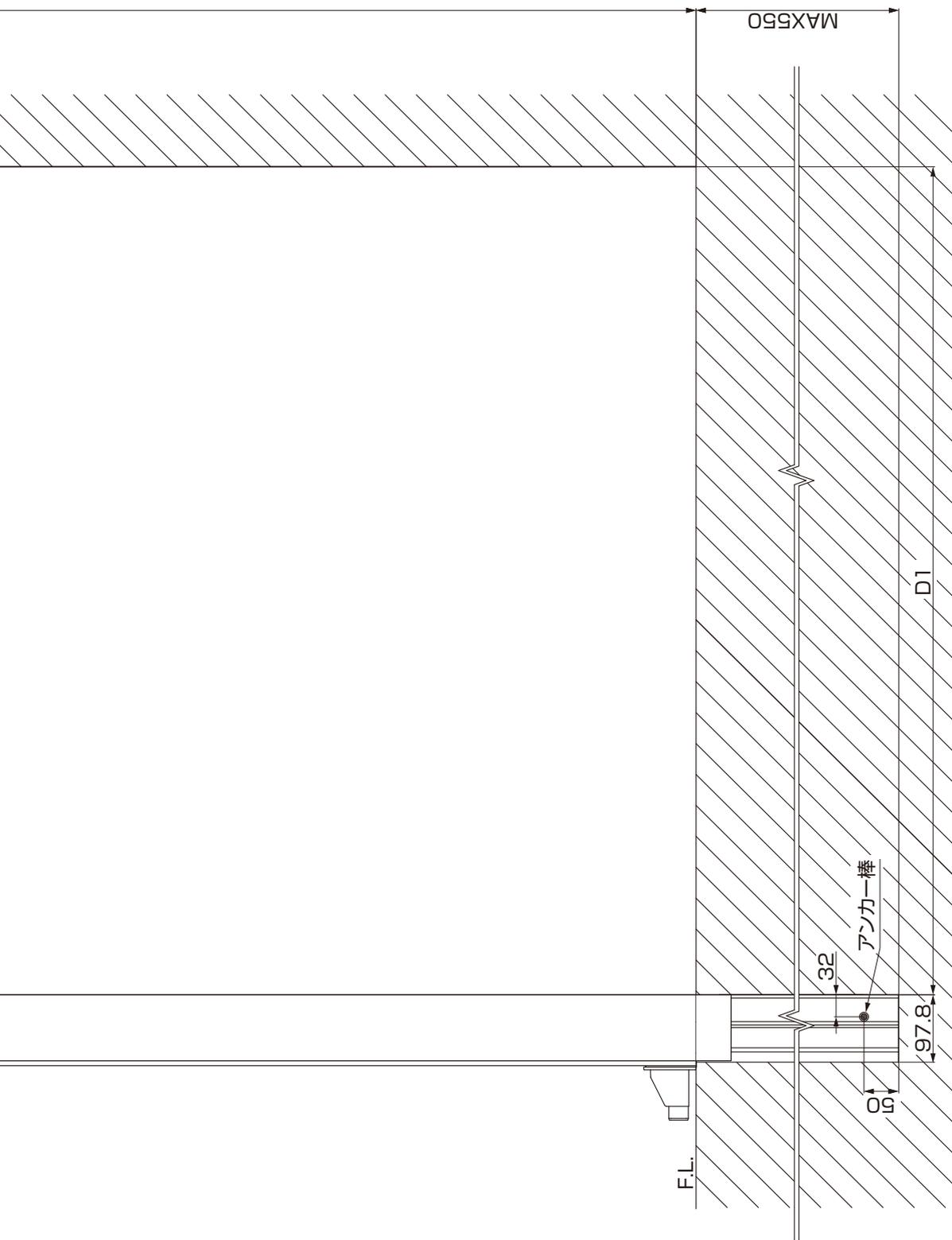


表2-3

出幅寸法	間口				
	4尺	6尺	8尺	10尺	
D	1308	1908	2508	3108	
D1	1205	1805	2405	3005	
D2	1207.5	1816.5	2426	3035	

表2-2

高さ寸法	出幅				
	4尺	6尺	8尺	10尺	
A	342	448	554	659	

表2-1

高さ呼称	H
標準	2587
ロング	3287

7 柱の位置出し

1. 単体仕様

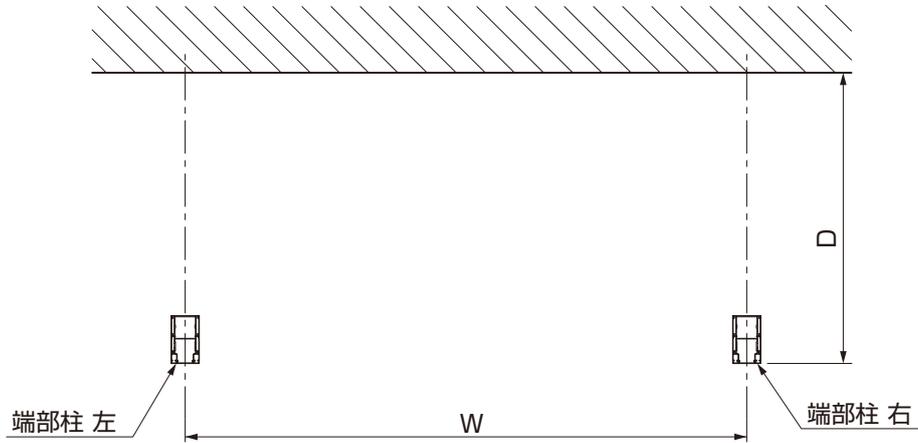


表1-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表1-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	1820	2730	3640	4550	5460

2. 連棟仕様

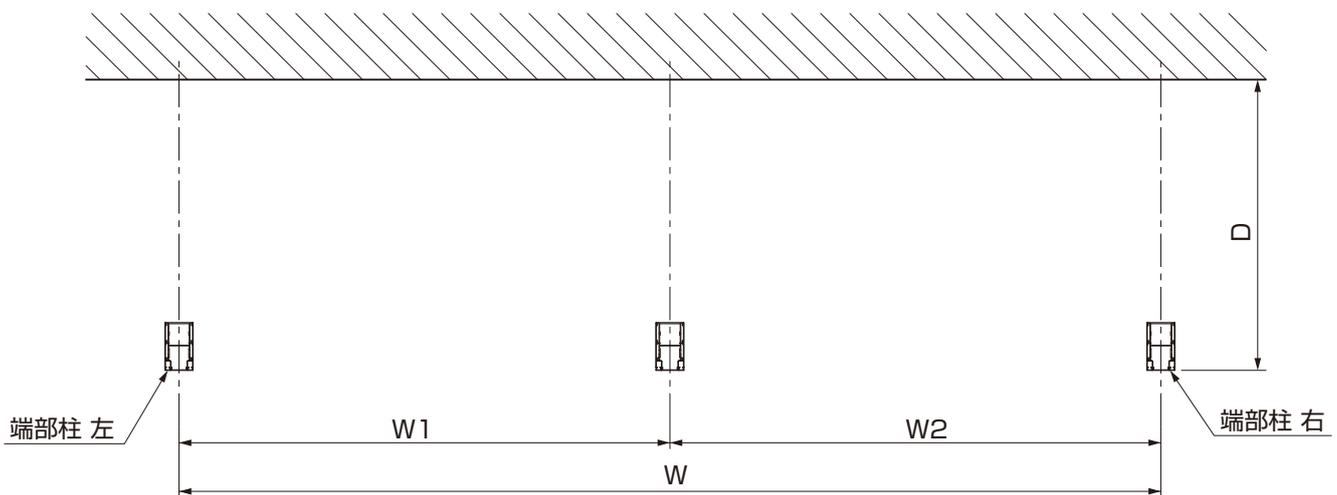


表2-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表2-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	
W1、W2	1820	2730	3640	4550	5460	
間口	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間
W	6370	7280	8190	9100	10010	10920

8 施工前の準備

1. 配線工事 **オプション** ※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。

1-1 LED照明配線のとりまわし

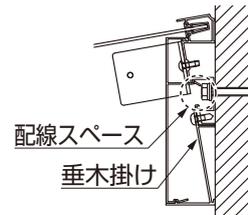
⚠ 注意

- AC100Vの電線の接続には電気工事士の資格が必要です。(コネクタ配線を除く)

🔑 ポイント

【垂木掛けの溝を配線に利用する場合】

- 部材・部品にあけた穴は、止水のためシーリングを塗布してください。
- 外側にあけた穴は、配線保護のためグロメットなどで小口の保護をしてください。



(1) ACアダプターを使用する場合

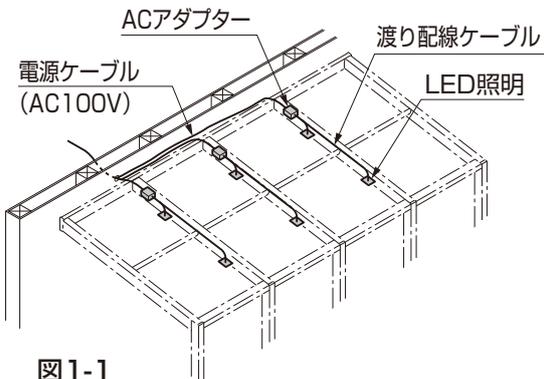


図1-1
躯体に穴をあけて配線する場合

- ①LED照明の配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

- LED照明は、渡り配線ケーブルを介して2セットまで連続接続が可能です。

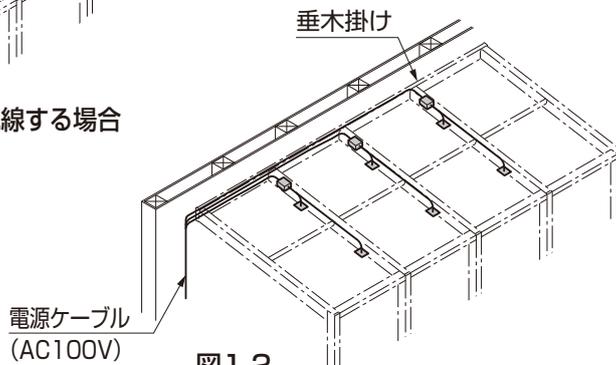
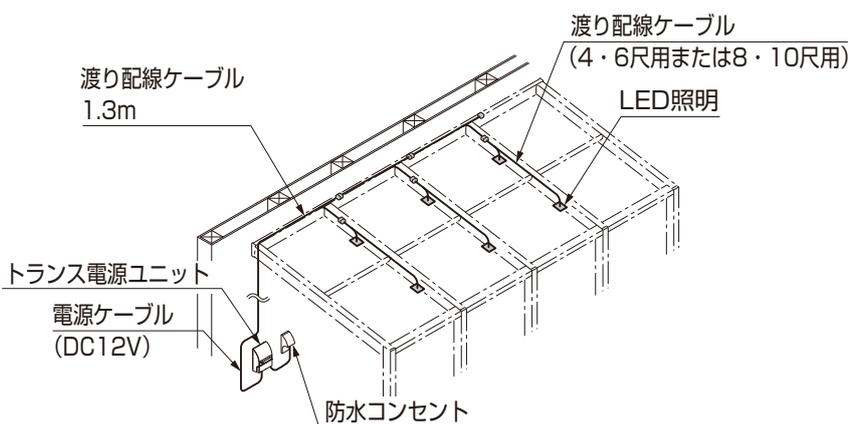


図1-2
垂木掛けの溝を利用して配線する場合

(2) トランス電源ユニット35Wを使用する場合



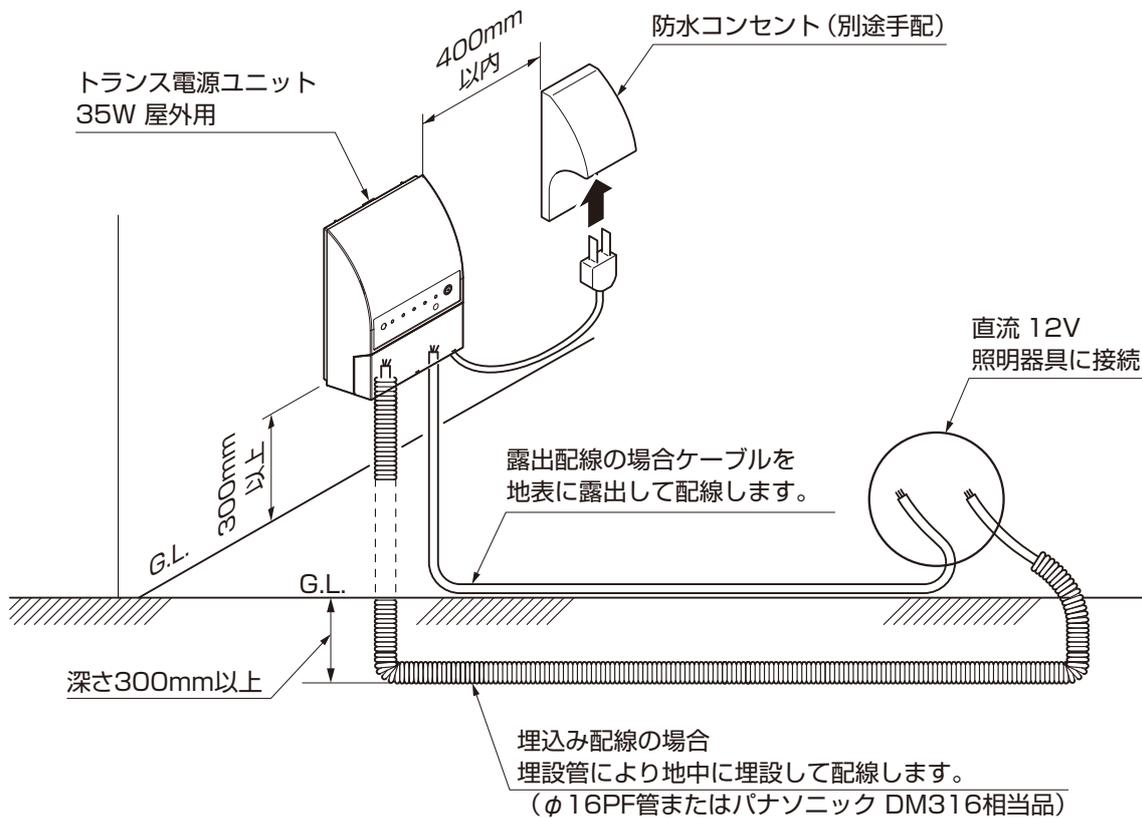
- ①LED照明の配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

- LED照明は、渡り配線ケーブルを介して10セットまで連続接続が可能です。

1. (つづき)

1-2 配線工事



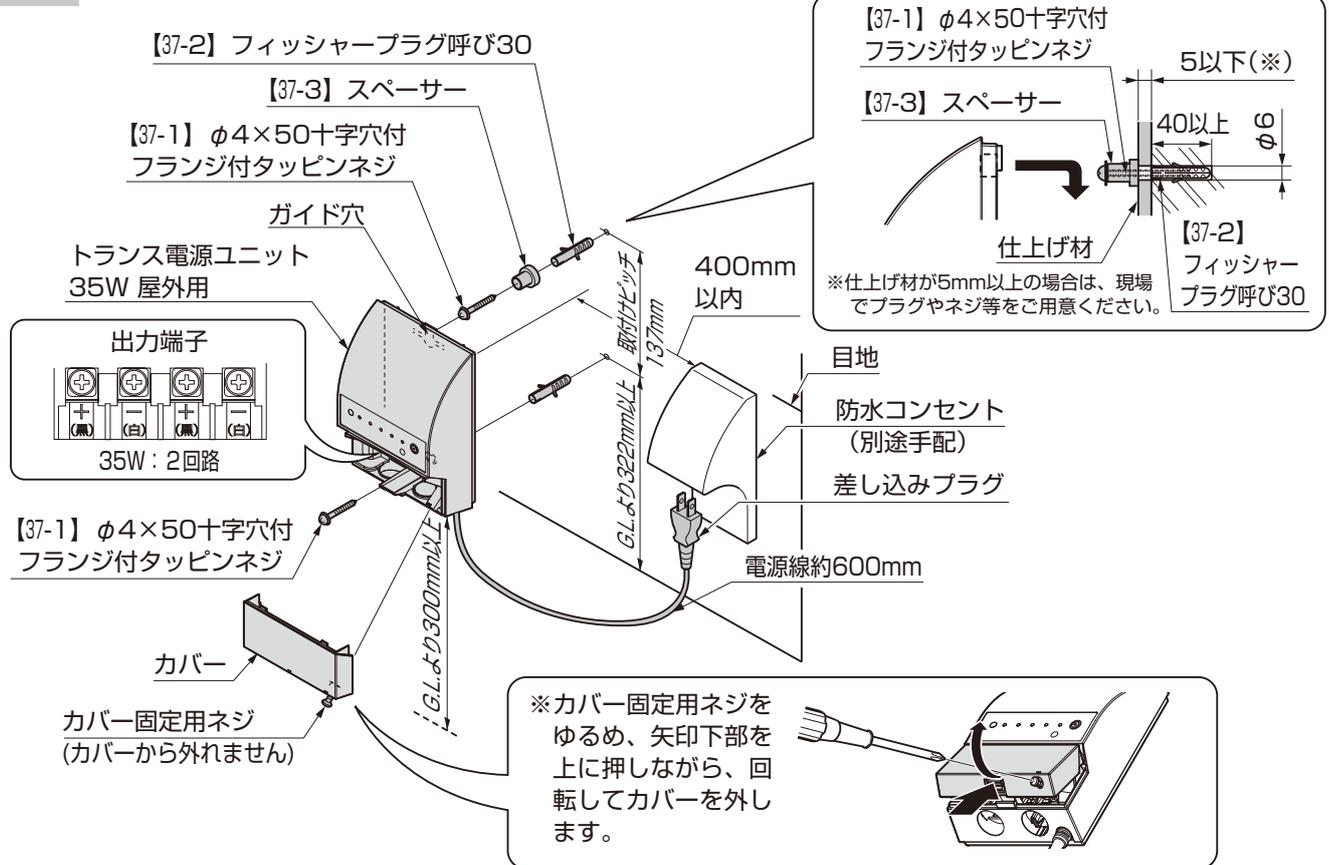
補足

- 埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。

ポイント

- トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット35W/60W 屋外用 取付説明書 (Z546)」を併せて参照してください。
- 防水コンセントは別途手配してください。
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切詰めてください。

1-3 トランス電源ユニット35W 屋外用の取付け



警告

- トランス電源ユニット35W 屋外用は壁面取付専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気が多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- トランス電源ユニット35W 屋外用は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

注意

- 取付けは、安全のため差し込みプラグを抜いた状態で行ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。
- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

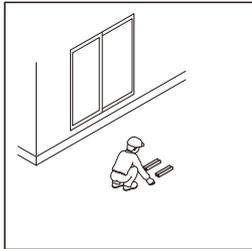
- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。
- 壁に有効深さ40mmの下穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが5mm以下(※)の場合としてください。5mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
- トランス電源ユニット35W 屋外用と防水コンセントの間は400mm以内にしてください。
- 切り粉は必ず除去してください。

- ①カバー固定用ネジをゆるめ、カバー下部を上押ししながらカバーを外してください。
- ②トランス電源ユニット35W 屋外用を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置に穴径φ6、有効深さ40mm以上の下穴をあけてください。
- ③【37-2】を下穴に埋め込んでください。
- ④【37-1】で【37-3】を壁に固定してください。
- ⑤トランス電源ユニット35W 裏面上部のガイド穴に【37-3】をはめ込み、【37-1】で壁に固定してください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

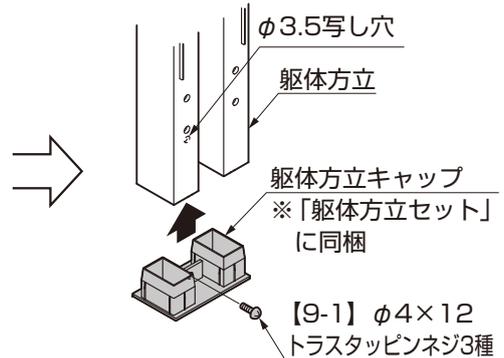
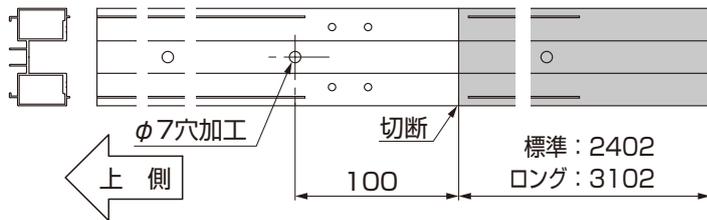
2. 躯体方立の取付け ※妻梁上部FIXを取付ける場合の作業です。

2-1 躯体方立の加工



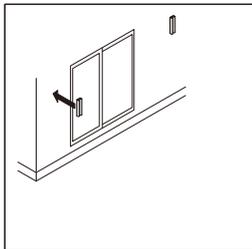
補足

●加工する前の躯体方立で垂木掛けの位置出しをすることができます。



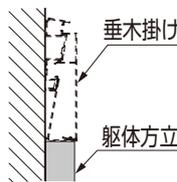
- ①躯体方立を下側から切断してください。
- ②切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③躯体方立の下側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【9-1】で取付けてください。

2-2 躯体方立の取付け



ポイント

●躯体方立が垂直になるようにしてください。



ポイント

●躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。

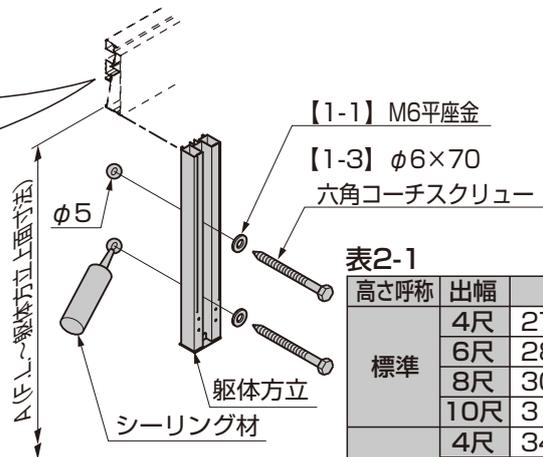
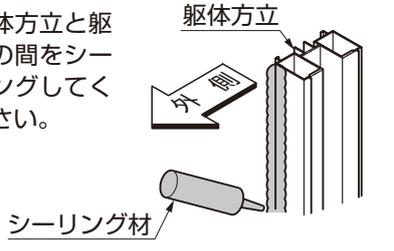


表2-1

高さ呼称	出幅	A
標準	4尺	2791
	6尺	2897
	8尺	3003
ロング	10尺	3108
	4尺	3491
	6尺	3597
	8尺	3703
	10尺	3808

- ①躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
- ②躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。
- ③躯体方立を躯体に【1-1】、【1-3】で取付けてください。

ポイント

- 入隅側には不要です。
- 躯体方立は必ず躯体構造材に取付けてください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

9 部材の組立て

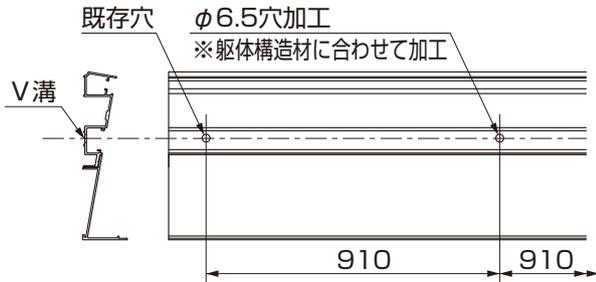
床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

9
部材の組立て

1. 垂木掛けの組立て

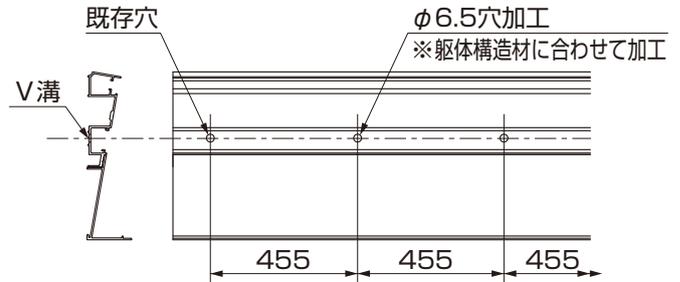
1-1 垂木掛けの加工

(1) 一般地域の場合



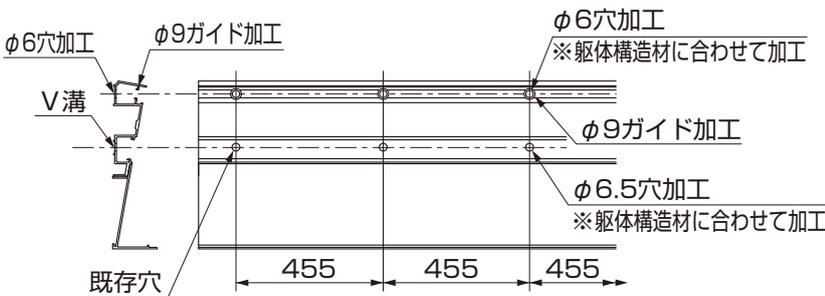
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(2) 積雪地域(積雪地域1500N(50cm相当)の場合)



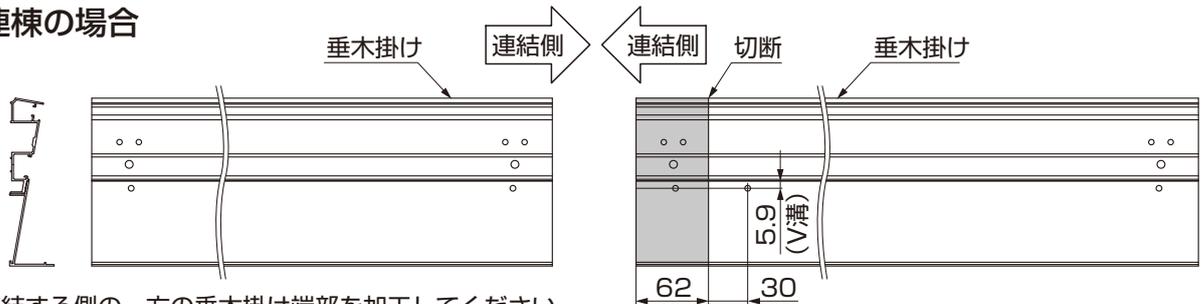
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(3) 積雪地域(積雪地域3000N(100cm相当)の場合)



①垂木掛けに穴加工をしてください。

(4) 連棟の場合

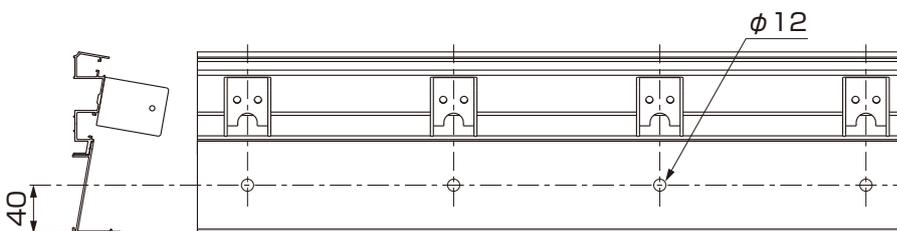


①連結する側の一方の垂木掛け端部を加工してください。

ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

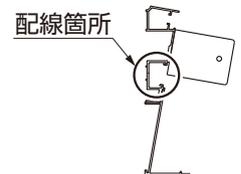
(5) 垂木LED照明 **オプション** を取付ける場合 ※配線の都合により垂木掛けに穴をあける作業です。



①垂木掛けに穴加工をしてください。

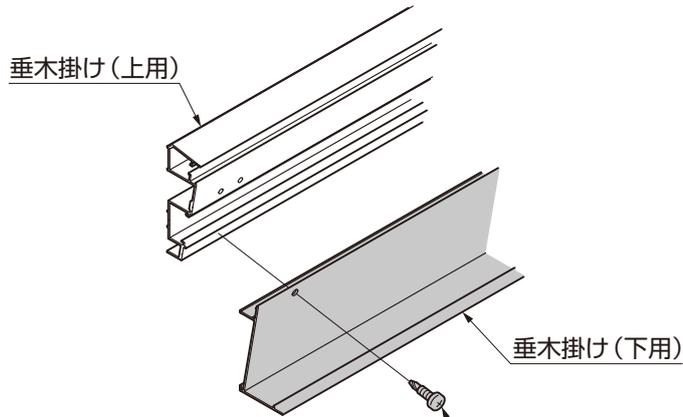
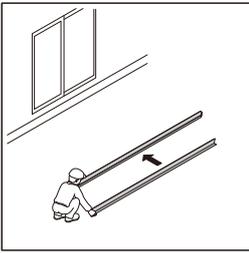
補足

●配線は垂木掛けの溝を使うこともできます。



1. (つづき)

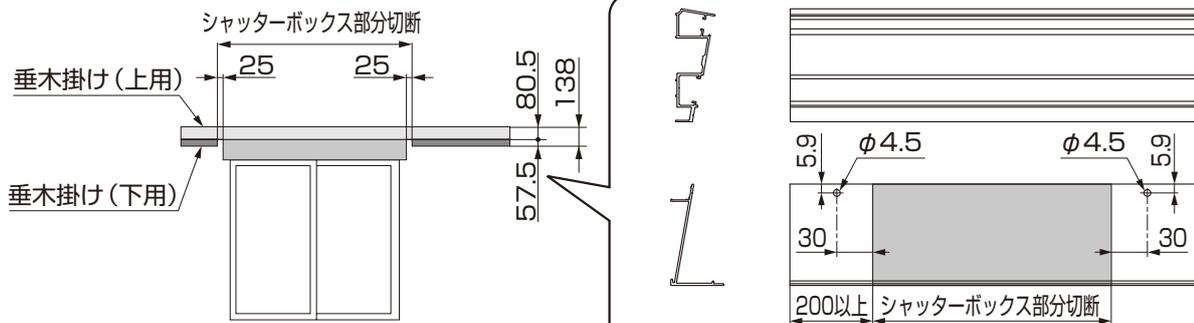
1-2 垂木掛けの組立て



【1-2】φ4×13ナベドリルネジ

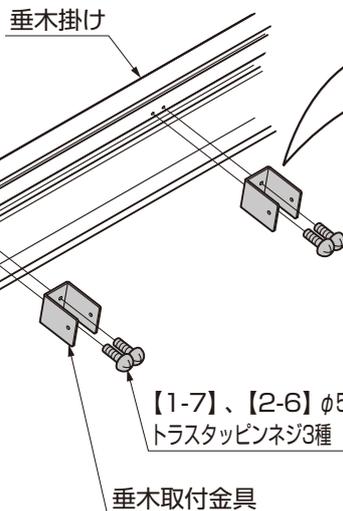
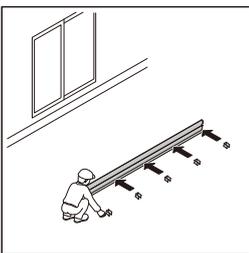
ポイント

●垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け(下用)は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け(下用)が必要です。

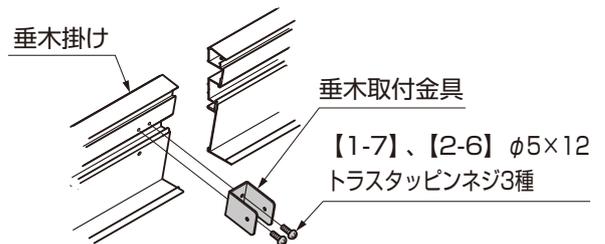


①垂木掛け(下用)を垂木掛け(上用)に【1-2】で取付けてください。

1-3 垂木取付金具の取付け



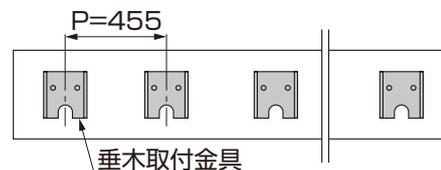
【連棟の場合】



ポイント

【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当) 仕様の場合)

●垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。

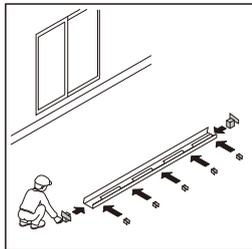


①垂木取付金具を垂木掛けに【1-7】、【2-6】で取付けてください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

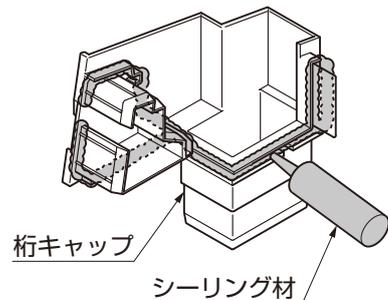
2. 桁の組立て

2-1 桁の組立て



ポイント

- 図は右側を示します。左側も同様に取付けてください。
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。



桁キャップ

【1-7】、【2-6】 $\phi 5 \times 12$
トラスタッピンネジ3種

垂木取付金具

【1-5】 $\phi 4 \times 12$
トラスタッピンネジ1種

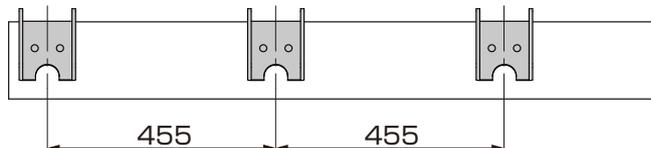
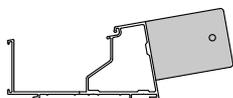
桁



ポイント

【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当) 仕様の場合)

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。



- ①垂木取付金具を桁に【1-7】、【2-6】で取付けてください。
- ②桁キャップをシーリングしてください。

ポイント

- 桁キャップと桁を組付けた後にシーリングが桁と桁キャップの両方に十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど塗布が不十分な場合は追加してください。

- ③桁キャップを桁に【1-5】で取付けてください。

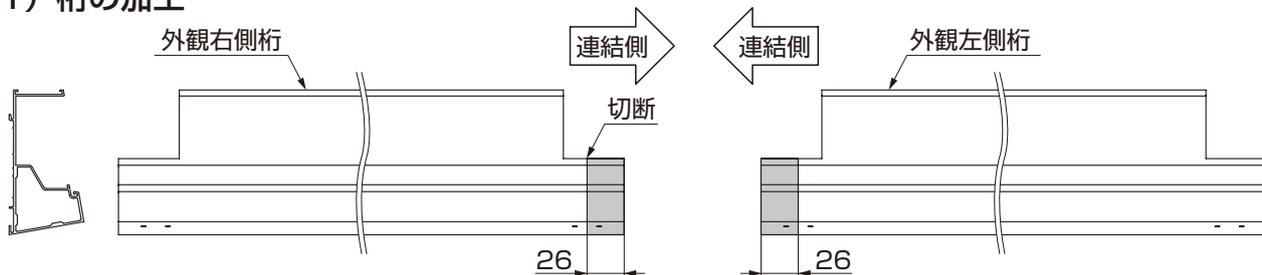
ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

2. (つづき)

2-2 連棟の場合

(1) 桁の加工



①左右の桁を均等に切断してください。

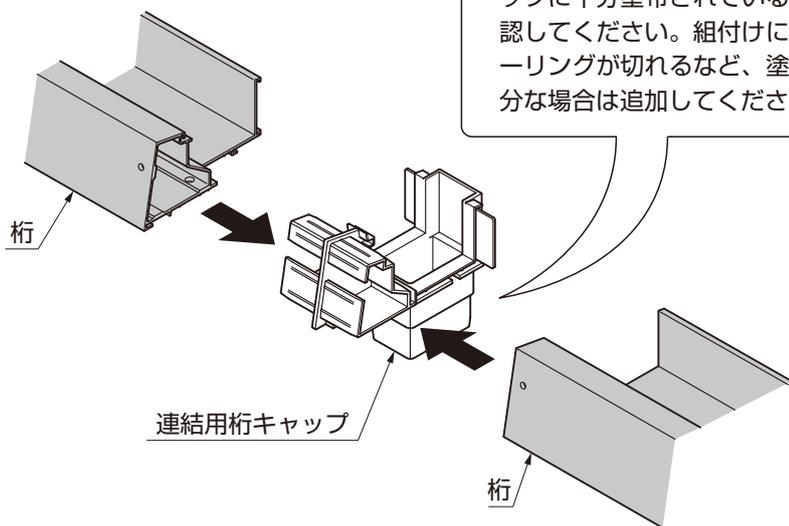
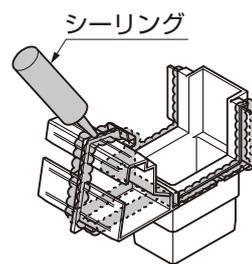
ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

(2) 桁の連結

ポイント

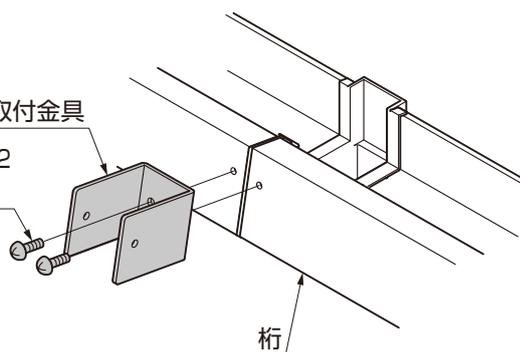
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 指定以外の箇所にはシーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。
- 組付け後はシーリングが桁と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど、塗布が不十分な場合は追加してください。



①連結用桁キャップにシーリングしてください。

②左右の桁を連結用桁キャップにはめ込んでください。

垂木取付金具
【1-7】、【2-6】 φ5×12
トラスタッピンネジ3種



③垂木取付金具を、連結した桁に【1-7】、【2-6】で取付けてください。

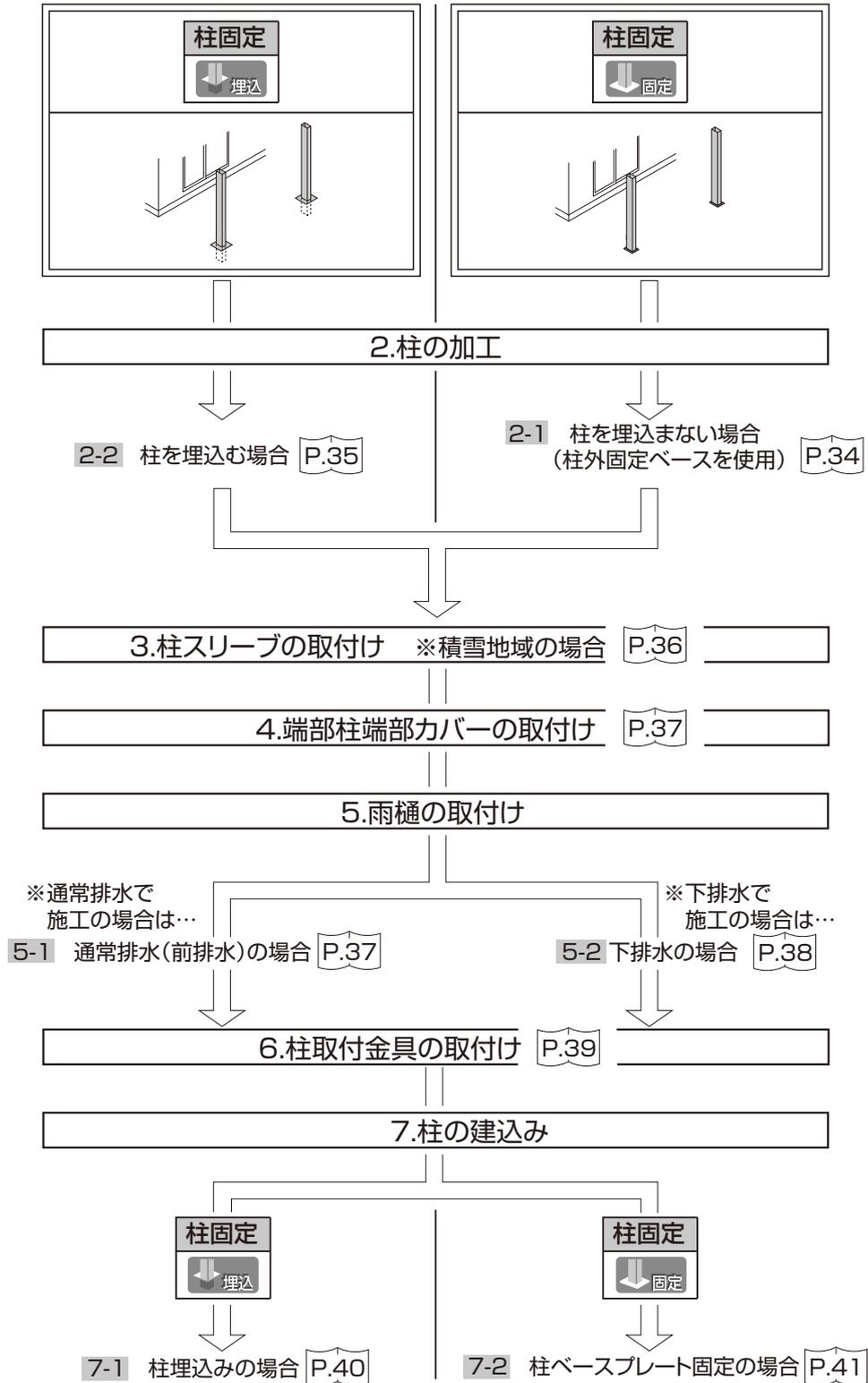
10 柱の建込み

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

1. 施工手順の確認

ポイント

●柱の建込み方法は下記の方法があります。必ず施工方法を確認の上、説明ページを参照してください。



2. 柱の加工

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

ポイント

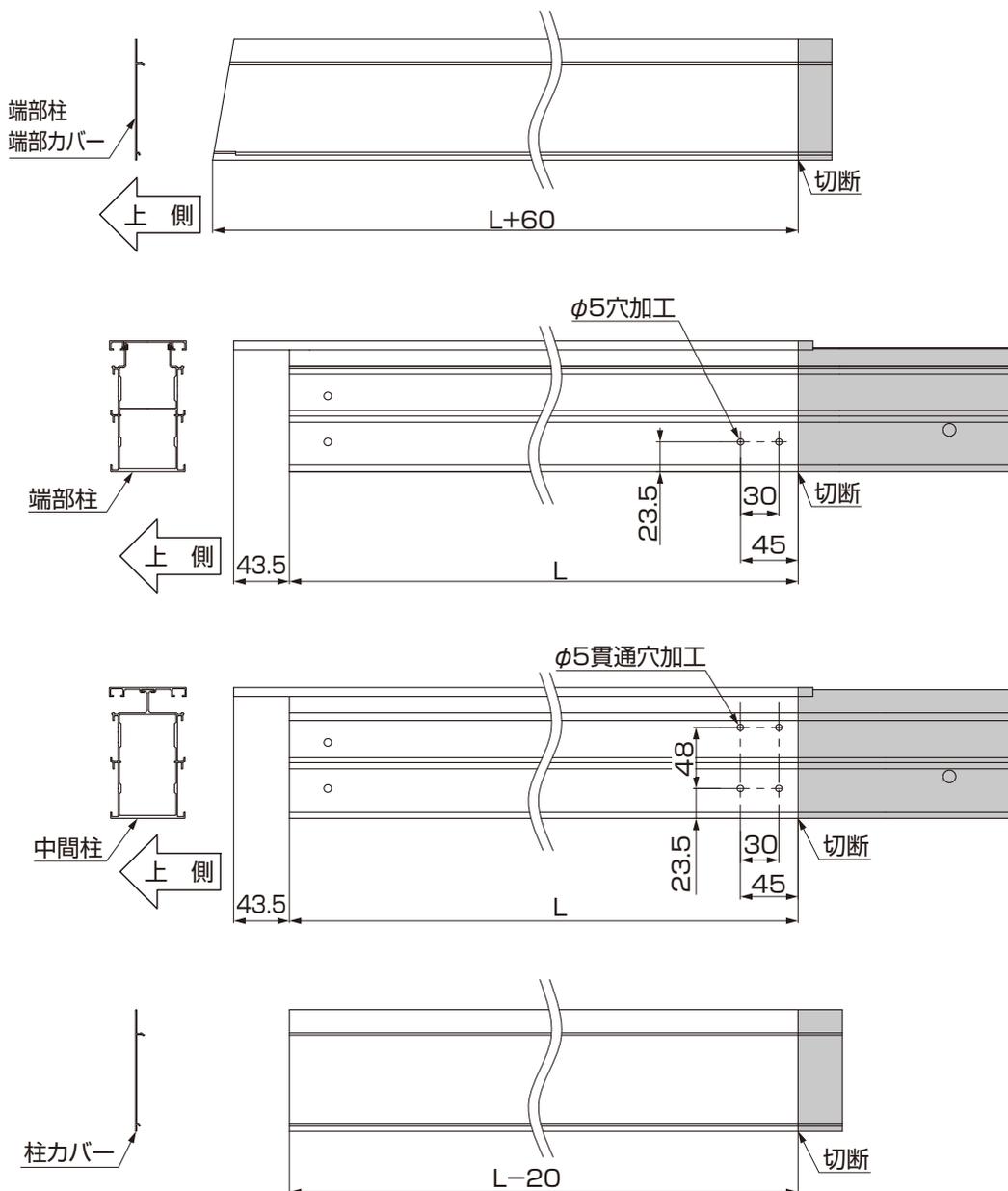
- 柱前面の部材はスライドします。切断の際は位置を合わせ、テープ等で仮固定した上で切断してください。
- 本加工は、規格の柱長さの場合の加工を示します。柱長さを現場で変更する場合は、それに合わせた寸法で加工してください。
- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。
- 角樋を端部柱から引き抜いて切断してください。

10

柱の建込み

2-1 柱を埋込まない場合（柱外固定ベース：を使用）

※柱をF.L.でベースプレート固定する場合



(参考)

F.L.～上部分柱寸法H

サイズ	H
標準	2650
ロング	3350

※柱前面材～柱上部
43.5mmは除く

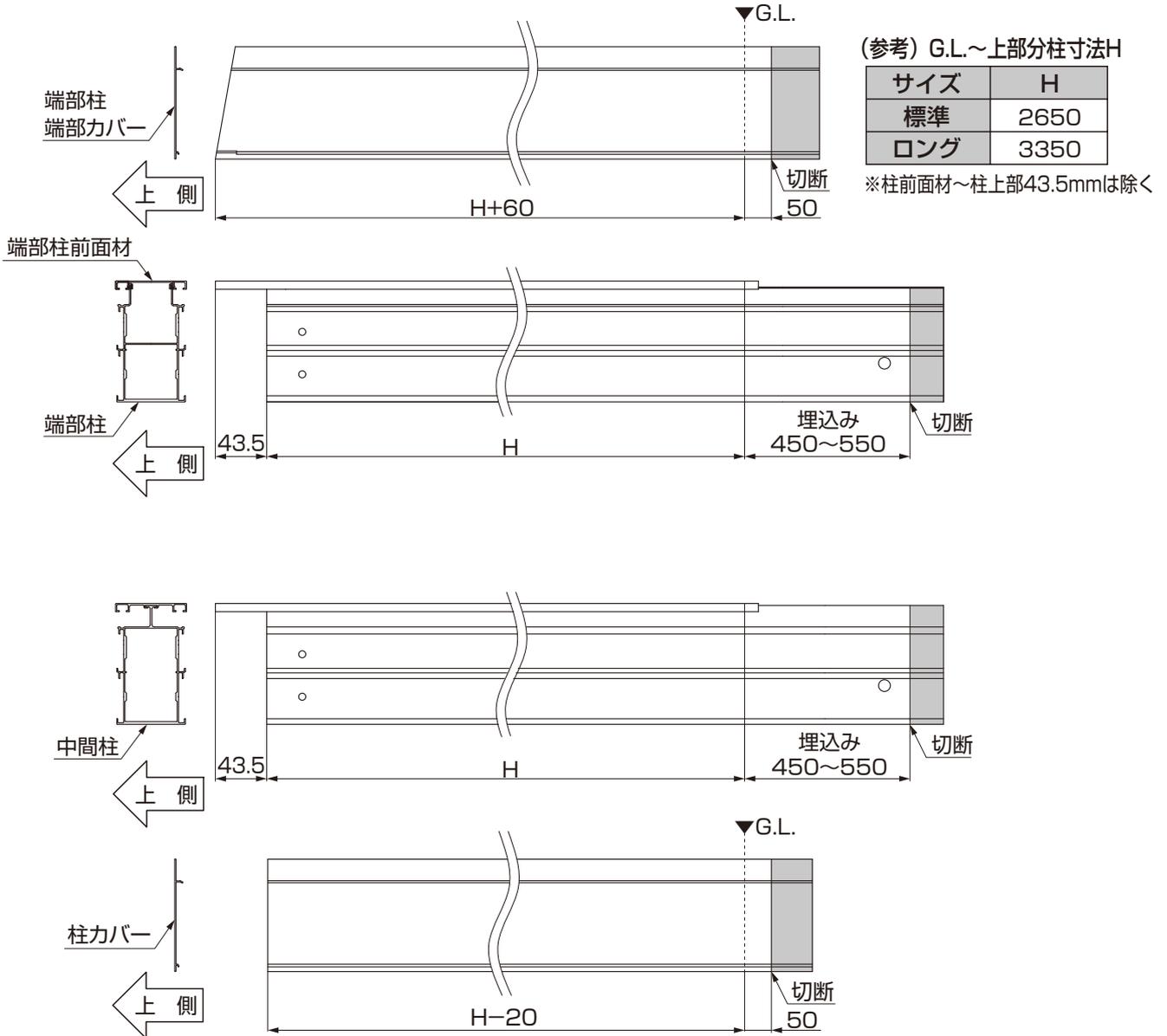
※ベースプレートの
厚みを含む

表2-1

サイズ	L
標準	2647
ロング	3347

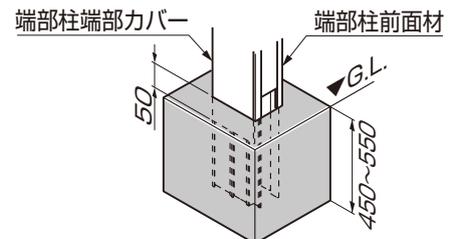
- ①角樋を端部柱から引き抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバー、中間柱、柱カバーを切断してください。
- ③角樋を端部柱に差し込んでください。

2-2 柱を埋込む場合



ポイント

- 端部柱端部カバーは50mm埋込むため、埋込みラインより50mm下になるように切断してください。
- 端部柱前面材のみ上から切断してください。
- 現場状況(施工状況)に合わせて切断寸法を計算してください。
- 端部柱前面材はG.L.まで、柱端部端部カバーは50mm埋込みとなります。
- 端部柱端部カバーはここでは取付けないでください。



- ① 角樋を端部柱から引抜いてください。
- ② 端部柱、端部柱端部カバー、中間柱を切断してください。
- ③ 角樋を端部柱に差込んでください。

3. 柱スリーブの取付け

※積雪3000Nの場合です。

床	柱固定	地域
		積雪地域

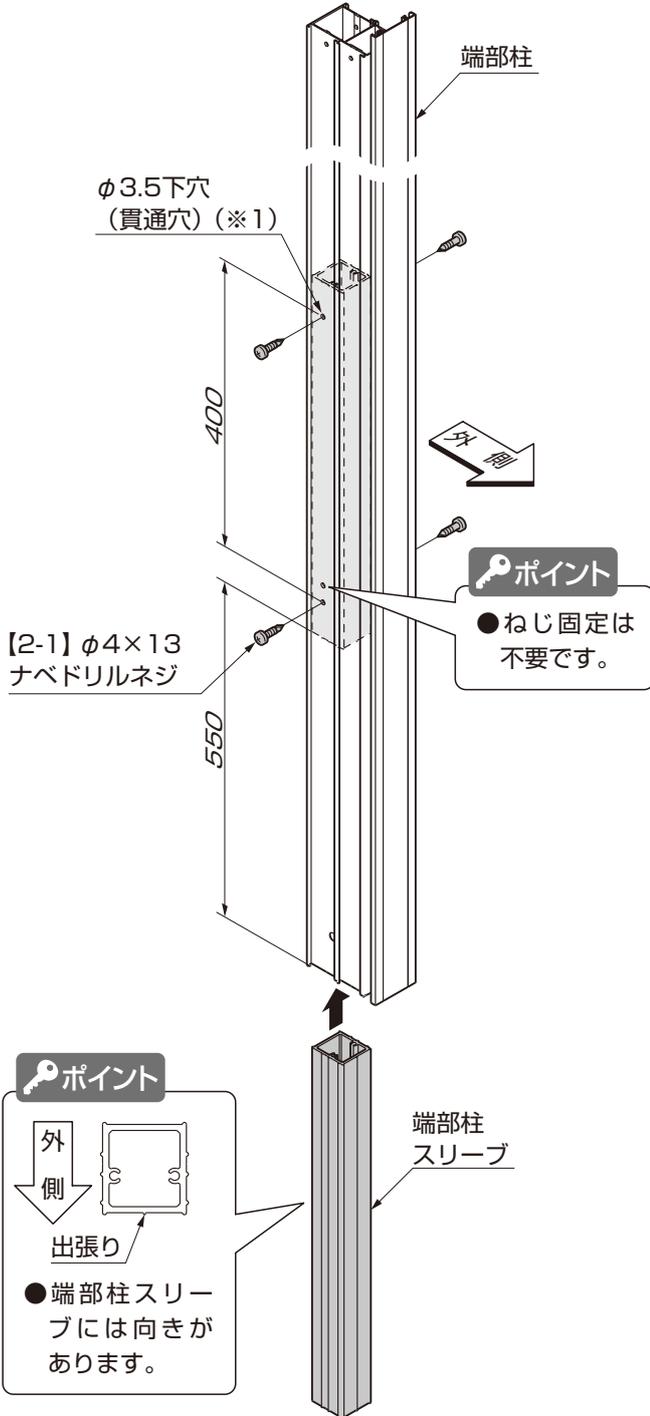


図3-1 端部柱

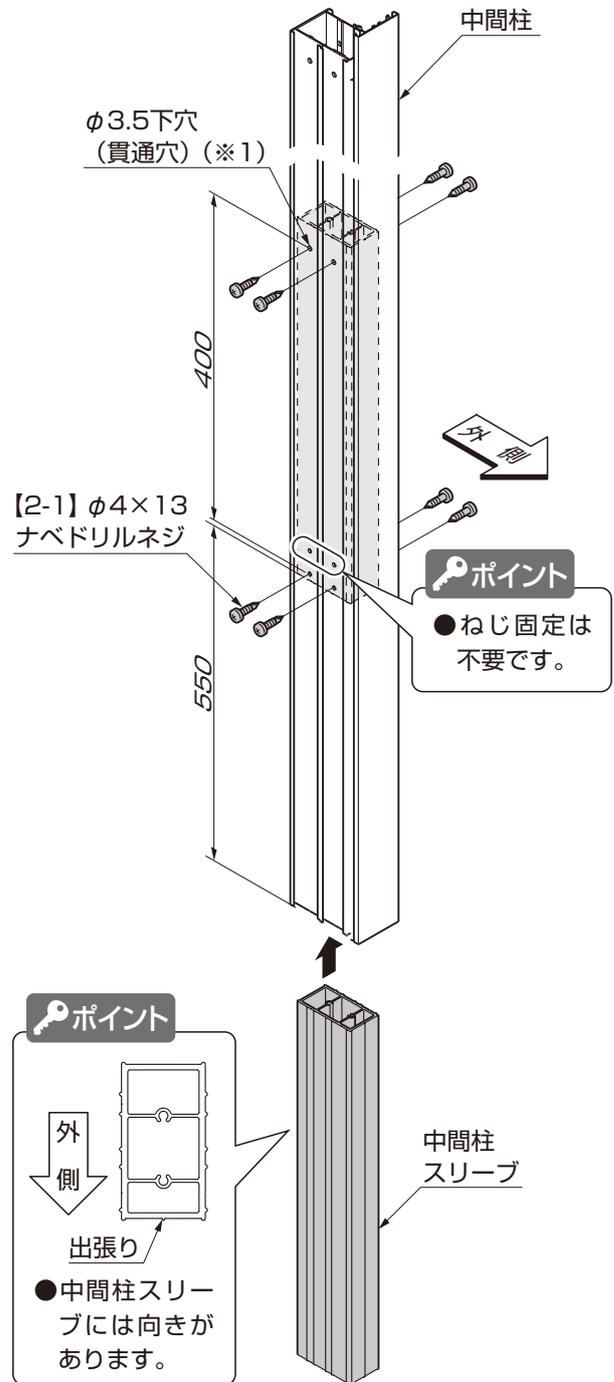
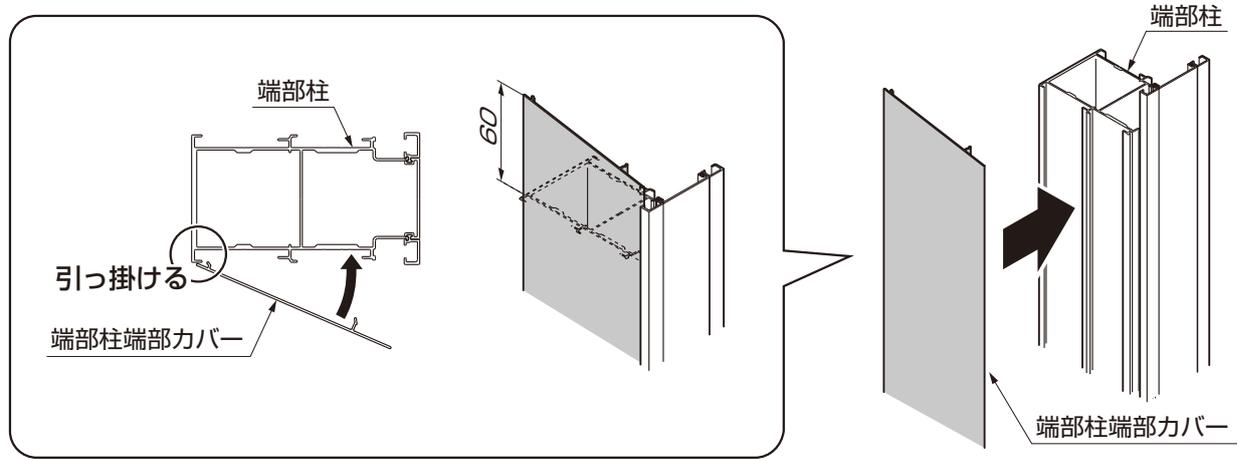


図3-2 中間柱

- ①端部柱、中間柱にφ3.5下穴(貫通穴)(※1)をあけてください。
- ②端部柱に端部柱スリーブを差込み、【2-1】で取付けてください。
- ③中間柱に中間柱スリーブを差込み、【2-1】で取付けてください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

4. 端部柱端部カバーの取付け

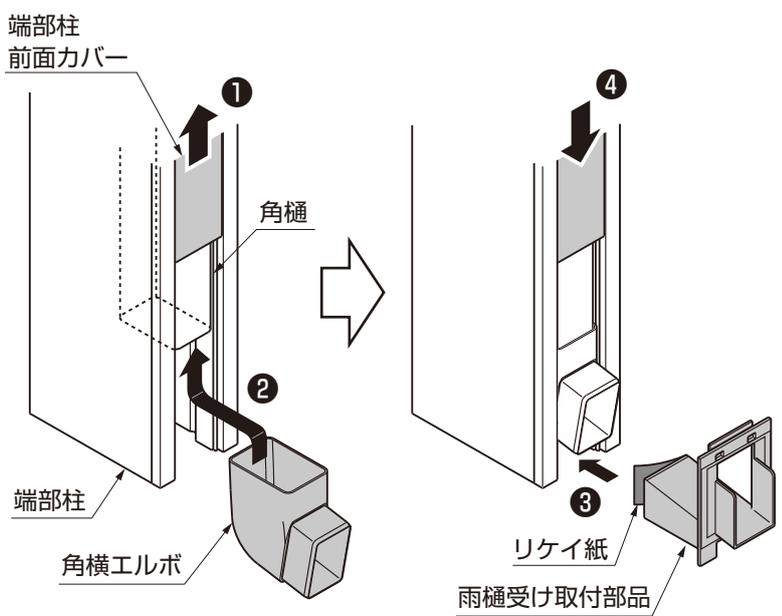


①端部柱端部カバーを端部柱に取付けてください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

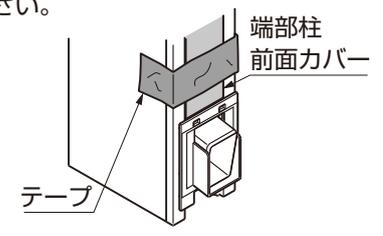
5. 雨樋の取付け

5-1 通常排水（前排水）の場合



ポイント

- 雨樋受け取付部品の上に前面カバーを乗せてください。
- 雨樋受け取付部品下端がF.L.ラインにくるように取付けてください。
- 建込みまでの間、端部柱前面カバーがズレないようにテープなどで仮固定してください。

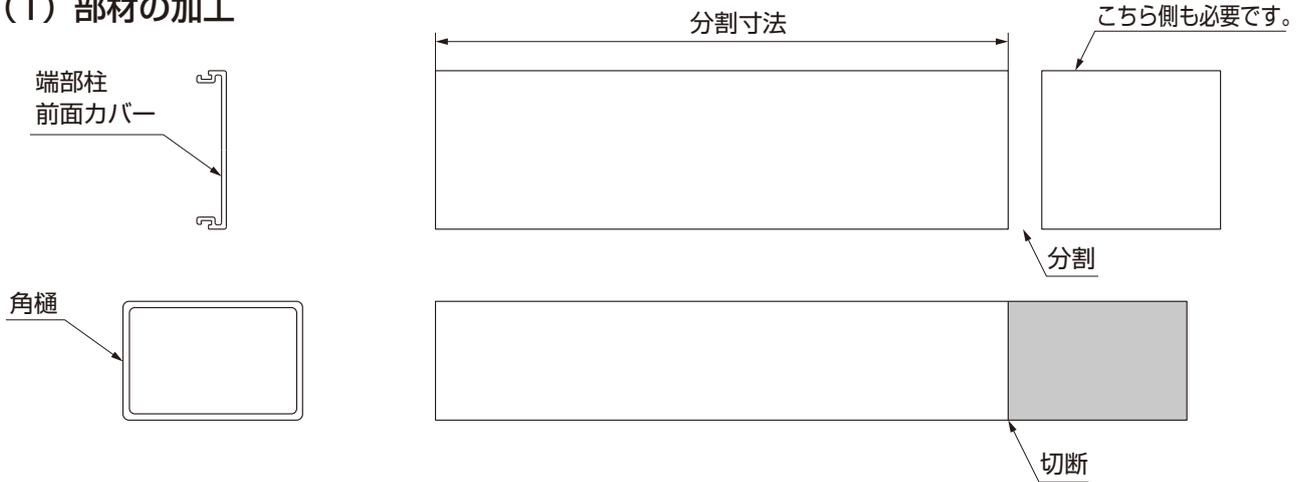


- ①端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
- ②雨樋受け取付部品のリケイ紙をはがし、端部柱に取付けてください。
- ③端部柱前面カバーを下ろし、雨樋受け取付部品に乗せてください。

5. (つづき)

5-2 下排水の場合 ※積雪対応や障害物を避けるため排水位置を上方に変更する方法です。

(1) 部材の加工

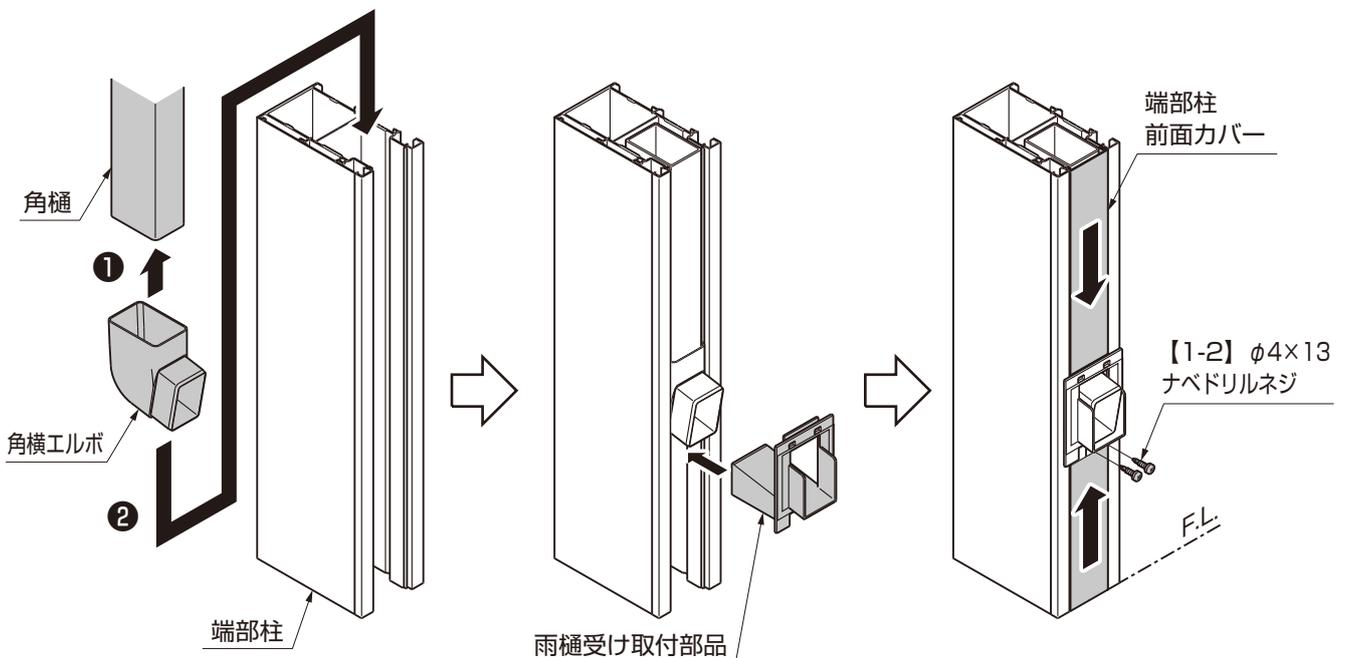


①端部柱から端部柱前面カバー、角樋を引抜き切断・分割してください。

ポイント

- 排水位置の上限は雨樋受け部品上部の端部柱前面カバーが100mm未満にならない位置までです。
端部柱内角樋のL寸は、「(切断前の角樋長さ) - (端部柱前面カバー分割寸法)」より求められます。

(2) 排水口の高さ調整



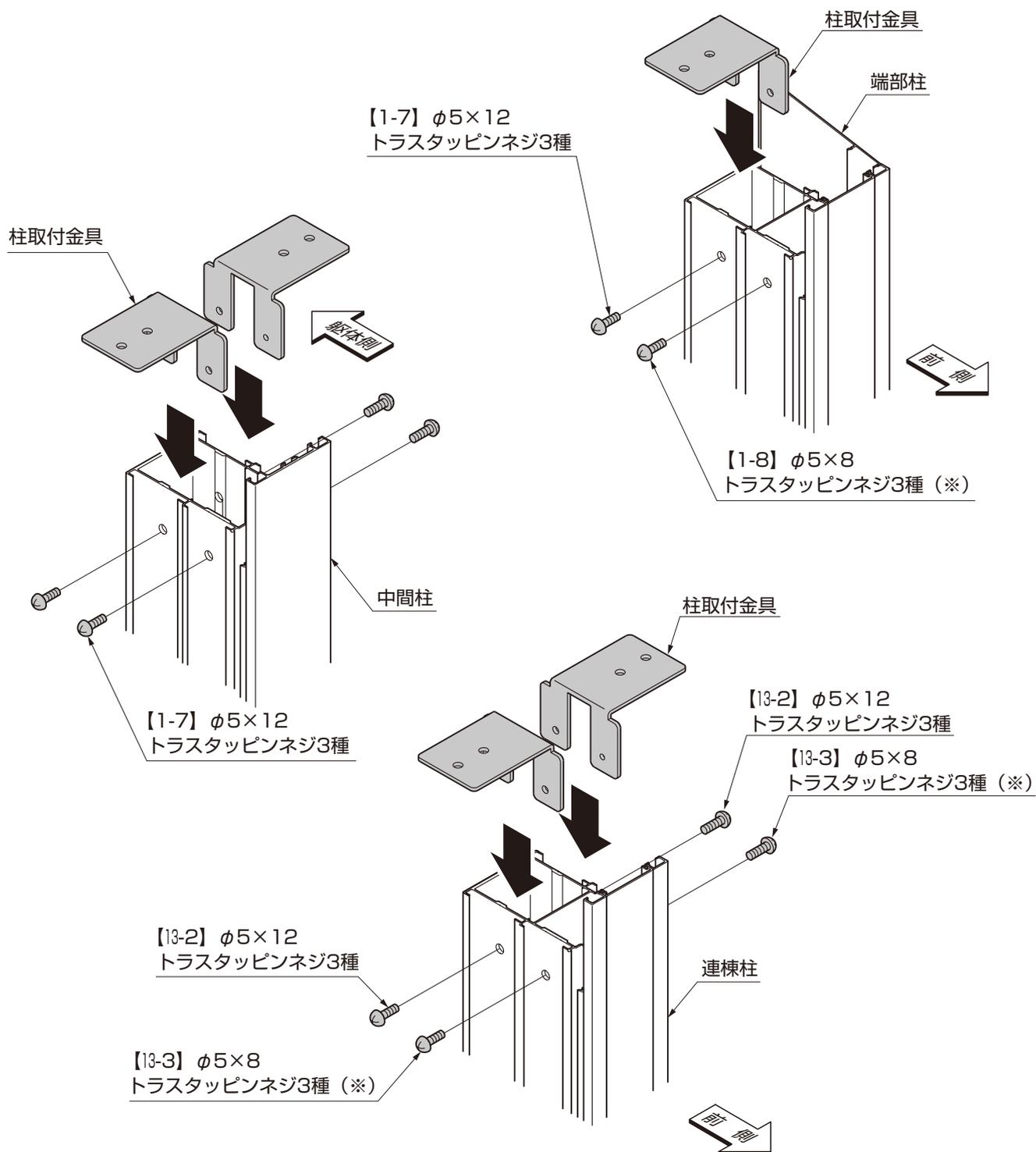
- ①角横エルボを角樋に取付け、端部柱にセットしてください。
- ②雨樋受け取付部品を端部柱にセットしてください。(ネジ固定はしないでください。)
- ③上下の端部柱前面カバーで雨樋受け取付部品をはさみ、下側のカバー下端がF.L.ラインになるようにしてください。
- ④この位置で雨樋受け取付部品を端部柱に【1-2】で固定してください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

6. 柱取付金具の取付け

ポイント

●図は右側を示しています。左側は左右対称です。



①柱取付金具を柱に、【1-7】、【1-8】、【13-2】、【13-3】で取付けてください。

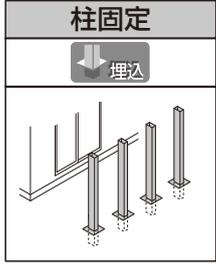
ポイント

●端部柱と連棟柱の前側は、雨樋と干渉しないよう【1-8】、【13-3】を使用してください。(※)

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

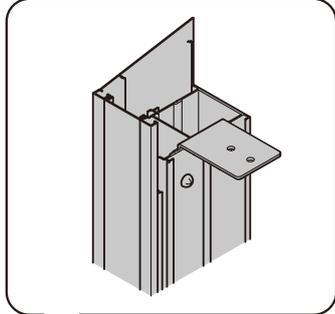
7. 柱の建込み

7-1 柱埋込みの場合

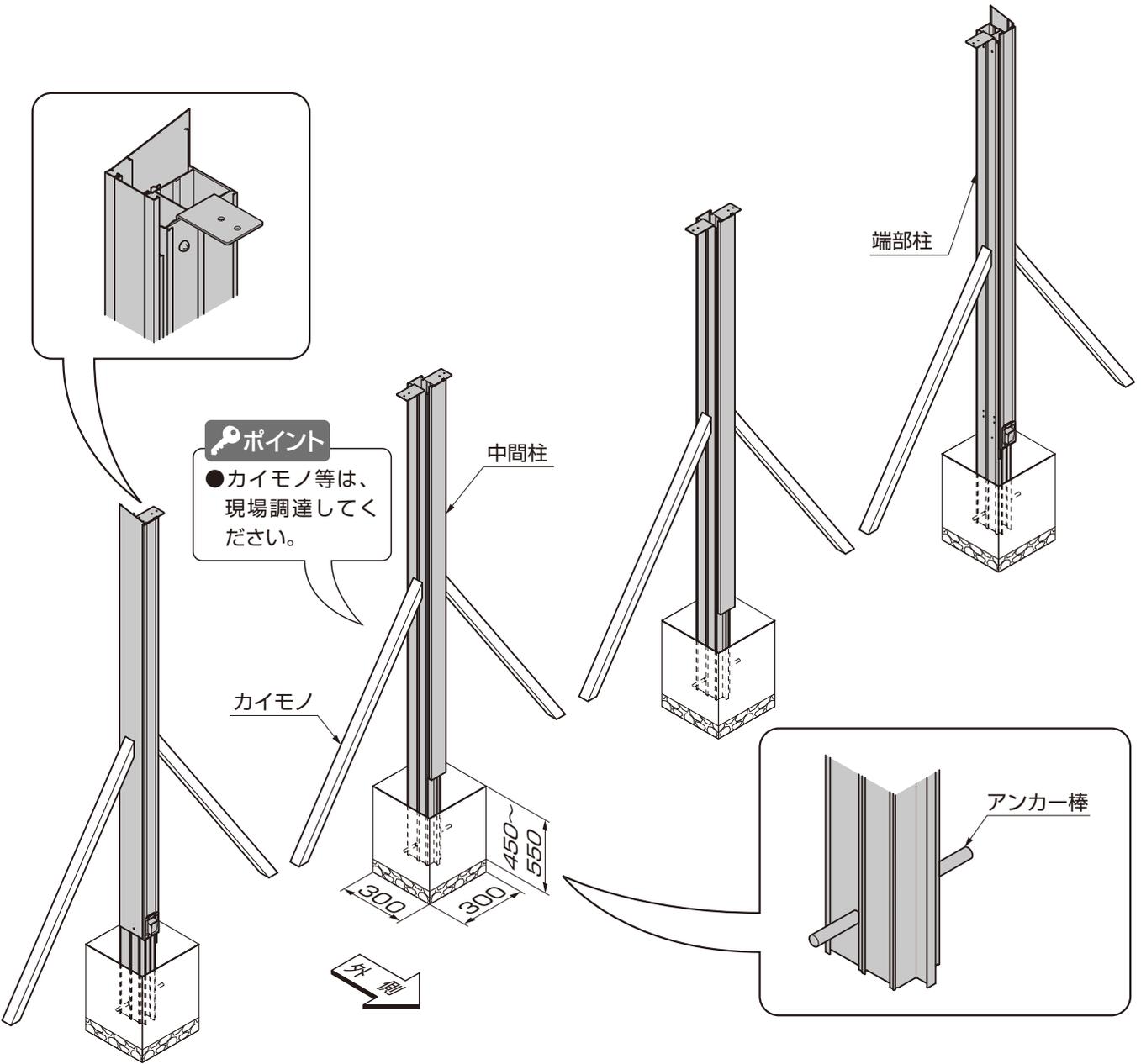


ポイント

●柱の基本埋込み寸法は550mmです。それ以下の寸法で埋込む場合は、切断およびアンカー棒通し穴をあけ直してください。埋込み寸法は450mm以上にしてください。



ポイント
●カイモノ等は、現場調達してください。

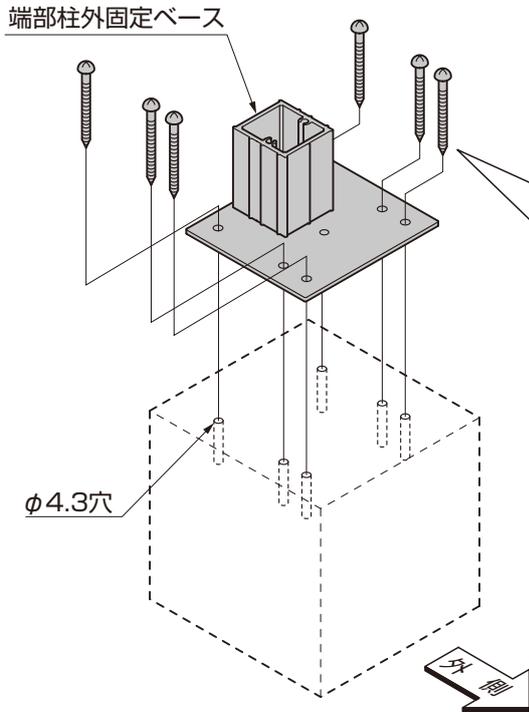


- ①アンカー棒をテラス用端部柱、中間柱に差込み、「7 柱の位置出し」を参照して建込んでください。
- ②端部柱、中間柱が倒れないようにカイモノなどで仮固定してください。

10
柱の建込み

7-2 柱ベースプレート固定の場合 ※図は端部柱用を示します。中間柱用の手順も同様です。

(1) 柱固定ベースの取付け

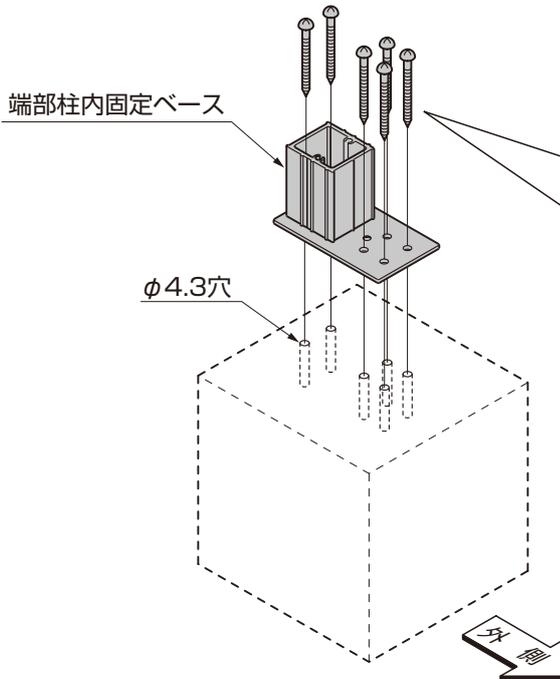


ポイント

●取付けネジは、下表を参照ください。

	取付けネジ	$\phi 4.3$ 穴加工
デッキ	【14-2】、【16-2】 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ	有
土間 or 束石	【14-1】、【16-1】 $\phi 5 \times 35$ セルフタッピングアンカー	無

図7-1 柱外固定ベース



ポイント

●取付けネジは、下表を参照ください。

	取付けネジ	$\phi 4.3$ 穴加工
デッキ	【15-2】、【17-2】 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ	有
土間 or 束石	【15-1】、【17-1】 $\phi 5 \times 35$ セルフタッピングアンカー	無

図7-2 柱内固定ベース

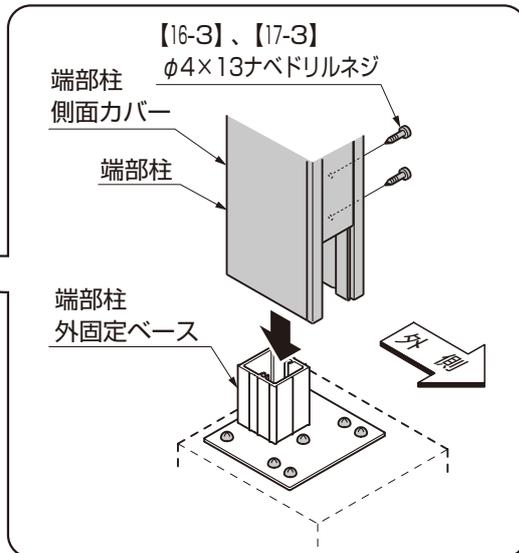
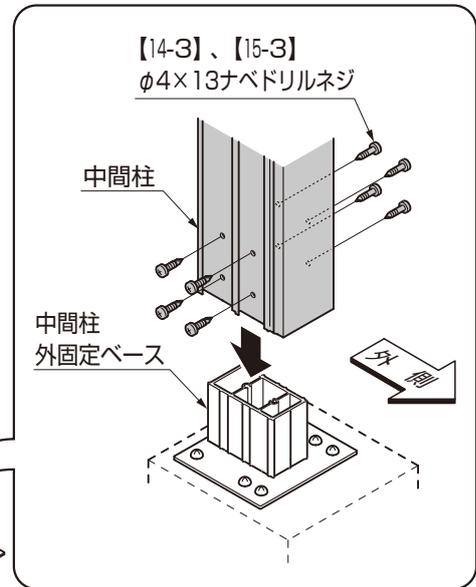
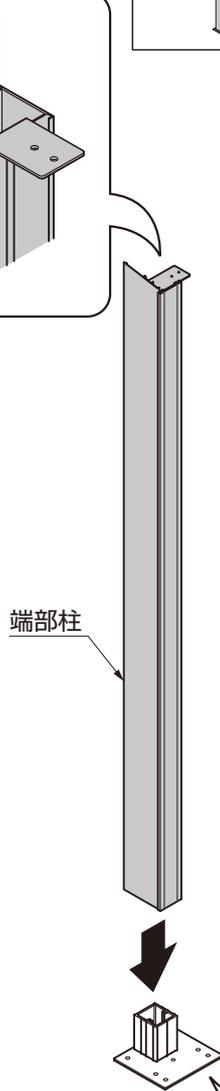
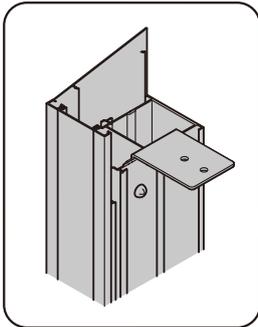
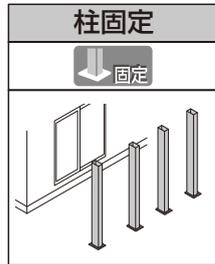
- ①柱固定ベースを取付ける箇所に $\phi 4.3$ の穴をあけてください。
- ②柱固定ベースを取付けてください。

7. (つづき)

7-2 つづき

(2) 柱の建込み

10
柱の建込み



①端部柱を【16-3】、【17-3】で、中間柱を【14-3】、【15-3】で柱固定ベースに取付けてください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

8. 入隅の場合 ※図は右入隅の場合を示します。左入隅の場合は対称です。

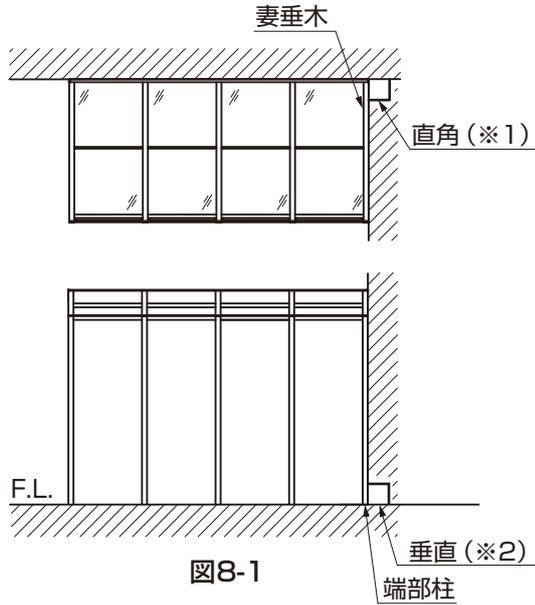


図8-1

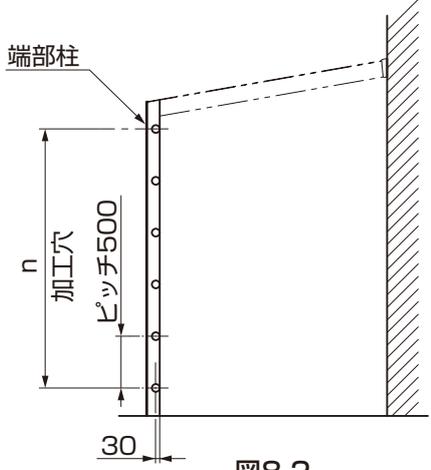


図8-2

表8-1

	加工穴n
標準	6
ロング	7

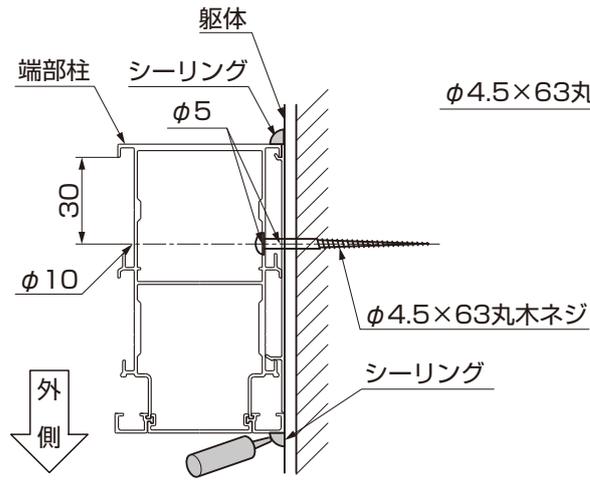


図8-3

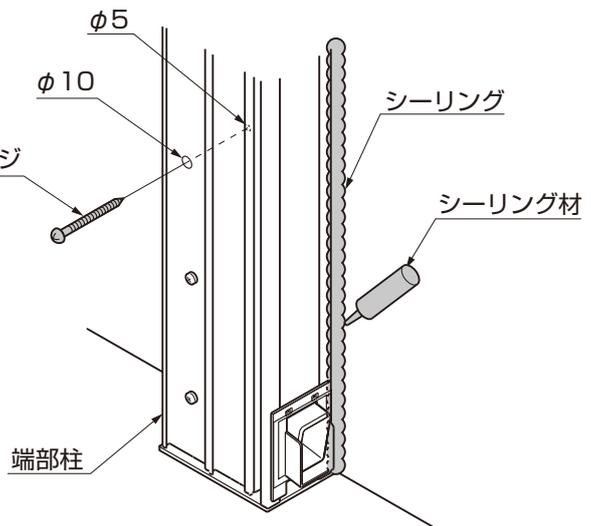


図8-4

ポイント

●躯体外壁の直角度(※1)、垂直度(※2)に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。(図8-1参照)

- ①入隅側の端部柱に、 $\phi 10$ 、 $\phi 5$ の穴をあけてください。(図8-2、図8-3、表8-1参照)
- ②端部柱と躯体を、「 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ」で取付けてください。(図8-3、図8-4参照)

ポイント

●「 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ」は、現場で手配してください。

- ③端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。(図8-4参照)

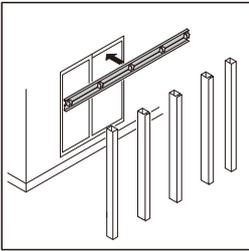
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 入隅側のシーリング材は、現場で手配してください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。

11 フレーム施工

1. 垂木掛けの取付け

1-1 垂木掛けの取付け



補足

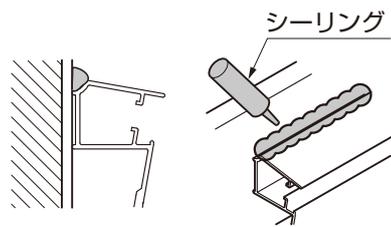
- 躯体方立を取付けている場合は垂木掛けを躯体方立に乗せて取付けてください。
- 垂木掛けの取付け位置は「5 基本寸法」を参照してください。

ポイント

- 垂木掛けの躯体取付け面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付け面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

ポイント

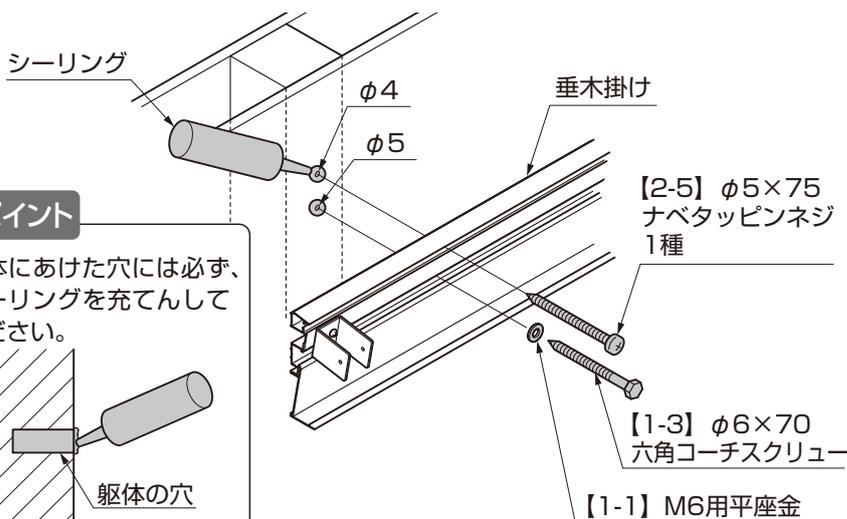
- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。



【積雪地域】

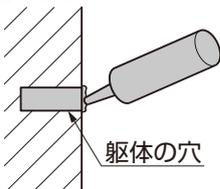


(積雪地域3000N(100cm相当)仕様の場合)



ポイント

- 躯体にあけた穴には必ず、シーリングを充て込んでください。

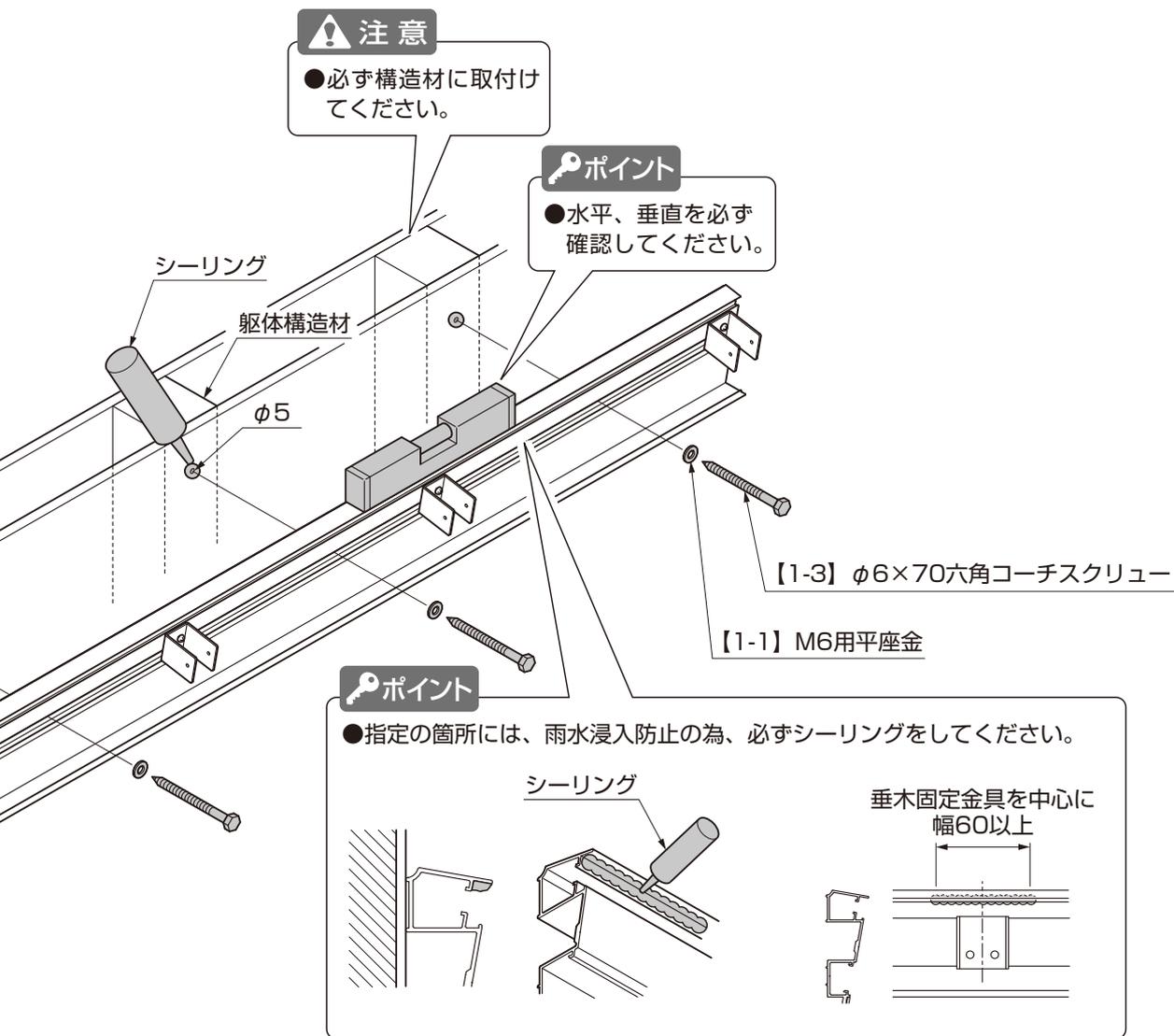


【一般地域】



- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-1】、【1-3】で取付けてください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		



【積雪地域】  (積雪地域1500N (50cm相当)仕様の場合)

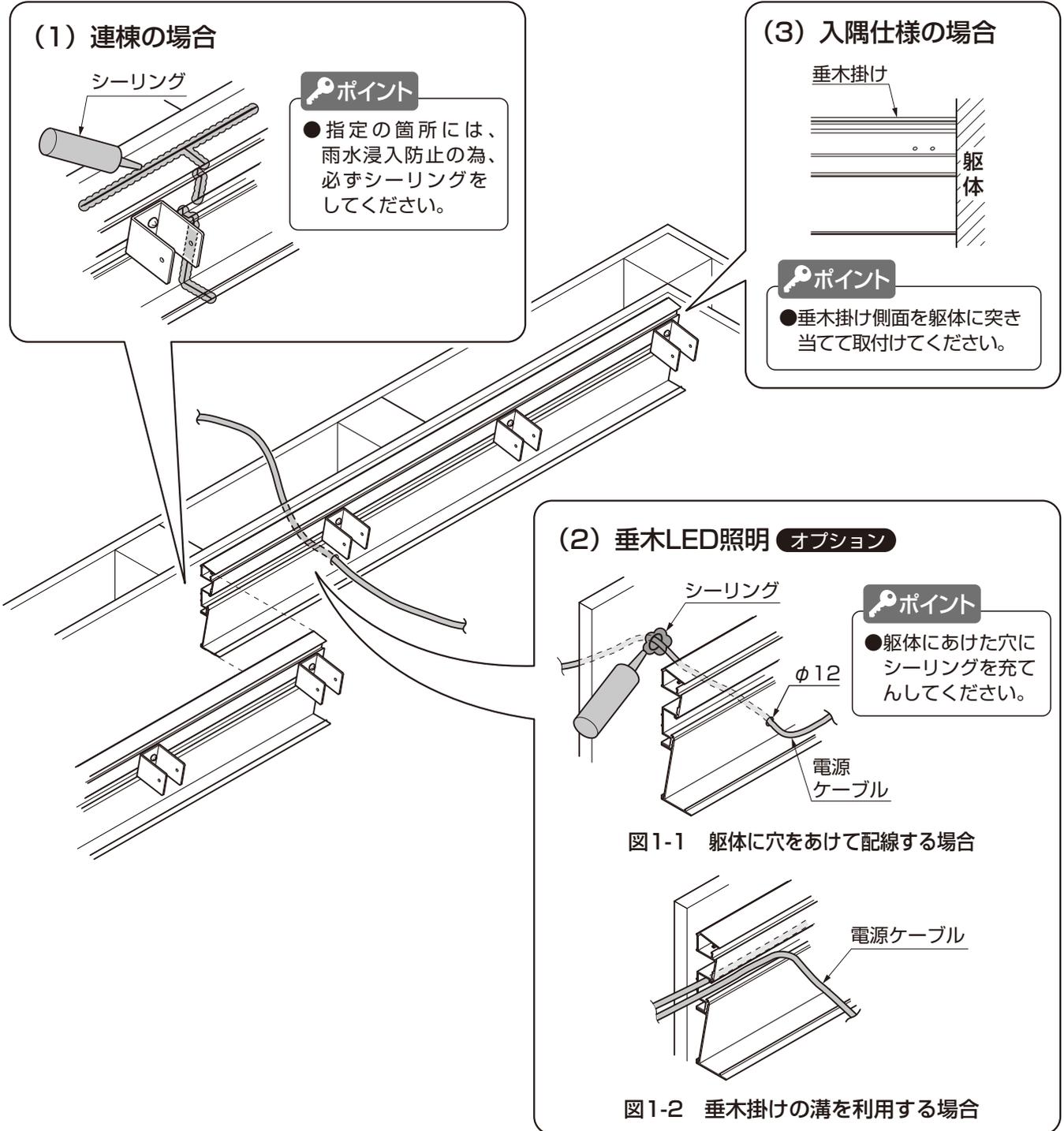
- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ4とφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-1】、【1-3】で取付けてください。

【積雪地域】  (積雪地域3000N (100cm相当)仕様の場合)

- ① 躯体に垂木取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-1】、【1-3】と【2-5】で取付けてください。

1. (つづき)

1-2 連棟、垂木LED照明 **オプション**、入隅仕様の場合



(1) 連棟の場合

- ① 垂木掛けの連結箇所にシーリングをしてください。

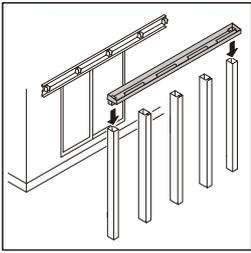
(2) 垂木LED照明 **オプション**

- ① 躯体に穴をあけて配線する場合は、「8 施工前の準備 1.配線工事」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ12の穴をあけ、躯体から配線してください。

(3) 入隅仕様の場合

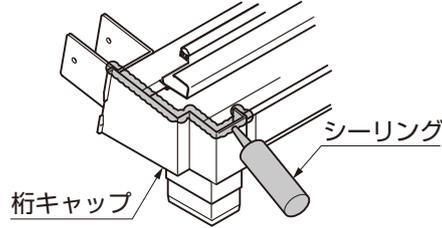
- ① 垂木掛けを躯体にあてがい取付けてください。

2. 桁の取付け



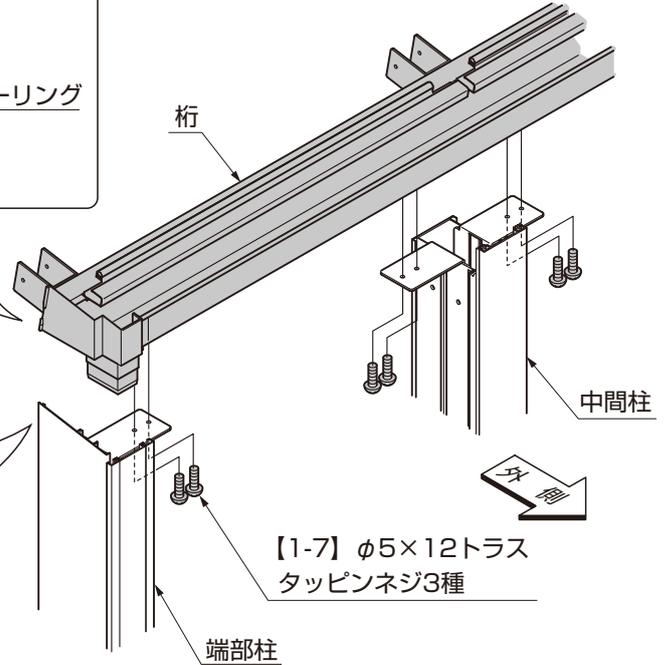
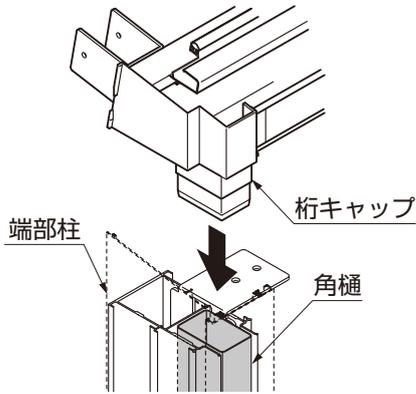
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。

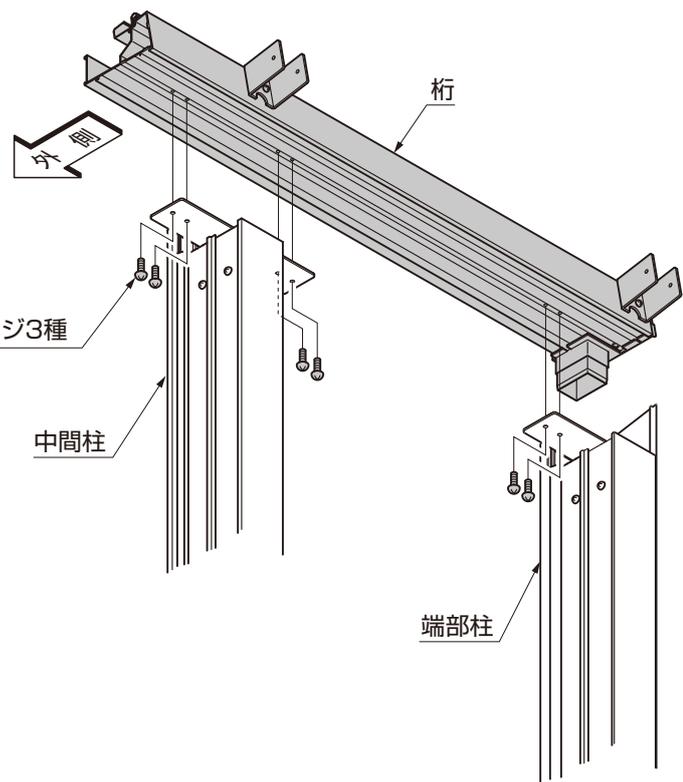


ポイント

- 桁キャップを角樋に挿入してください。



【1-7】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

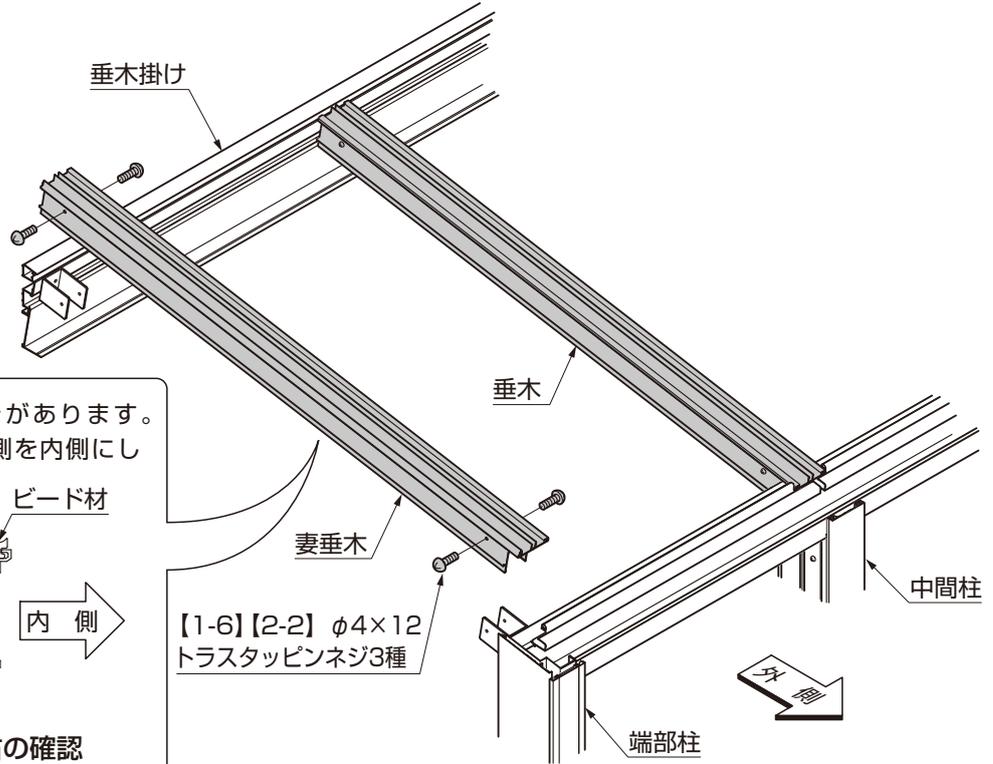
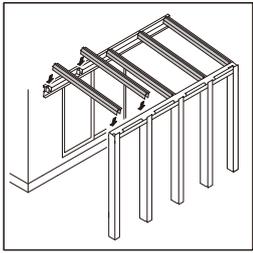


【1-7】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

- ①桁キャップをシーリングしてください。
- ②桁を端部柱、中間柱に【1-7】で取付けてください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

3. 妻垂木・垂木の取付け



ポイント

●妻垂木には左右の向きがあります。ビード材が付いている側を内側にして取付けてください。

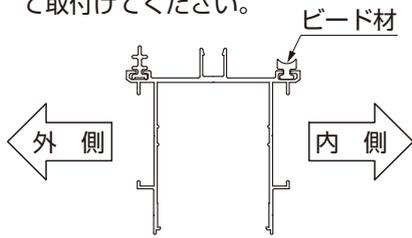
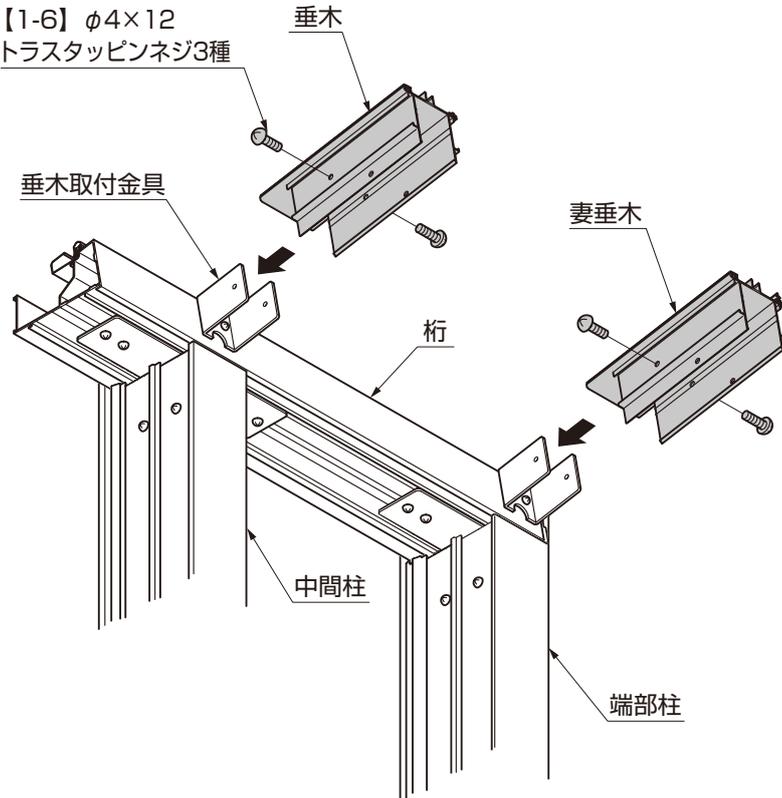


図3-1 妻垂木左右の確認

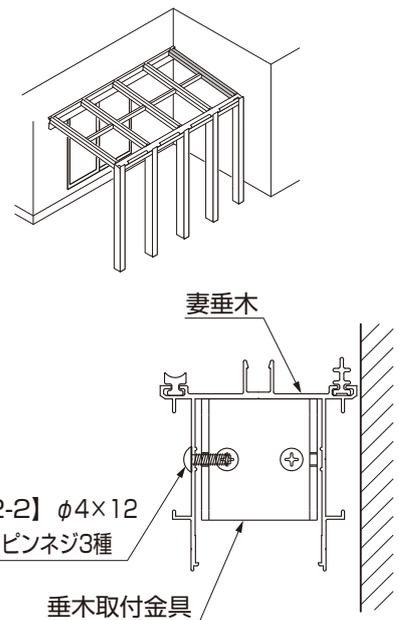
【1-6】【2-2】φ4×12
トラスタッピンネジ3種



ポイント

【入隅仕様の場合】

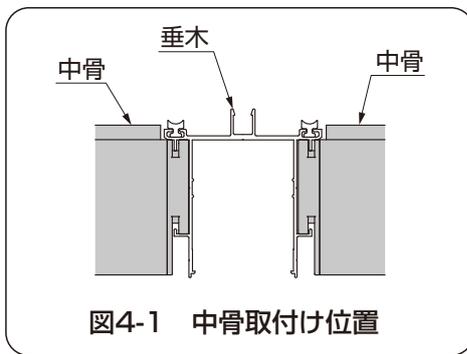
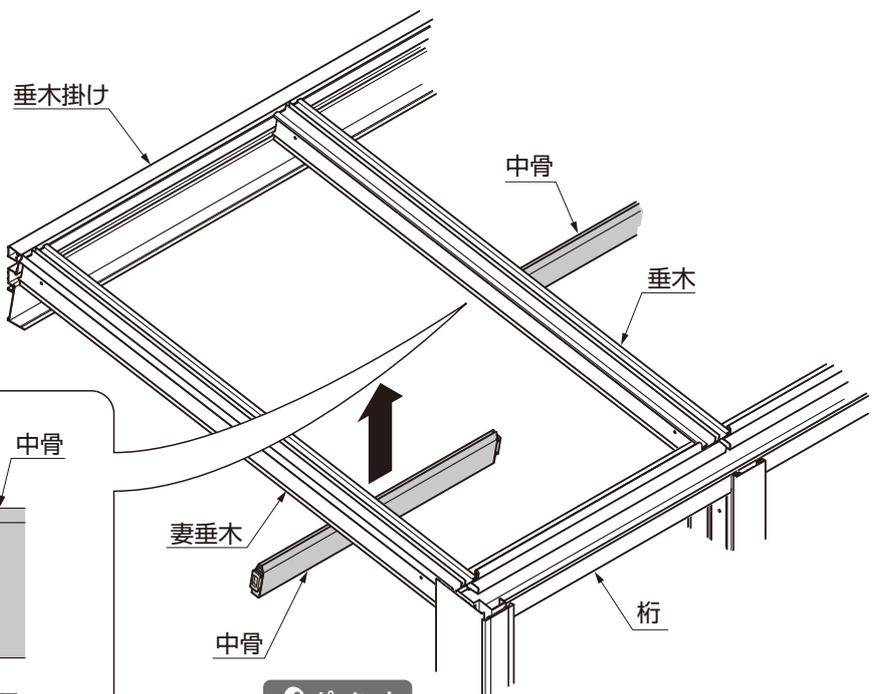
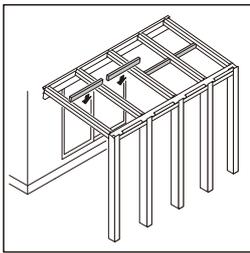
●【1-6】を片側だけ取付けてください。



【1-6】【2-2】φ4×12
トラスタッピンネジ3種

①妻垂木、垂木を垂木取付金具に【1-6】、【2-2】で取付けてください。

4. 中骨の取付け



ポイント

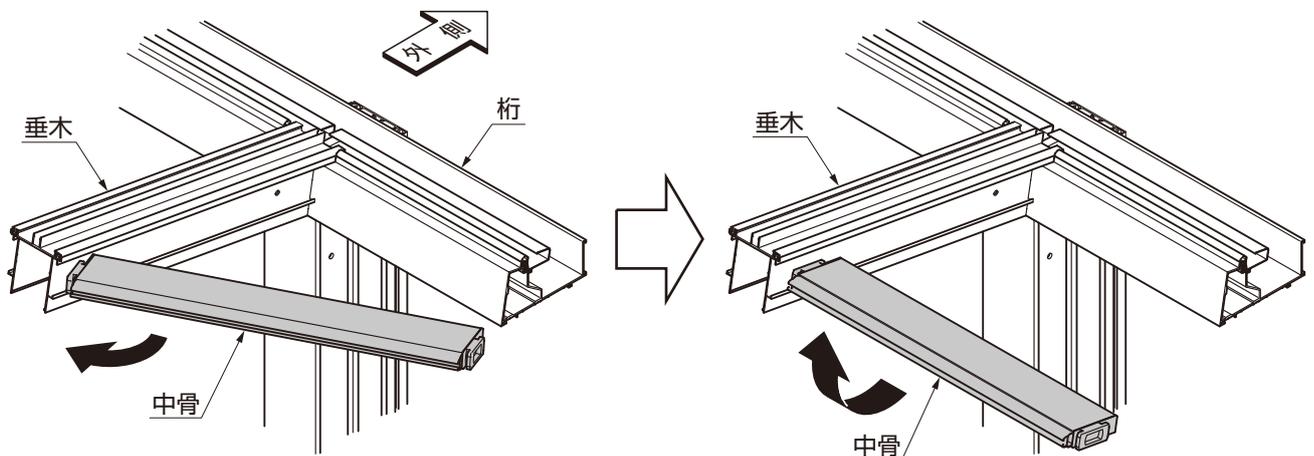
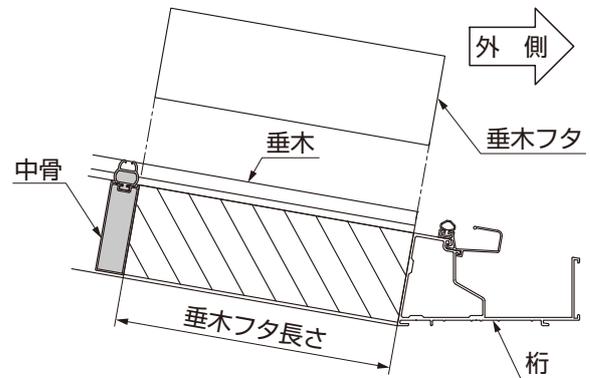
●仕様によって中骨の本数が異なります。

表4-1 1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺	10尺
600N	-	1	1	2
1500N・3000N	1	2	3	

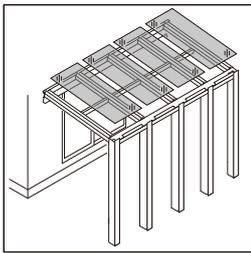
ポイント

●垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。



①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。

5. 屋根材の取付け

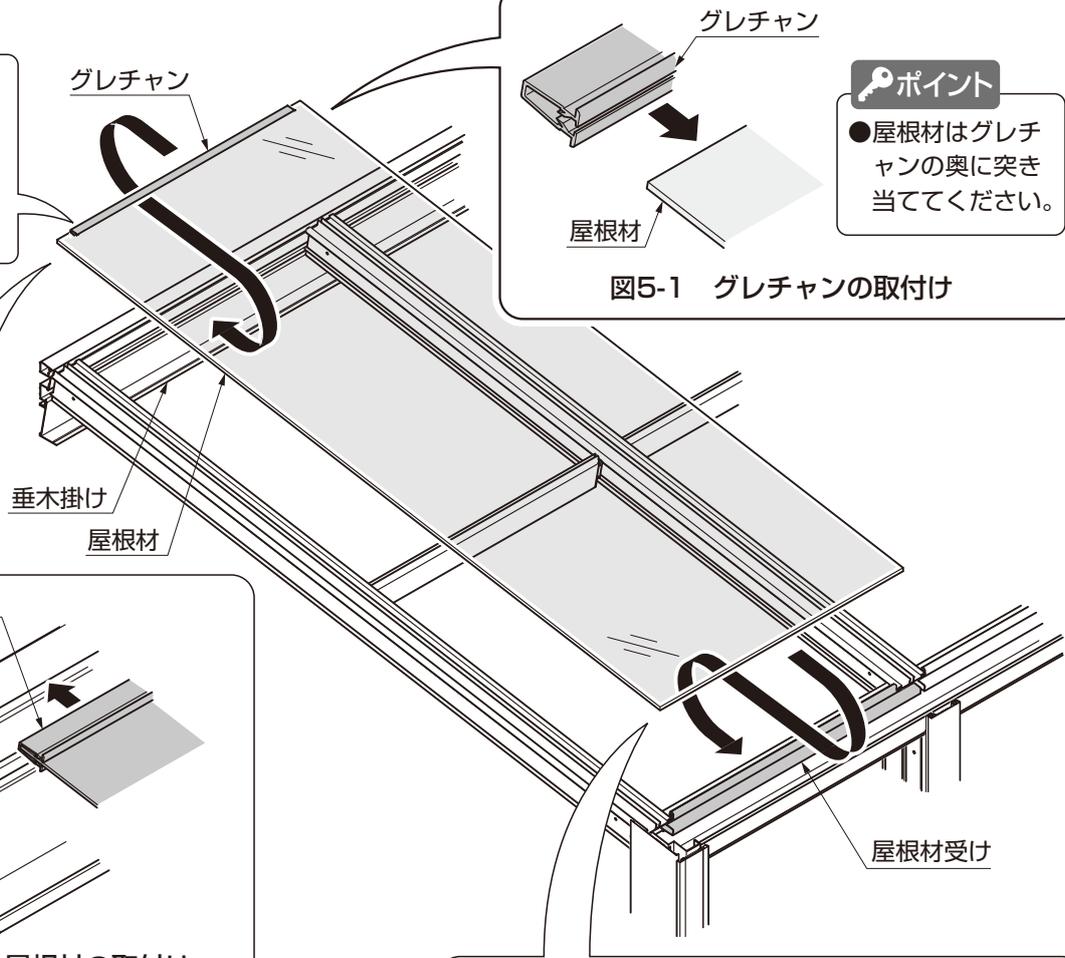


ポイント

- 左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに取付けてください。
- 垂木掛けにしっかり差し込んでください。
- 屋根材には対候面（裏表）があります。ラベルの貼付け面を確認の上、取付け間違いのないように注意してください。

ポイント

- グレチャンからの屋根材のはみ出し幅が左右均等になるようにしてください。



ポイント

- 屋根材はグレチャンの奥に突き当ててください。

図5-1 グレチャンの取付け

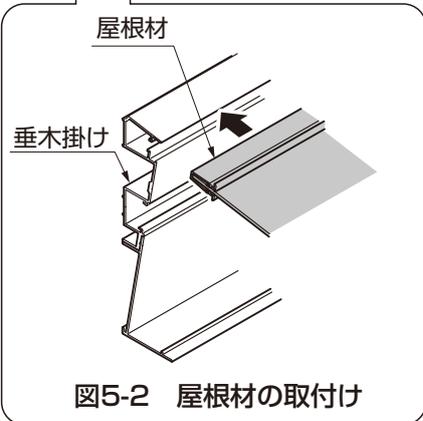
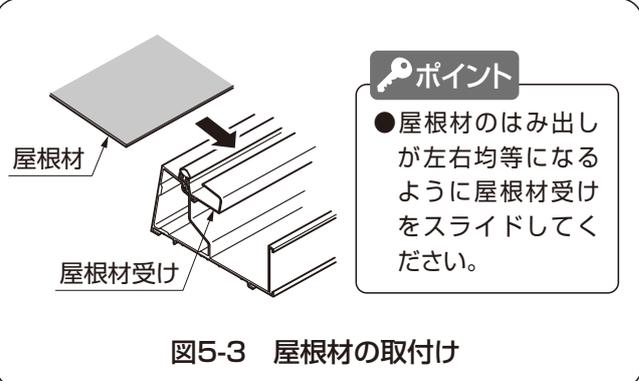
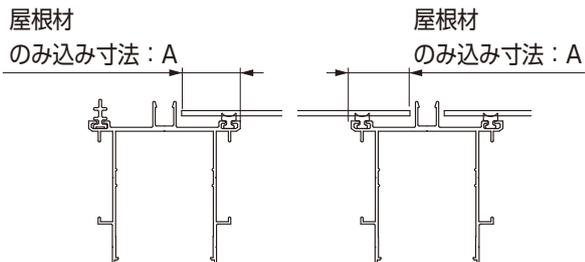


図5-2 屋根材の取付け

ポイント

- 屋根材ののみ込みが左右均等になるようにしてください。



ポイント

- 屋根材のはみ出しが左右均等になるように屋根材受けをスライドしてください。

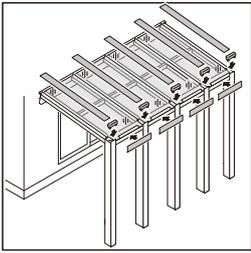
図5-3 屋根材の取付け

- ①グレチャンを屋根材に取付けてください。(図5-1参照)
- ②屋根材を垂木掛けに差し込んでください。(図5-2参照)
- ③屋根材を屋根材受けに、差し込んでください。(図5-3参照)

6. 垂木カバーの取付け

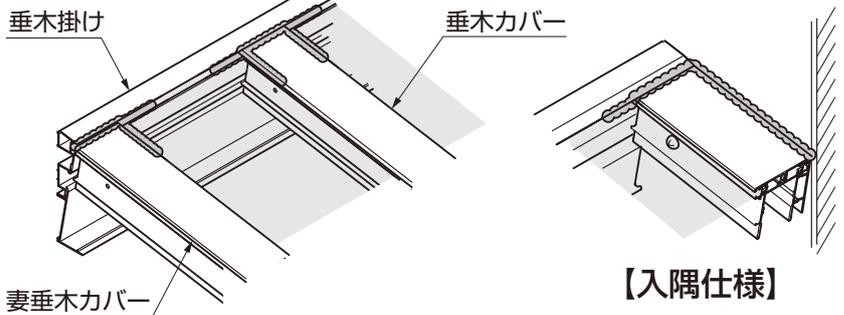
ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

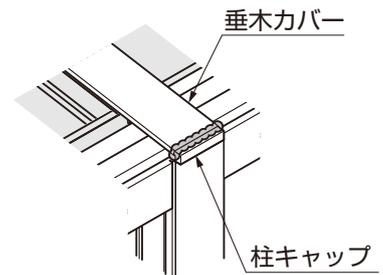


6-1 シーリング箇所一覧

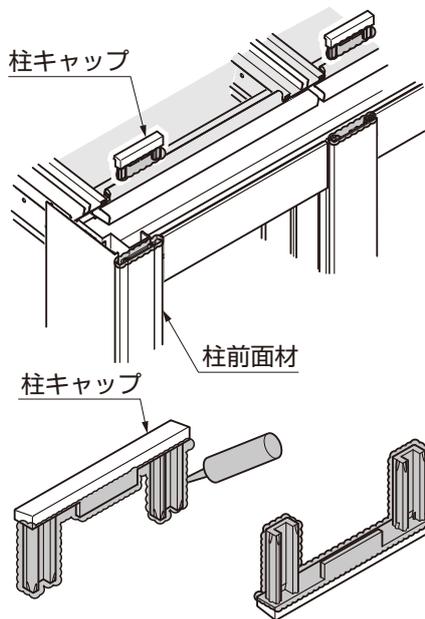
6-5 垂木カバーの取付け…(P.55)



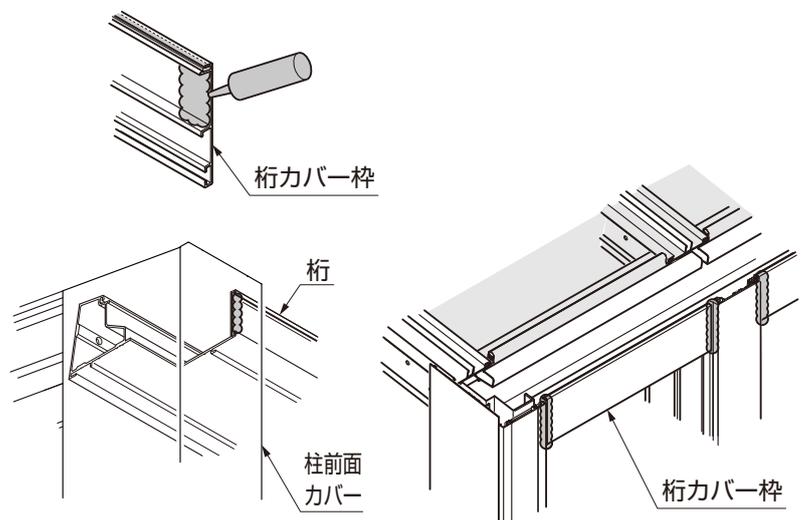
6-5 垂木カバーの取付け…(P.55)



6-3 柱キャップの取付け…(P.53)



6-2 桁カバー枠の取付け…(P.52)

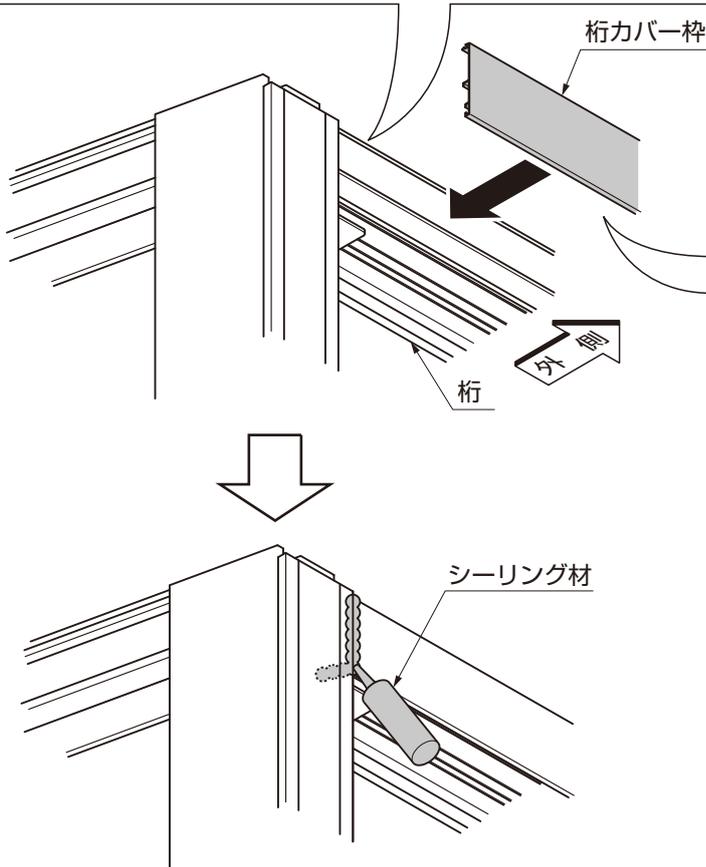
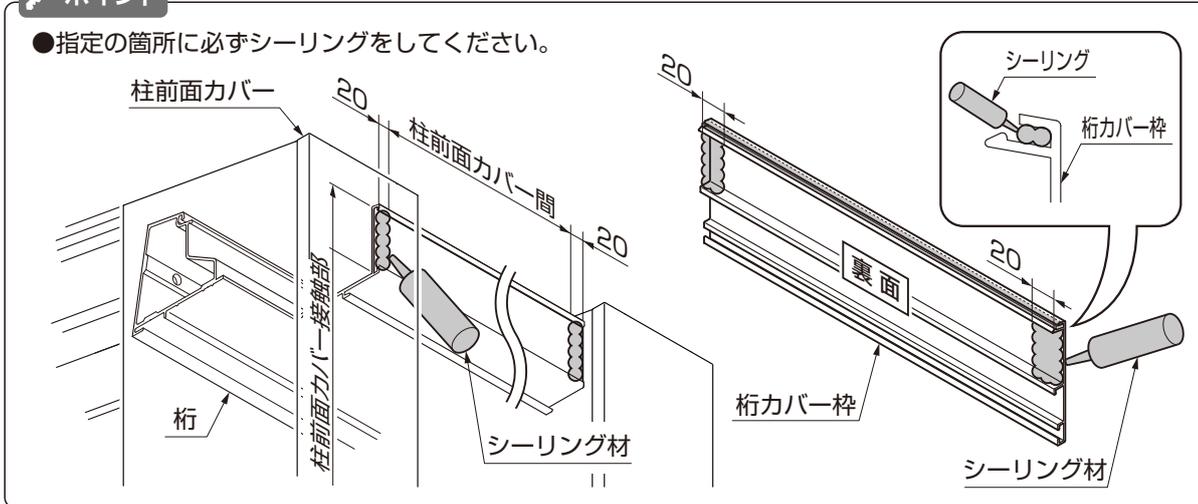


6. (つづき)

6-2 桁カバー枠の取付け

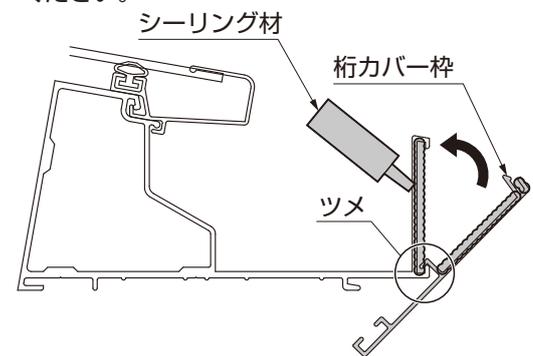
ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。



ポイント

- 桁カバー枠を桁のツメに引っ掛けてはめ込んでください。



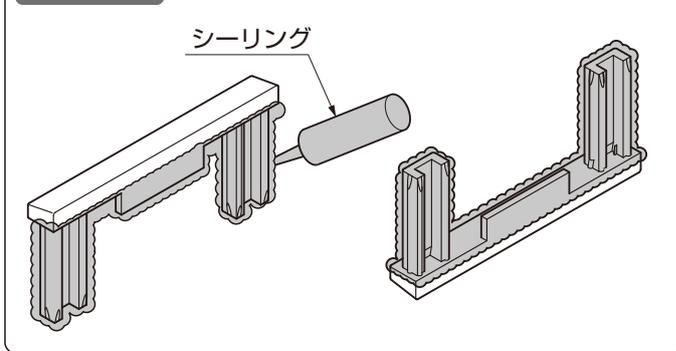
- ①桁の柱前面カバー接触部に幅20mmで縦に、前側の柱前面の上部にシーリングをしてください。
- ②桁カバー枠の裏側の両端に幅20mm程度の幅でシーリングをしてください。
- ③桁カバー枠を桁にはめこんでください。
- ④桁カバー枠の両端部にシーリング材をしてください。

ポイント

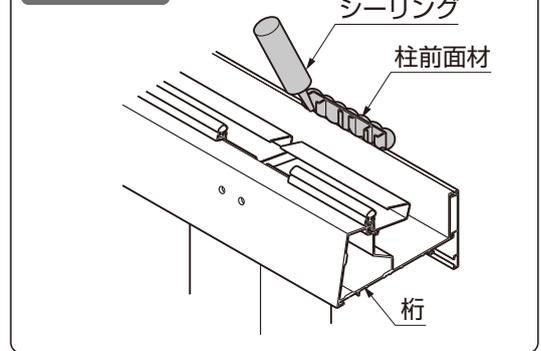
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

6-3 柱キャップの取付け

ポイント

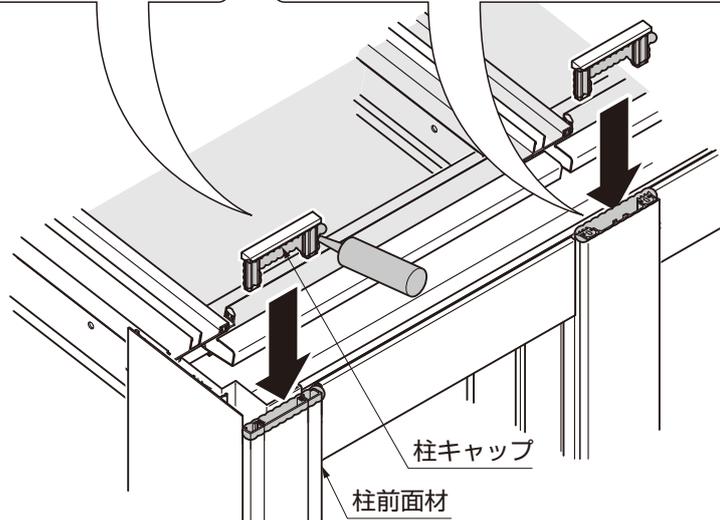


ポイント



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。



- ①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。
- ②柱キャップにシーリングをしてください。
- ③柱キャップを端部柱前面材、柱キャップを前面材にはめ込んでください。

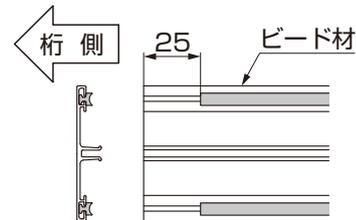
6-4 垂木カバー端部キャップの取付け ※積雪地域3000N仕様の場合の作業です。

地域



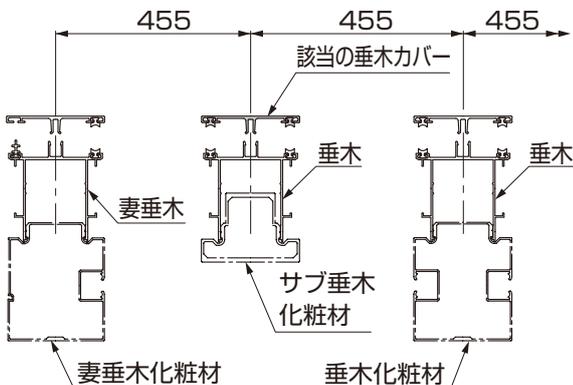
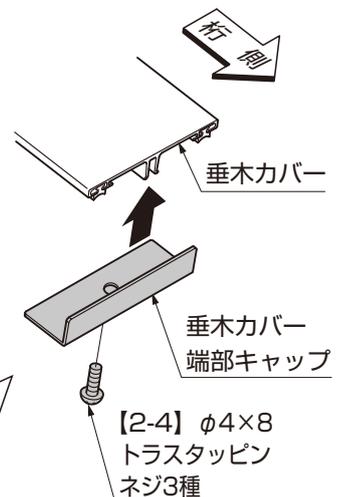
ポイント

- 垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。



ポイント

- 垂木カバー端部キャップは垂木カバーを垂木に取付ける前に行ってください。



- ①サブ垂木に取付ける垂木カバーの桁側に垂木カバー端部キャップを【2-4】で取付けてください。

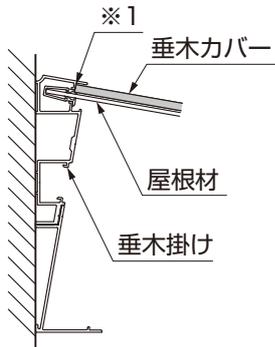
6. (つづき)

6-5 垂木カバーの取付け

(1) 垂木カバーのはめ込み

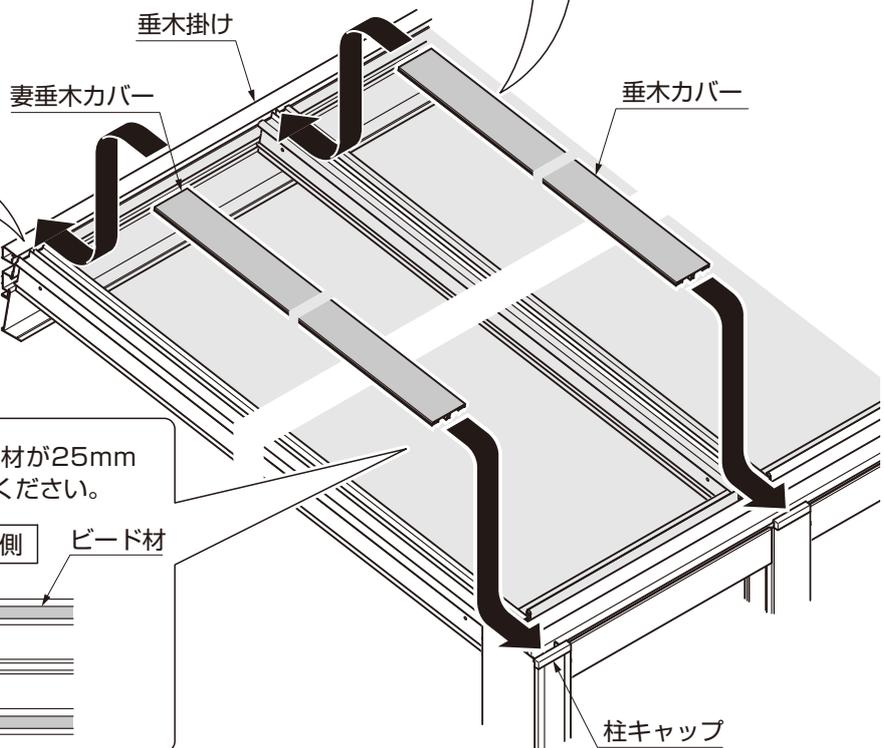
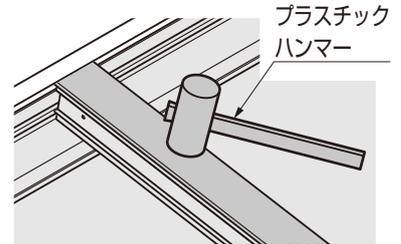
ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、(※1)取付けてください。



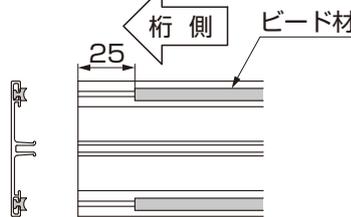
ポイント

- 部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押し込んでください。



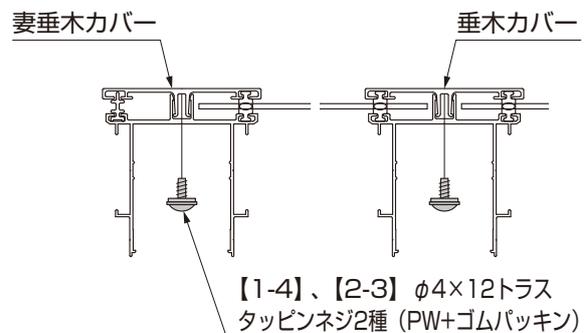
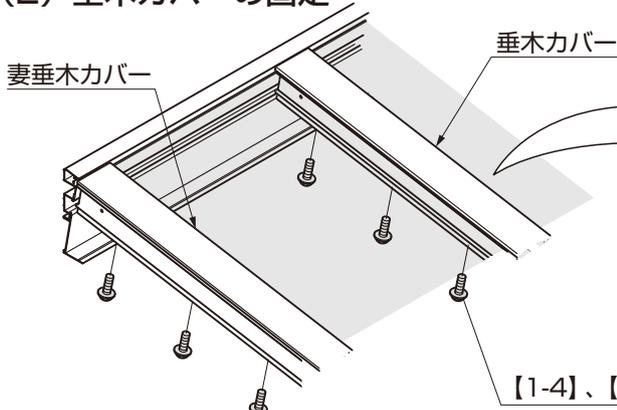
ポイント

- 垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。



- ①垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。

(2) 垂木カバーの固定



- ①妻垂木カバーを妻垂木に、【1-4】、【2-3】で固定してください。
- ②垂木カバーを垂木に、【1-4】、【2-3】で固定してください。

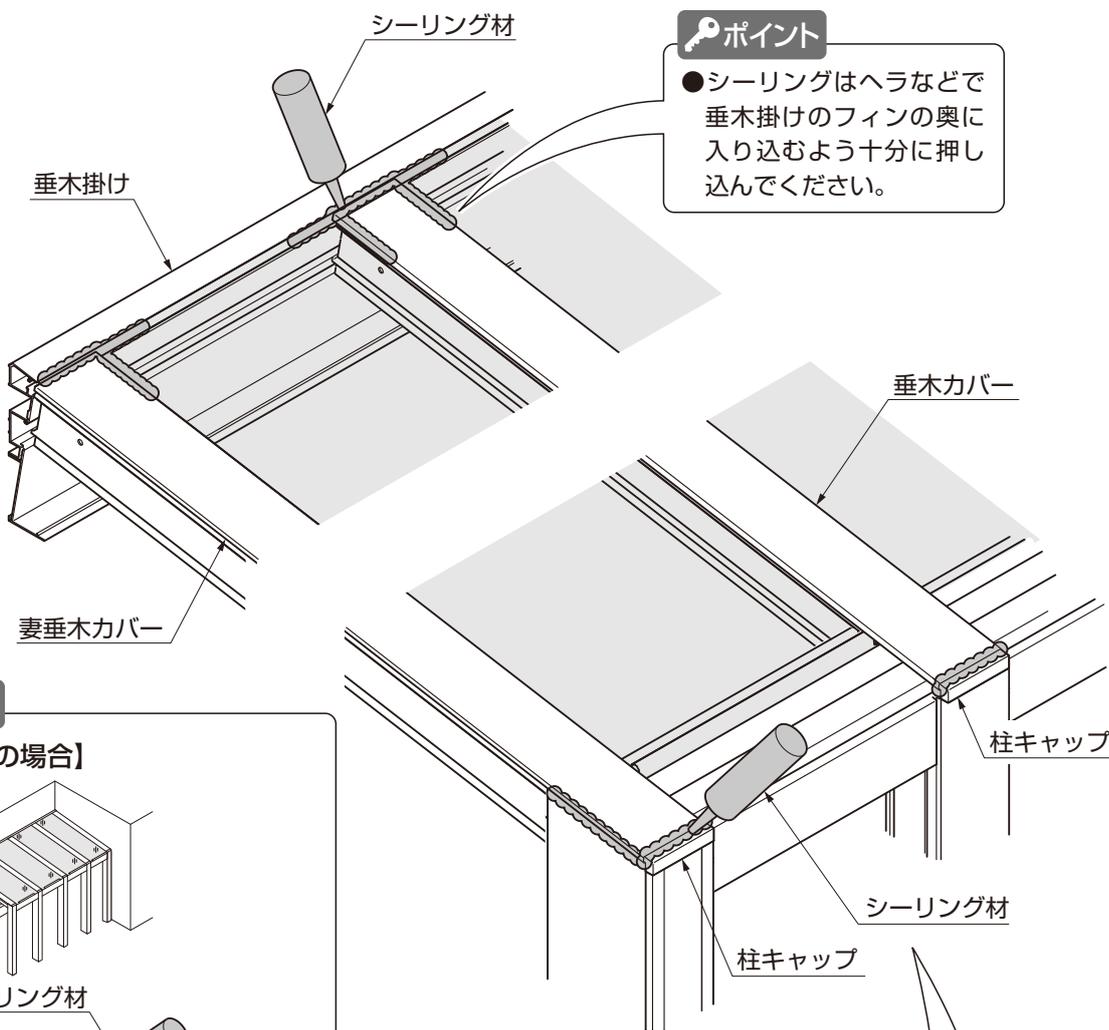
(3) 垂木カバーのシーリング

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

表6-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

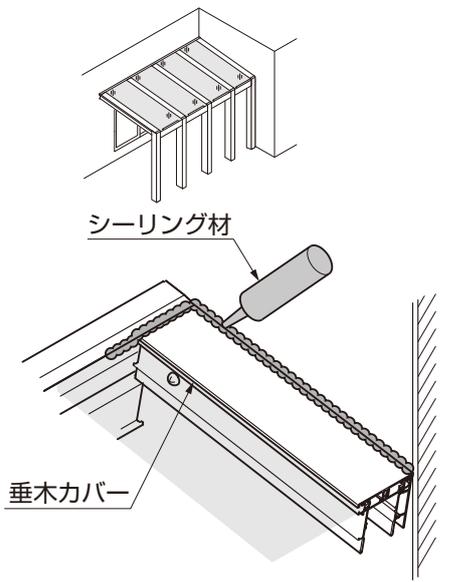


ポイント

- シーリングはヘラなどで垂木掛けのフィンの奥に入り込むよう十分に押し込んでください。

ポイント

【入隅仕様の場合】



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

①妻垂木カバー・垂木カバーに、シーリングをしてください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

7. テラス用上枠の取付け

①テラス用上枠を桁に【1-2】で取付けてください。
②ネジ隠しフタをテラス用上枠にはめ込んでください。

11
フレーム施工

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

8. 柱カバーの取付け

ポイント
【前面スクリーンを取付ける場合】
「E389 前面スクリーン取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。

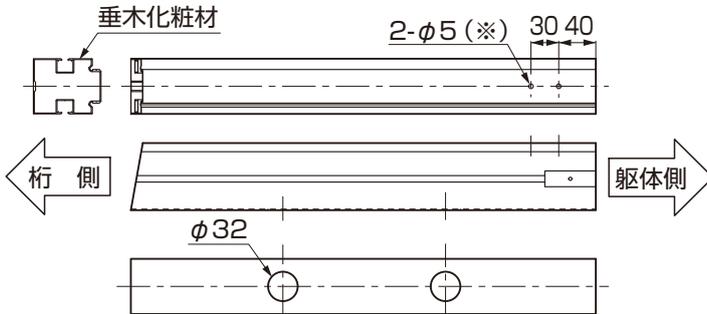
①柱カバーを柱にはめ込んでください。

9. 垂木化粧材の取付け

9-1 垂木LED照明の取付け

※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。

※以下の(※)印は、トランス電源ユニット35W 屋外用での配線の場合は不要です。



図はLED照明2個使いの場合を示します。

警告

- 電線の接続には電気工事士の資格が必要です。(コネクタ配線を除く)
- 取付けの際は安全のため、電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因になります。
- 電源線と口出し線はスリーブなどで確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。(内線規定1335-7~9に準ずる)不備があると火災・感電の原因になります。

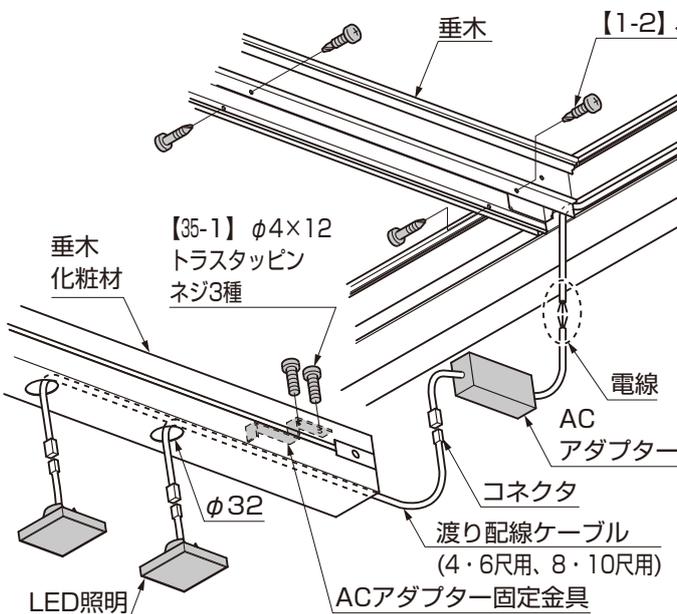


図9-1 ACアダプターで配線する場合

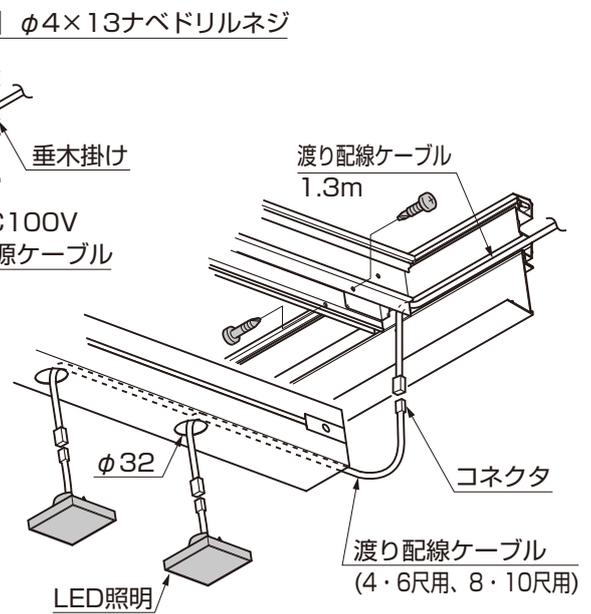
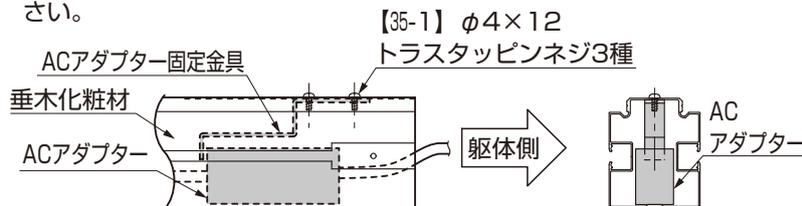


図9-2 トランス電源ユニットで配線する場合

ポイント

【ACアダプターで配線する場合】

- ACアダプターを下図の位置に収納してください。
- ACアダプター固定金具はACアダプターのズレ防止のため必ず取付けてください。



ポイント

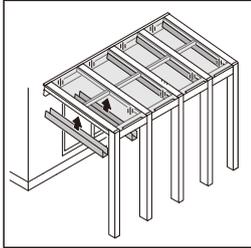
- LED照明を垂木化粧材に取付けてください。



- ①垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。(※)
- ②ACアダプター固定金具を垂木化粧材に【35-1】で取付けてください。(※)
- ③渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)を垂木化粧材に配置してください。
- ④ACアダプターと渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)をコネクタ接続しながら、垂木化粧材を垂木に【1-2】、【2-1】で取付けてください。(※)
- ⑤渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)と渡り配線ケーブル1.3mを接続してください。
- ⑥渡り配線とLED照明をコネクタ接続してください。
- ⑦LED照明を垂木化粧材に取付けてください。

9. (つづき)

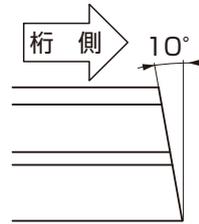
9-2 垂木化粧材の取付け



ポイント

【垂木化粧材の向き】

- 垂木化粧材の端が10°切欠いている側を桁側にしてください。



妻垂木化粧材

垂木化粧材

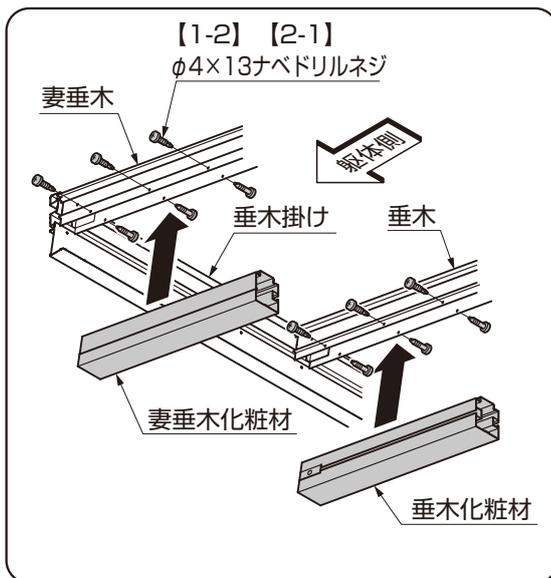
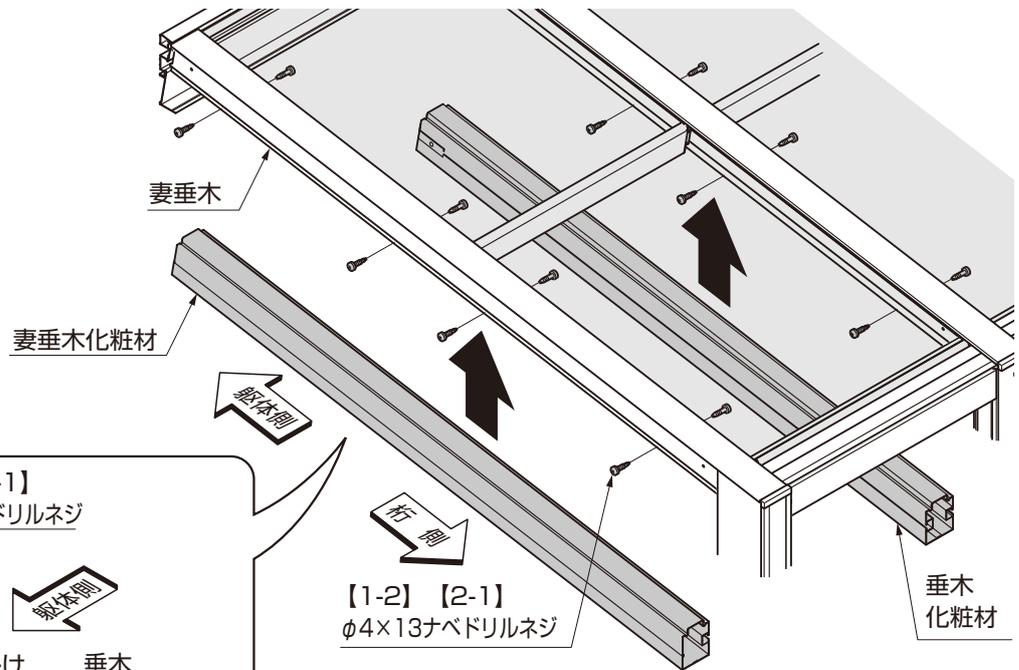
外側

【積雪地域】



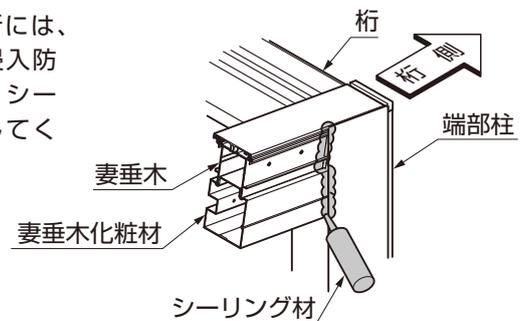
(積雪地域3000N (100cm相当) 仕様の場合)

- 「9-3 サブ垂木化粧材の取付け」もあわせてご確認ください。



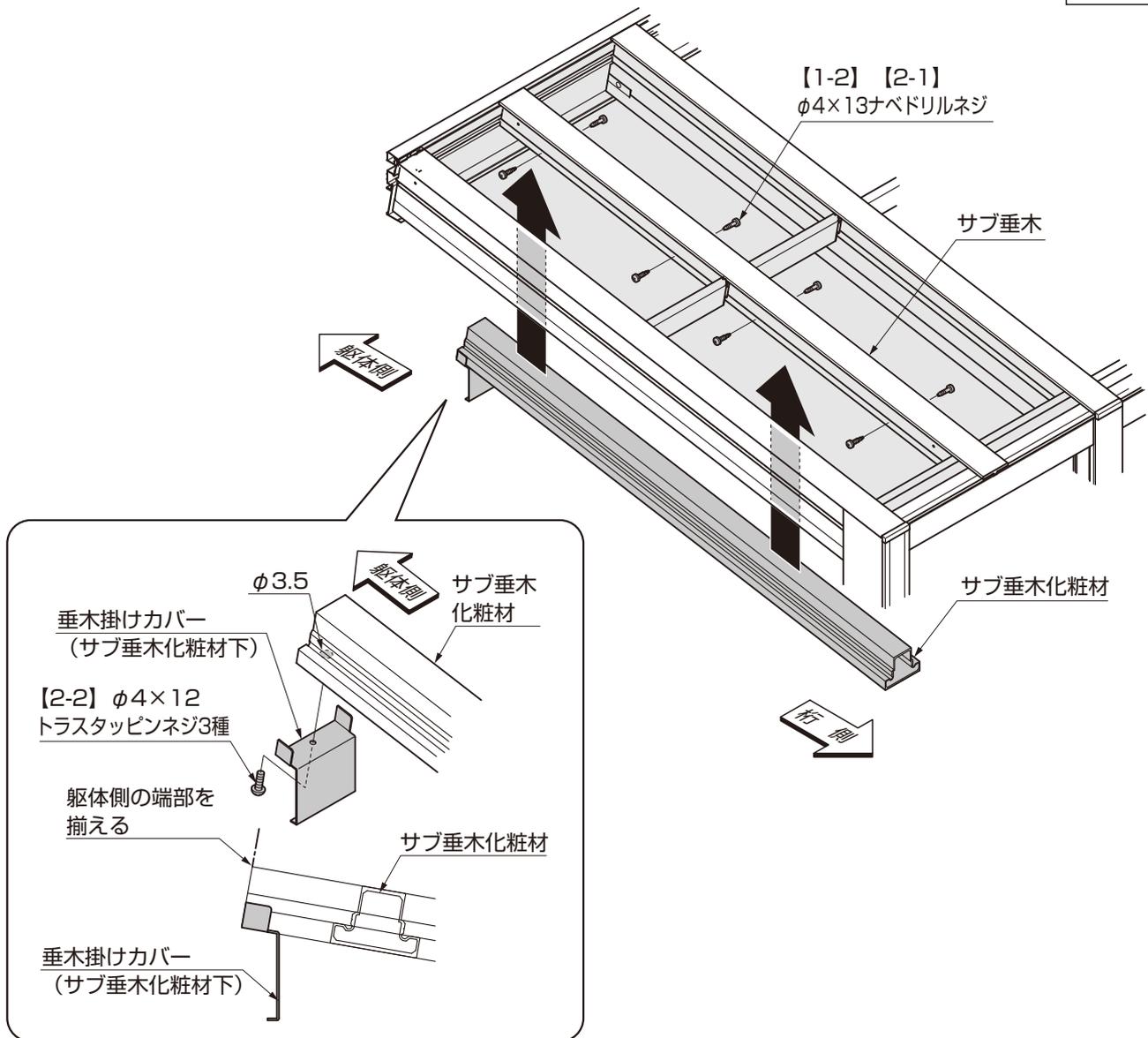
ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



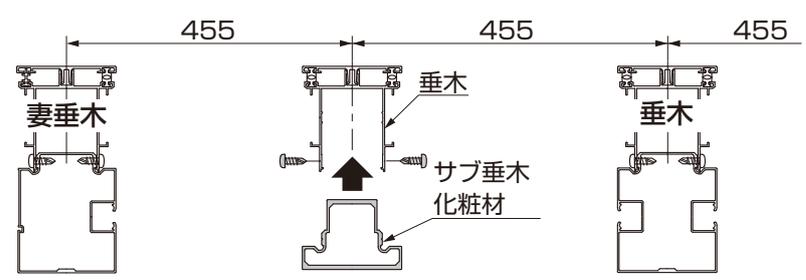
- ① 垂木化粧材キャップを垂木化粧材から取外してください。
- ② 垂木化粧材を垂木、妻垂木に【1-2】、【2-1】で取付けてください。
- ③ 妻垂木、妻垂木化粧材と端部柱の接合部を、シーリングしてください。

9-3 サブ垂木化粧材の取付け ※積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合の作業です。



ポイント (Point)

●サブ垂木化粧材は妻垂木化粧材および垂木化粧材の間になるように取付けてください。



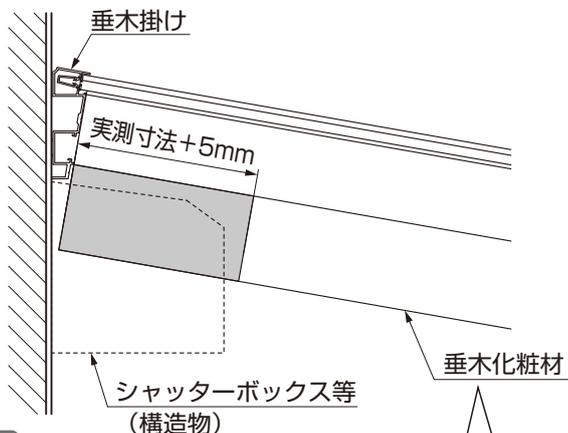
- ①サブ垂木化粧材の躯体側に垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）を合わせてφ3.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）をサブ垂木化粧材に【2-2】で取付けてください。
- ③サブ垂木化粧材をサブ垂木に【1-2】、【2-1】で取付けてください。

9. (つづき)

9-4 垂木化粧材が躯体側の障害物に干渉する場合

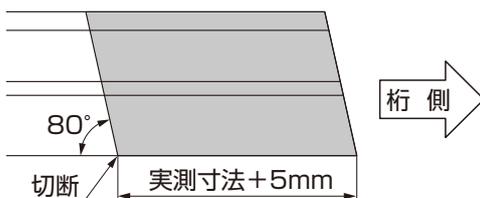
※躯体側の障害物を避けるため、垂木掛け下部を使用しない場合の内容を示します。

(1) 部材の加工



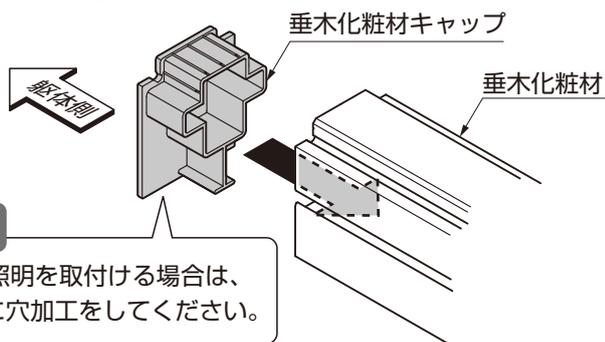
ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の構造物がある場合は、構造物を避けるように垂木化粧材の加工を行なってください。



- ①垂木化粧材が干渉する寸法を採寸し、加工してください。

(2) キャップの取付け



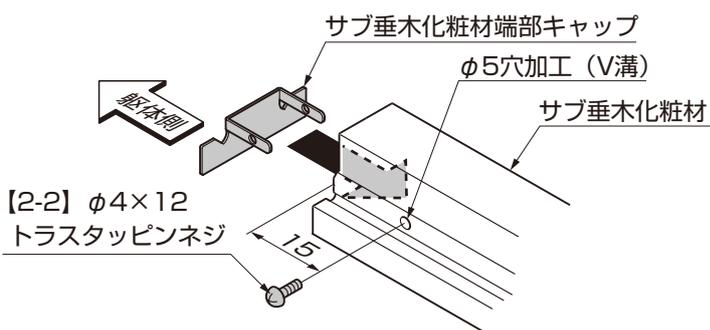
補足

- 垂木LED照明を取付ける場合は、キャップに穴加工をしてください。

【垂木の場合】

- ①垂木化粧材キャップを垂木化粧材に取付けてください。

図9-3 垂木化粧材への取付け



【サブ垂木の場合】

- ①サブ垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。
- ②サブ垂木化粧材端部キャップをサブ垂木化粧材に【2-2】で取付けてください。

補足

- 垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）の取付けは不要です。

図9-4 サブ垂木化粧材への取付け

9-5 入隅の場合

(1) 妻垂木の加工

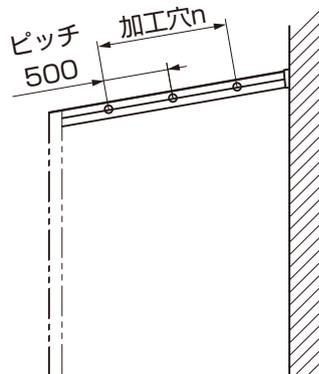
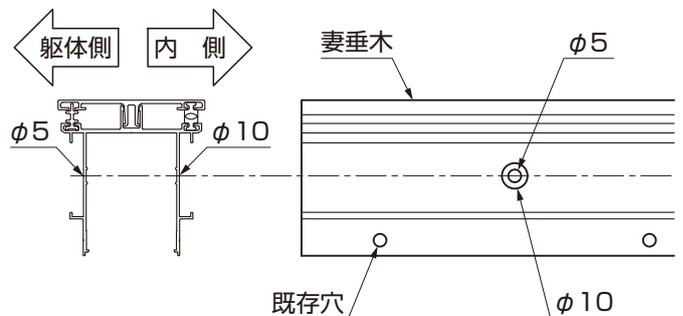


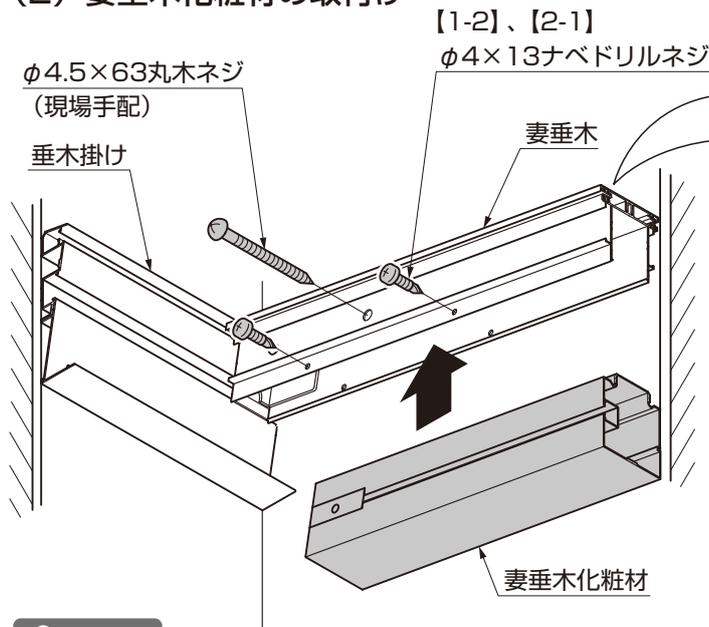
表9-1

	加工穴n
4尺	2
6尺	3
8尺	4
10尺	5



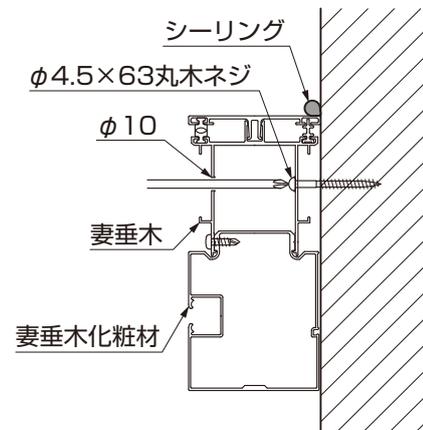
①妻垂木にφ10、φ5の穴をあけてください。

(2) 妻垂木化粧材の取付け



ポイント

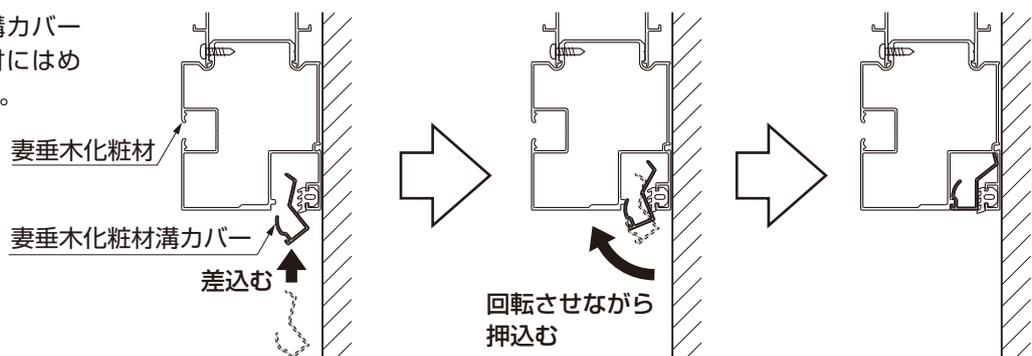
- 「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。
- 妻垂木を躯体に固定する際は、φ10の穴から「φ4.5×63丸木ネジ」を差し込み、φ5の穴から躯体に取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

【妻梁上部FIXがある場合】

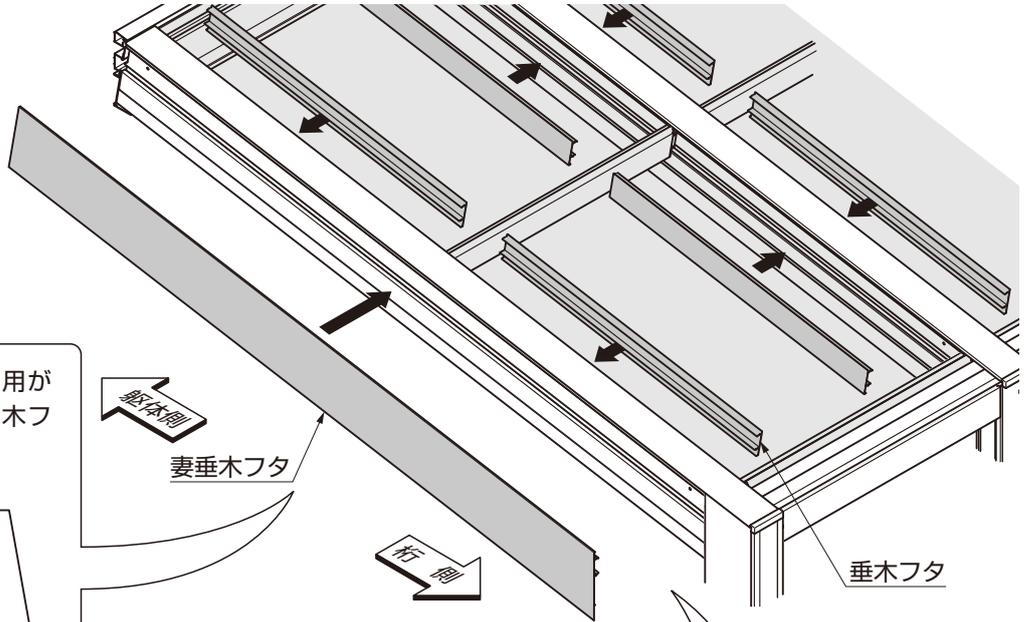
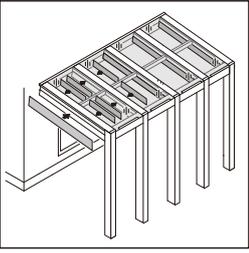
- 妻垂木化粧材溝カバーを妻垂木化粧材にはめ込んでください。



- ①妻垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-2】、【2-1】で取付けてください。
- ②妻垂木を躯体に「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

10. 垂木フタの取付け

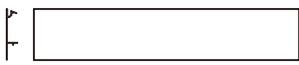


ポイント

●垂木フタは端部用と中間用があります。端部には妻垂木フタを取付けてください。



端部用(妻垂木フタ)

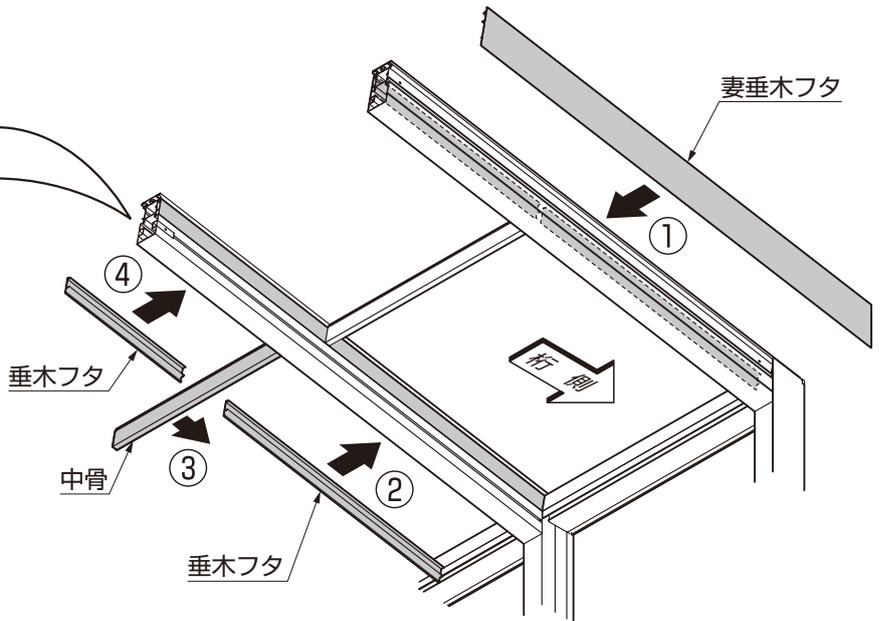
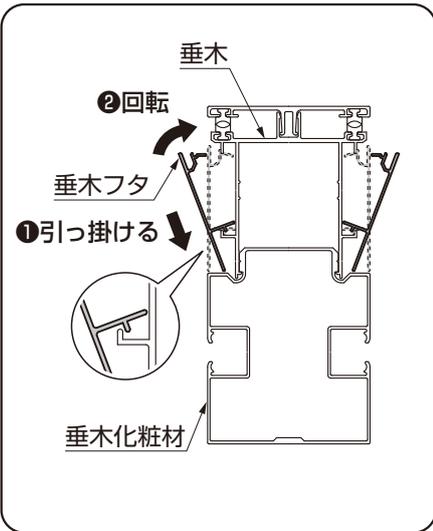


中間用(垂木フタ)

ポイント

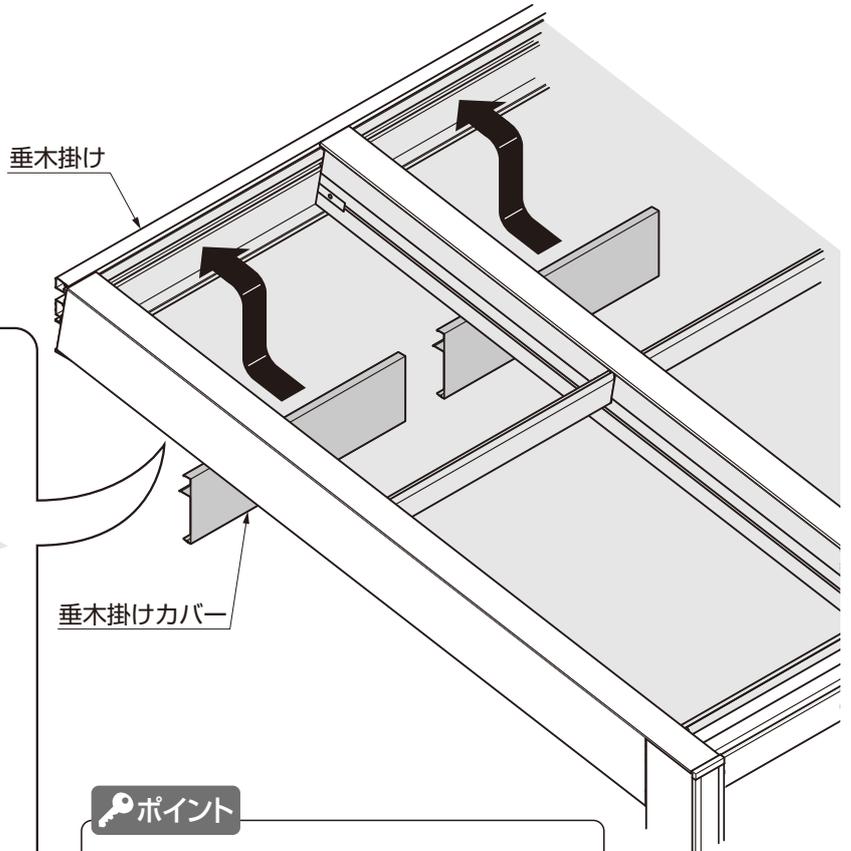
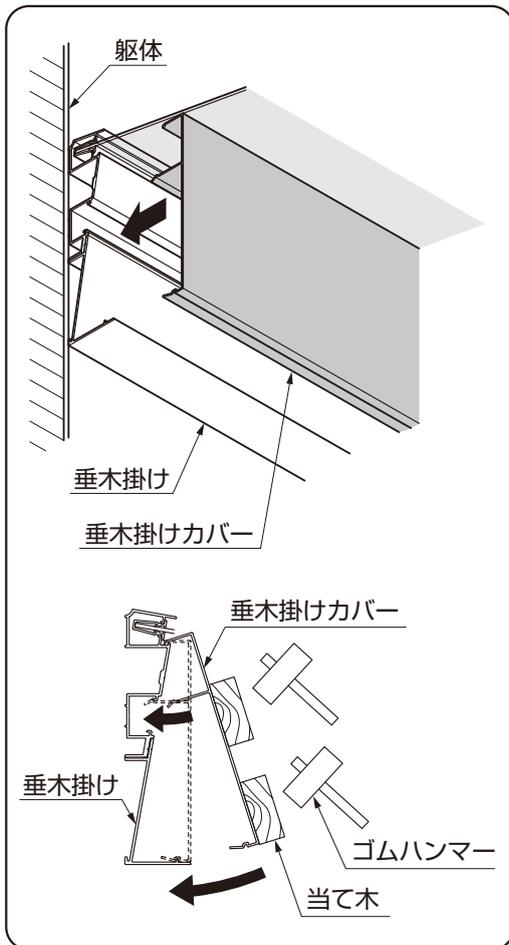
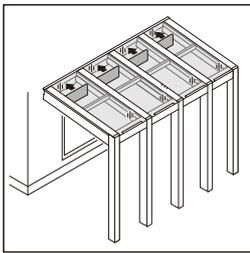
- 垂木フタは桁側に寄せて取付けてください。
- はめ込みは端部から行なってください。

【ロールスクリーン、ローマンシェードを取付ける場合】
「E377 ロールスクリーン取付説明書」「E376 ローマンシェード取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。



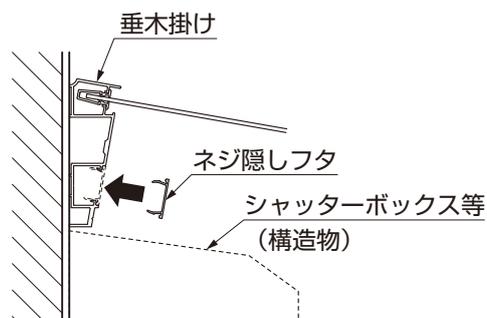
- ①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
- ②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
- ③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
- ④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください。

11. 垂木掛けカバーの取付け



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、ネジ隠しフタを使用してください。



ポイント

【内部日除けを取付ける場合】

- 内部日除けを先に取付けてください。



・内部日除けの取付け
(E269 内部日除け取付説明書 参照)



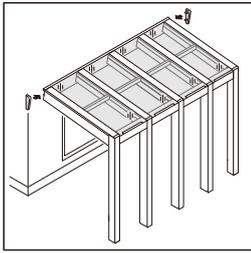
11.垂木掛けカバーの取付け (本手順)

- ① 垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

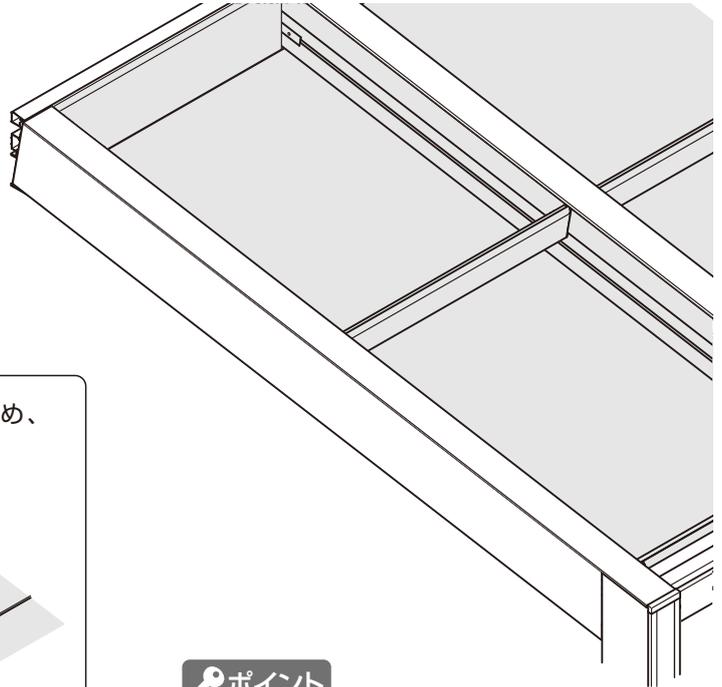
ポイント

- 確実にはめ込むように、当て木とゴムハンマーなどで叩いてはめ込んでください。
- 垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

12. 垂木掛けキャップの取付け

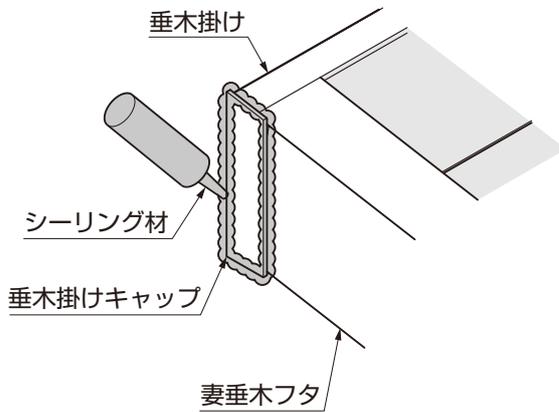


垂木掛けキャップ



ポイント

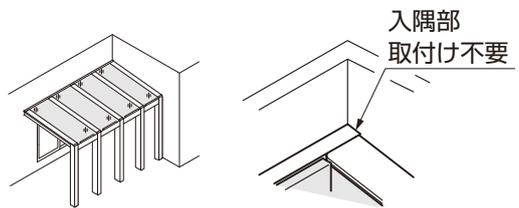
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

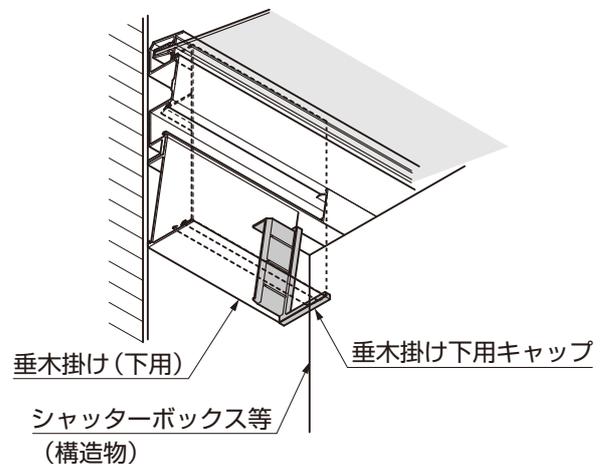
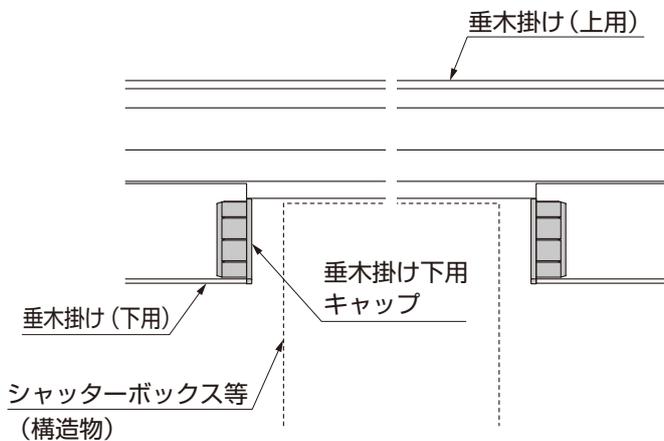
【入隅仕様の場合】

- 入隅側の垂木掛けキャップは取付けません。



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、垂木掛け(下用)に垂木掛け下用キャップを取付けてください。



- ①垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。
- ②垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。

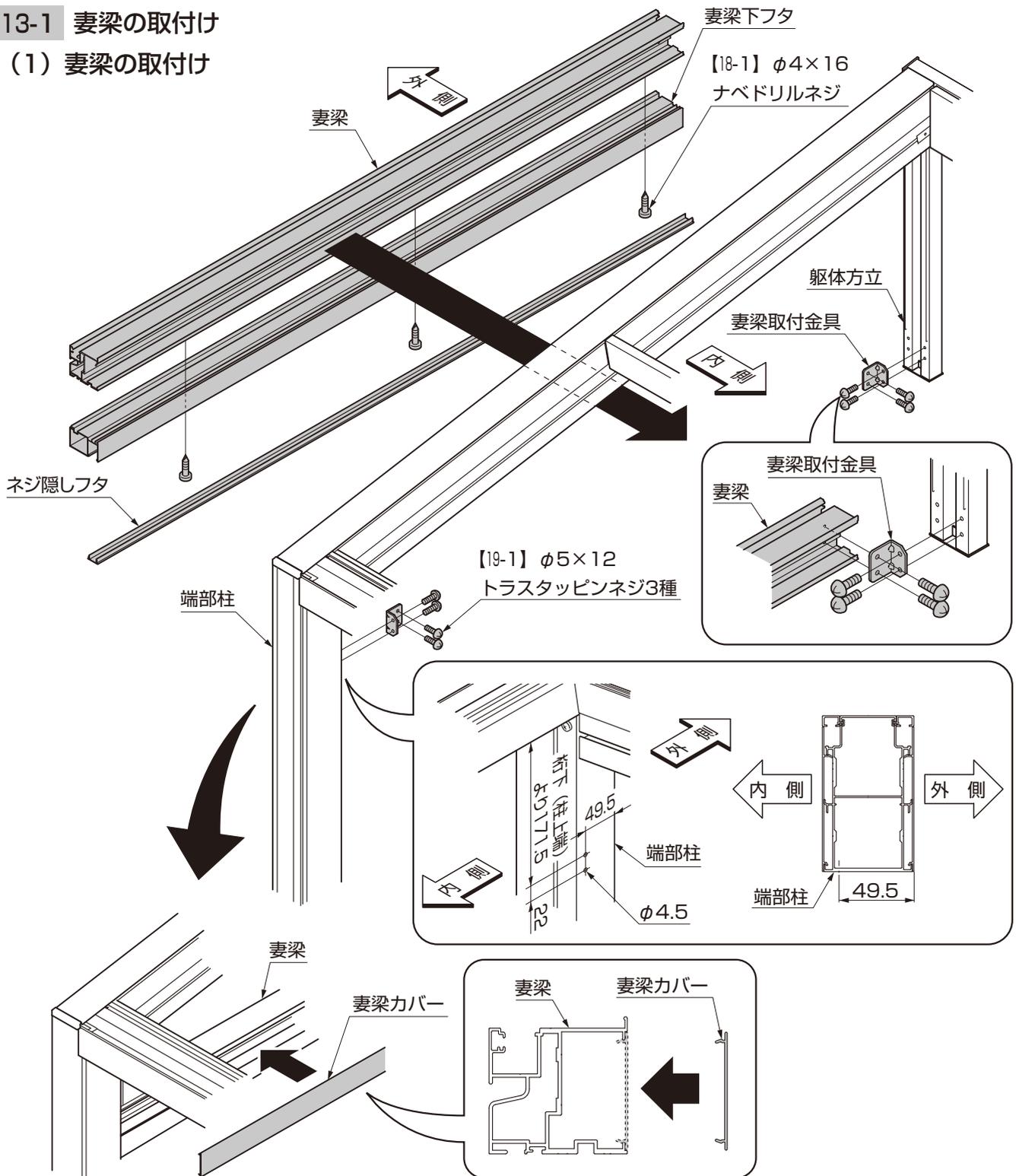
床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

13. 妻梁上部FIXの取付け

※妻梁上部FIXを取付ける場合の作業です。

13-1 妻梁の取付け

(1) 妻梁の取付け



- ①端部柱にφ4.5の穴加工を行なってください。
- ②妻梁取付金具を端部柱、躯体方立に【19-1】で取付けてください。
- ③妻梁を妻梁取付金具に【19-1】で取付けてください。
- ④妻梁下フタを妻梁に【18-1】で取付けてください。
- ⑤ネジ隠しフタを妻梁下フタに取付けてください。
- ⑥妻梁カバーを妻梁に取付けてください。

13. (つづき)

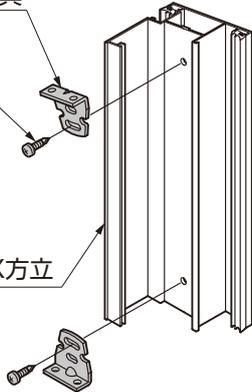
13-1 つづき

(2) 妻梁上部FIX方立の取付け ※出幅10尺の場合の作業になります。

妻梁上部FIX取付金具

【19-2】φ4×13
ナベドリルネジ

妻梁上部FIX方立



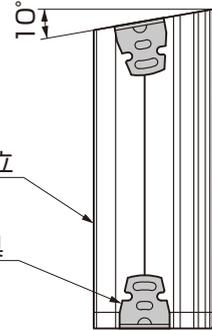
ポイント

- 妻梁上部FIX取付金具は妻梁上部FIX方立の切断角度と合わせて取付けてください。

10°

妻梁上部FIX方立

妻梁上部FIX取付金具

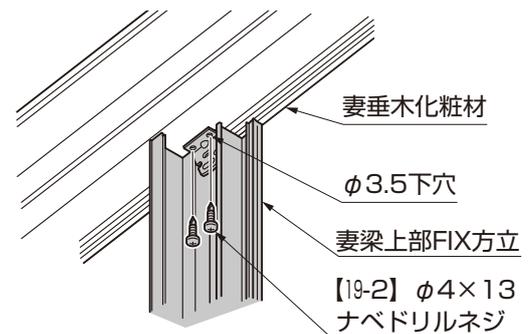


妻垂木化粧材

φ3.5下穴

妻梁上部FIX方立

【19-2】φ4×13
ナベドリルネジ



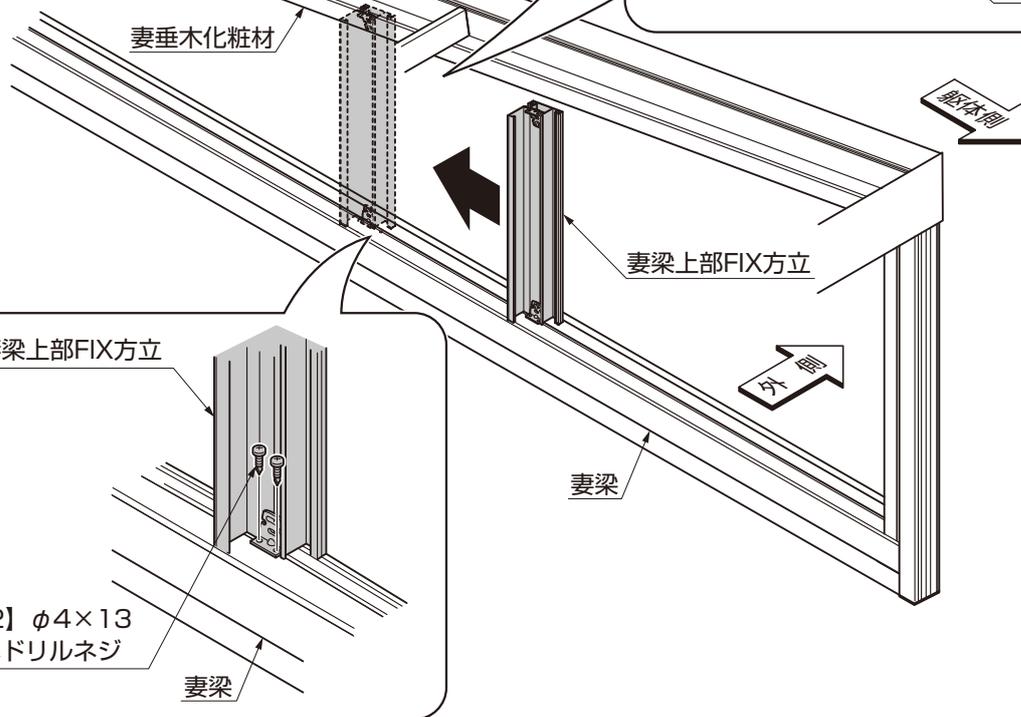
妻垂木化粧材

妻梁上部FIX方立

妻梁上部FIX方立

【19-2】φ4×13
ナベドリルネジ

妻梁

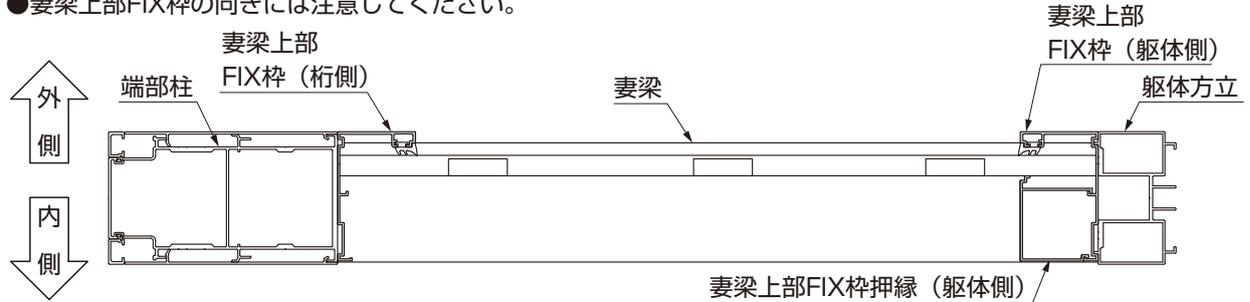


- ①妻梁上部FIX取付金具を妻梁上部FIX方立上下に【19-2】で取付けてください。
- ②躯体側から妻梁上部FIX方立を挿入し、下部の妻梁上部FIX取付金具を妻梁に【19-2】で取付けてください。
- ③上部の妻梁上部FIX取付金具を妻垂木化粧材にφ3.5の穴加工を行って【19-2】で取付けてください。

13-2 妻梁上部FIX枠の取付け

ポイント

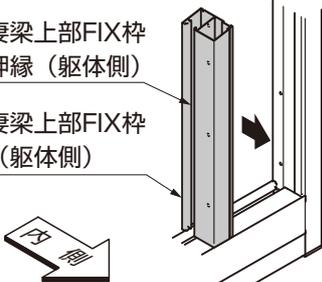
●妻梁上部FIX枠の向きには注意してください。



ポイント

●躯体側の妻梁上部FIX枠は妻梁上部FIX枠押縁と一緒にスライド挿入の上、取付けてください。

妻梁上部FIX枠押縁 (躯体側)
妻梁上部FIX枠 (躯体側)



妻梁上部FIX枠押縁 (躯体側)

妻梁上部FIX枠 (躯体側)

【19-2】φ4×13
ナベドリルネジ

躯体方立

桁

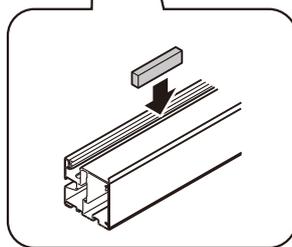
妻梁

セッティングブロック (H10)

端部柱

妻梁上部FIX枠 (桁側)

【19-2】φ4×13ナベドリルネジ



ポイント

●妻梁に乗せるようにして取付けてください。

セッティング
ブロック (H10)

FIX枠

FIX枠

妻梁

妻梁

- ①妻梁上部FIX枠 (桁側、躯体側ともに)、妻梁上部FIX枠押縁 (躯体側) を端部柱、躯体方立に【19-2】で取付けてください。
- ②妻梁にセッティングブロック (H10) を取付けてください。

13. (つづき)

13-3 妻梁上部FIXパネルの取付け

【出幅10尺の場合】

妻梁上部FIX方立

後付けビード材

妻梁上部FIXパネル

妻梁上部FIX枠押縁（躯体側）

躯体方立

妻梁上部FIXパネル

後付けビード材

妻梁上部FIX
方立カバー

端部柱

妻梁上部FIX枠
押縁（桁側）

端部柱

躯体方立

妻梁上部FIXパネル

外側

内側

妻垂木
化粧材

妻梁上部
FIXパネル

後付け
ビード材

セッティング
ブロック

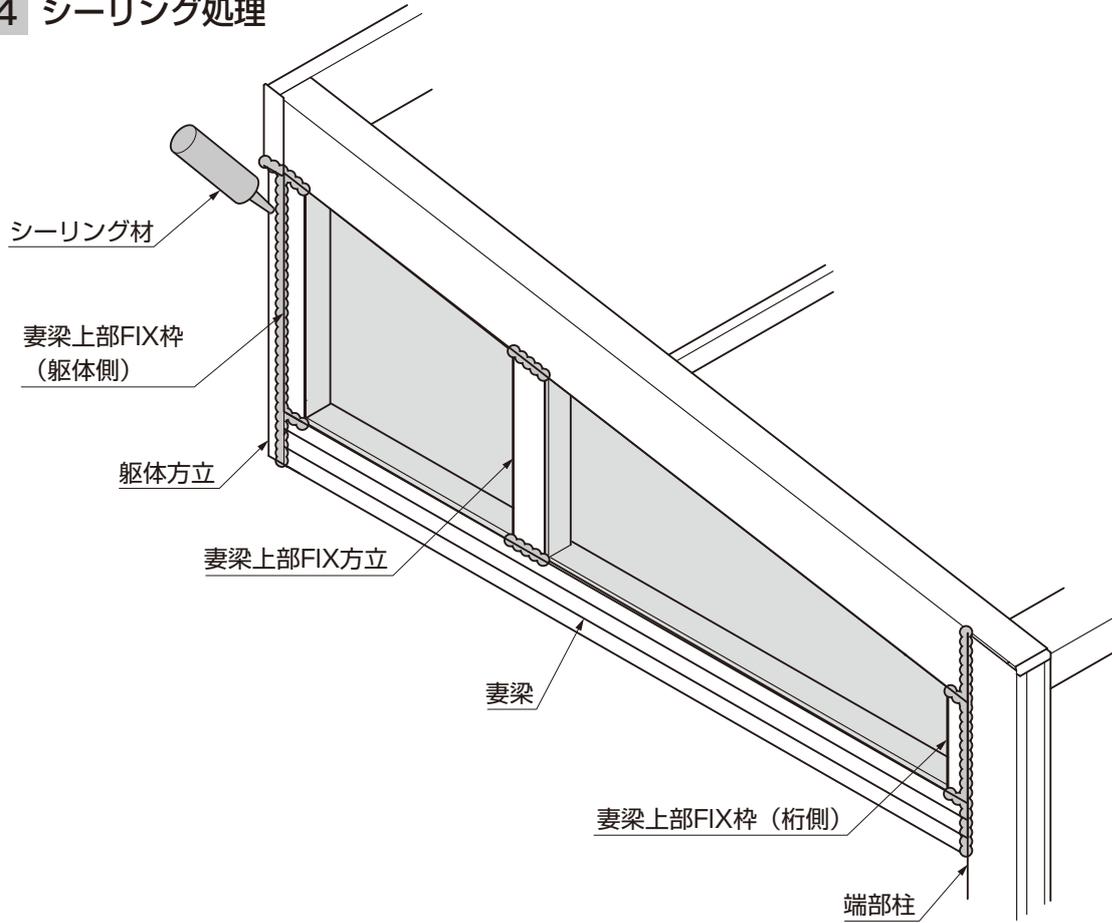
妻梁

妻梁上部FIX枠
押縁（桁側）

後付けビード材

- ①妻梁上部FIXパネルをけんどんし妻垂木化粧材と妻梁の溝部に入れ、桁側、躯体側の妻梁上部FIX枠に均等に掛かるようパネル位置を調整してください。
- ②妻梁上部FIX枠押縁を妻梁上部FIX枠に取り付けてください。
- ③後付けビード材をはめ込んでください。

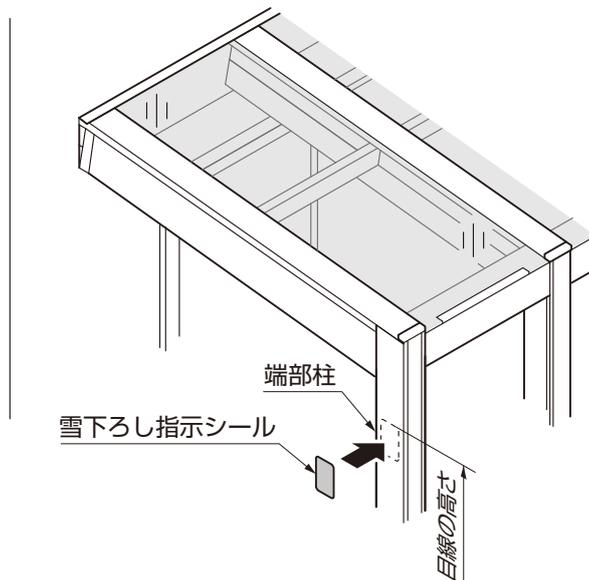
13-4 シーリング処理



①指定の箇所にシーリングをしてください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

14. 雪下ろし指示シールの貼付け

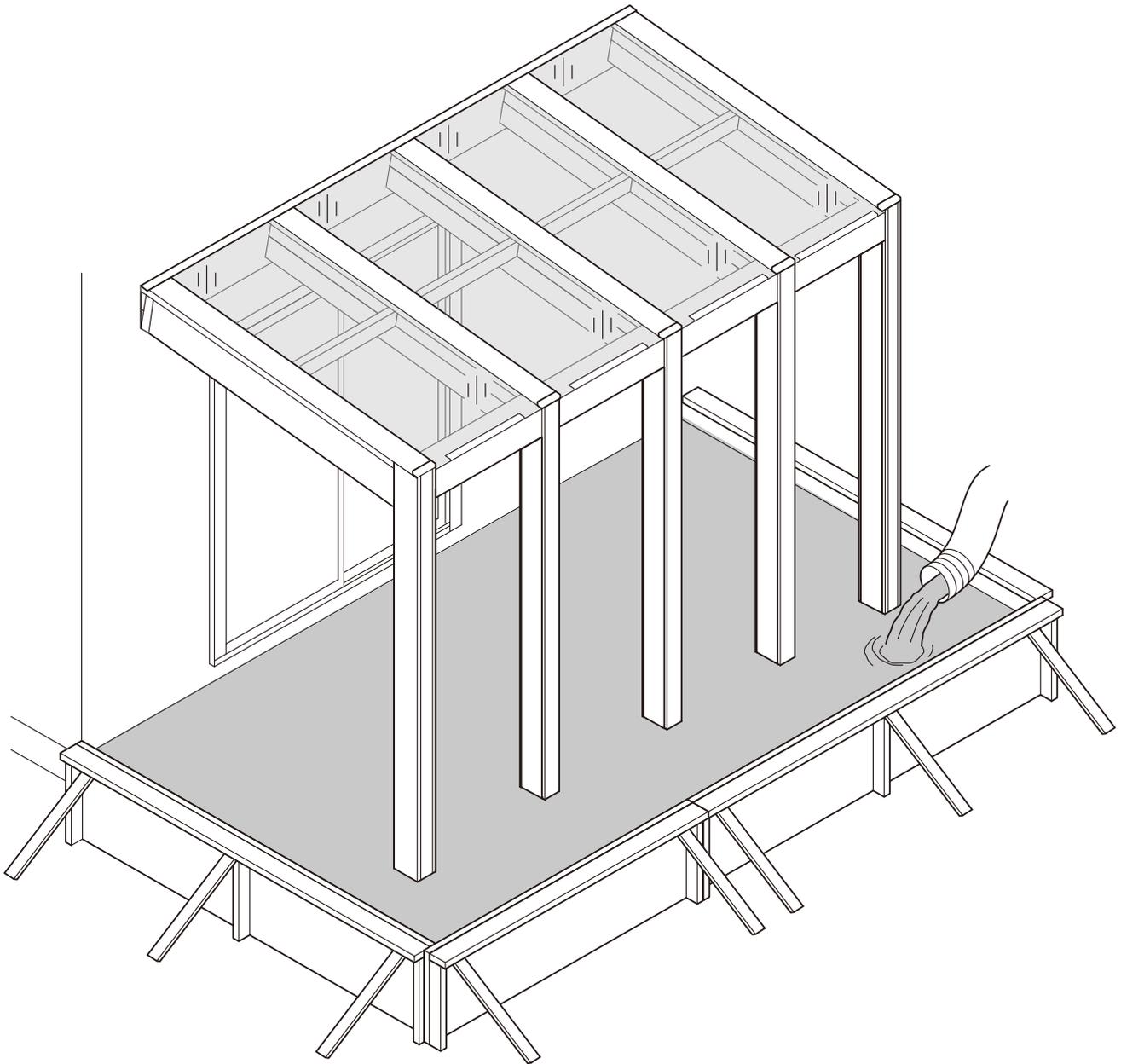


①雪下ろし指示シールを端部柱の側面(目線高さ位置)に貼付けてください。

15. コンクリートの流し込み

※土間仕様の場合の作業です。

床	柱固定	地域
 土間		



①土間を打設してください。

床	柱固定	地域
※全仕様で行なう作業です。		

16. 雨樋の取付け

ポイント

- 雨樋位置を変更しない場合は前排水用を取付けてください。
- 排水位置を変更した場合は下排水用を取付けてください。

補足

- 現場に合わせて、必要に応じて樋を手配し、雨樋受け部品に取付けてください。

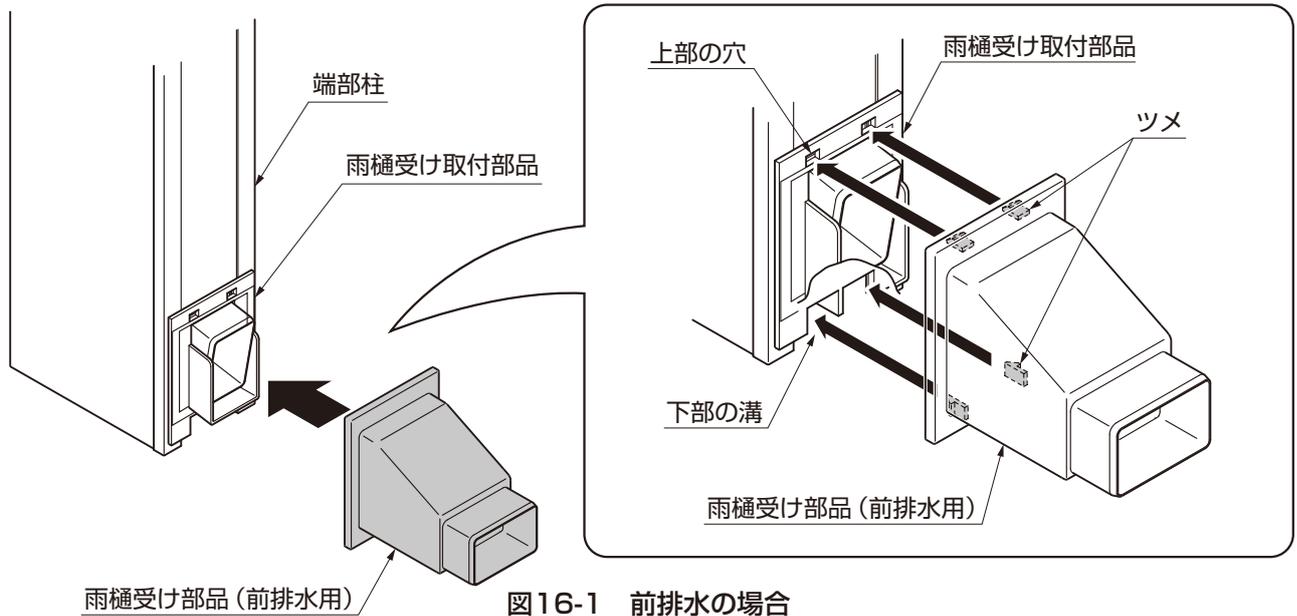


図16-1 前排水の場合

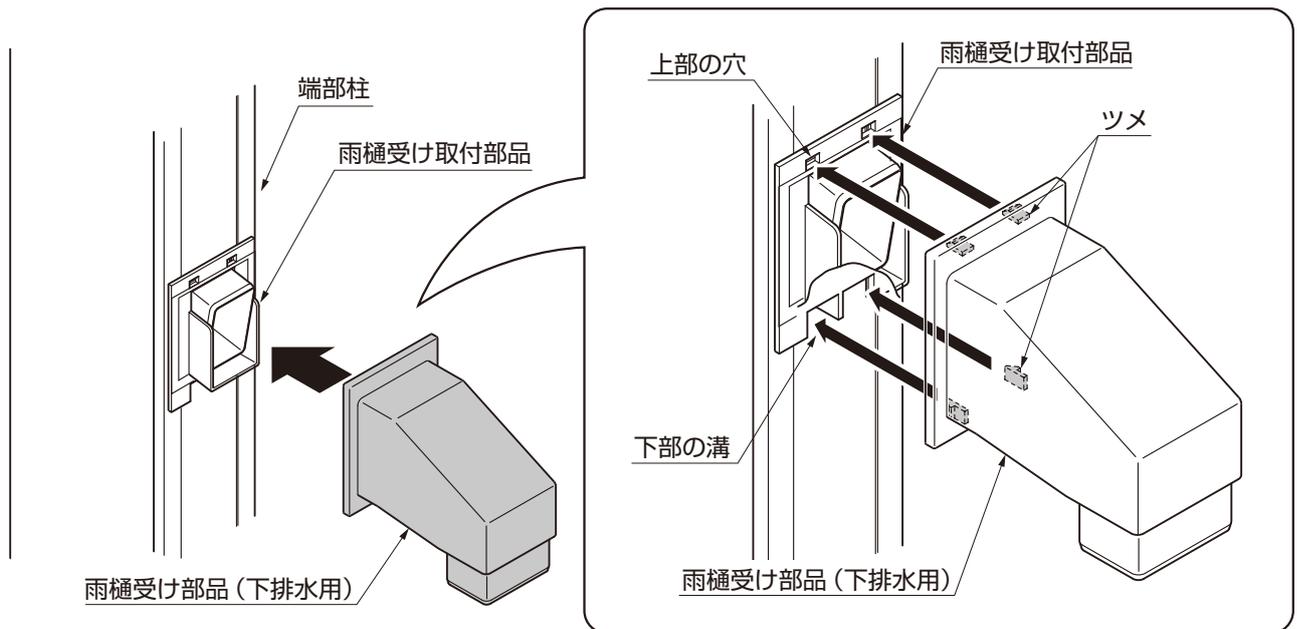


図16-2 下排水の場合

- ①雨樋受け部品のツメを雨樋受け取付部品の上部の穴、下部の溝に入れて取付けてください。

